

注3

大学番号：私立067

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

跡見学園女子大学 心理学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人跡見学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 庶務課

職名・氏名 カチョウ 課長 ナカムラ 中村 ヒデアキ 英昭

電話番号 03-3941-7420

（夜間） 03-3941-7420

F A X 03-3941-8333

e-mail d-shomu@atomi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

<臨床心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	5
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	35
4. 既設大学等の状況	36
5. 教員組織の状況	37
6. 附帯事項等に対する履行状況等	63
7. その他全般的事項	64

別紙資料

	ページ
資料1. 跡見学園女子大学大学評議会規程	68
資料2. 跡見学園女子大学学則	70
資料3. 跡見学園女子大学教授会規程	116
資料4. 跡見学園女子大学教授会各種委員会規程	118
資料5. 跡見学園女子大学自己点検・評価に関する規程	120

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人跡見学園

(2) 大学名

跡見学園女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

文京キャンパス（本部）	3・4年次	〒112-8687	東京都文京区大塚一丁目5番2号
新座キャンパス	1・2年次	〒352-8501	埼玉県新座市中野一丁目9番6号
菊坂跡見塾		〒113-0033	東京都文京区本郷五丁目9番4号
文京キャンパス別館		〒112-0012	東京都文京区大塚二丁目1番17号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマザキ カズヒデ) 山崎 一穎 (平成21年4月)	(ヤマザキ カズヒデ) 山崎 一穎 (平成21年10月)	事務上の記載ミスにより(元)
学長	(ヤマダ テツオ) 山田 徹雄 (平成22年4月)	(カサハラ キヨシ) 笠原 清志 (平成30年4月)	任期満了のため(30)
学部長	(ノジマ カズヒコ) 野島 一彦 (平成30年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 臨床心理学科 学士(臨床心理学)	文学関係	4年	120人	-年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120 () []	-	120 () []	-	120 () []	-	() []	() []	1.17倍 1.23倍 1.18倍	一倍	
志願者数	436 () []	-	854 () []	-	855 () []	-	() []	() []			
受験者数	423 () []	-	827 () []	-	830 () []	-	() []	() []			
合格者数	248 () []	-	324 () []	-	303 () []	-	() []	() []			
B 入学者数	142 () []	-	154 () []	-	129 () []	-	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.18		1.28		1.07						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	142 [-] (-)	- [-] (-)	154 [-] (-)	- [-] (-)	129 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] () ()	[] [] () ()	
2年次	/		139 [-] (-)	- [-] (-)	160 [-] (9)	- [-] (-)	[] [] () ()	[] [] () ()	
3年次			/		/		124 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] () ()
4年次	/						/		/
計			142 [-] (-)		293 [-] (-)				

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	142 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への転学(1名)
令和元年度	293 人	8 人	平成30年度	5 人	0 人	除籍(2人)、修学意欲の低下(1人)、他の教育機関への転学(1人)、その他(1人)
			令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への転学(2人)、学生個人の心身に関する事情(1人)
令和2年度	413 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への転学(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		12 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{142} = \boxed{2.11} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{293} = \boxed{2.73} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{413} = \boxed{0.24} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 臨床心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼3
	英語A II a	1後	2								兼3
	英語A II b	1後	2								兼2
	英語A III a	2前	2								兼3
	英語A III b	2前	2								兼3
	英語A IV a	2後	2								兼3
	英語A IV b	2後	2								兼1
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼4
	英語 II	1後	2								兼2
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼5
	フランス語 IV	2後	2								兼5
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼5
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼2
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアレッスン	1-2前・後	1								兼1
	英語再入門A	1前・2前	1								兼2
	英語再入門B	1前・2前	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1	
中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1	
朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後	1								兼1	
フランス語上級 I	3・4前	1								兼1	
フランス語上級 II	3・4後	1								兼1	
ドイツ語上級 I	3・4前	1								兼1	
ドイツ語上級 II	3・4後	1								兼1	
中国語上級 I	3・4前	1								兼1	
中国語上級 II	3・4後	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	1								兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼6
	英語A I b	1前	2								兼9
	英語A II a	1後	2								兼7
	英語A II b	1後	2								兼7
	英語A III a	2前	2								兼5
	英語A III b	2前	2								兼4
	英語A IV a	2後	2								兼5
	英語A IV b	2後	2								兼4
	英語B I a	1前	2								兼2
	英語B I b	1前	2								兼2
	英語B II a	1後	2								兼2
	英語B II b	1後	2								兼2
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼6
	英語 II	1後	2								兼4
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼4
	フランス語 II	1後	2								兼3
	フランス語 III	2前	2								兼4
	フランス語 IV	2後	2								兼4
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼6
	ドイツ語 IV	2後	2								兼6
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼6
	中国語 IV	2後	2								兼7
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼4
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアレッスン	1-2前・後	1								兼1
	英語再入門A	1前・2前	1								兼2
	英語再入門B	1前・2前	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1	
中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1	
朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後	1								兼1	
フランス語上級 I	3・4前	1								兼1	
フランス語上級 II	3・4後	1								兼1	
ドイツ語上級 I	3・4前	1								兼1	
ドイツ語上級 II	3・4後	1								兼1	
中国語上級 I	3・4前	1								兼1	
中国語上級 II	3・4後	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	1								兼1	

	福祉心理学	3・4後	2																	兼1	
	障害者(児)心理学	3・4前	2																	兼1	
	産業・組織心理学	3・4前	2																	兼1	
	産業カウンセリング	3・4前	2		1															兼1	
	司法・犯罪心理学	3・4後	2																	兼1	
	精神疾患とその治療	3・4前	2		1															兼1	
	心身医学	3・4後	2																	兼1	
	子どものこころとからだ	3・4前	2																	兼1	
	小計(32科目)	-	0	64	0	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼15	
特殊演習	心理演習	3前	2			1		1													
	遊戯・芸術療法	3・4後	1			1															
	心理的アセスメント	3・4前	1			1															
	小計(3科目)	-	0	4	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
実習	心理学実験	2前・後	2			1															
	健康心理アセスメント実習	3・4前	2					1													
	心理実習A	3・4前	1			1	1														
	心理実習B	3後	1			1		1													
	心理実習C	3前	1			1		1													
小計(5科目)	-	2	5	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
演習	臨床心理学演習 I A	3前	1			6	2	2													
	臨床心理学演習 I B	3後	1			6	2	2													
	臨床心理学演習 II A	4前	1			6	2	2													
	臨床心理学演習 II B	4後	1			6	2	2													
	小計(4科目)	-	4	0	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	2	2													
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
合計(282科目)			-	21	458	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼203
卒業要件及び履修方法																					
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。</p> <p>卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。</p> <p>前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。</p> <p>(履修科目の登録上限:半期22単位)</p> <p>全学共通科目</p> <p><前期課程></p> <p>外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目</p> <p><前期課程></p> <p>総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																					

	福祉心理学	3・4後	2																		兼1
	障害者(児)心理学	3・4前	2																		兼1
	産業・組織心理学	3・4前	2																		兼1
	産業カウンセリング	3・4前	2		1																兼1
	司法・犯罪心理学	3・4後	2																		兼1
	精神疾患とその治療	3・4前	2		1																兼1
	心身医学	3・4後	2																		兼1
	子どものこころとからだ	3・4前	2																		兼1
	小計(32科目)	-	0	64	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼16
特殊演習	心理演習	3前	2			1	2														
	遊戯・芸術療法	3・4後	1			1															
	心理的アセスメント	3・4前	1			1															
	小計(3科目)	-	0	4	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
実習	心理学実験	2前・後	2																		兼1
	健康心理アセスメント実習	3・4後	2					1													
	心理実習A	3・4後	1			2	1														
	心理実習B	3後	1			1	2														
	心理実習C	3前	1			1	1														兼1
小計(5科目)	-	2	5	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
演習	臨床心理学演習 I A	3前	1			6	4														
	臨床心理学演習 I B	3後	1			6	4														
	臨床心理学演習 II A	4前	1			6	4														
	臨床心理学演習 II B	4後	1			6	4														
	小計(4科目)	-	4	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	4														
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
合計(281科目)			-	21	456	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼221
卒業要件及び履修方法																					
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。</p> <p>卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。</p> <p>前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。</p> <p>(履修科目の登録上限:半期22単位)</p> <p>全学共通科目</p> <p><前期課程></p> <p>外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目</p> <p><前期課程></p> <p>総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																					

演習	臨床心理学演習ⅠA	3前	1			6	2	2												
	臨床心理学演習ⅠB	3後	1			6	2	2												
	臨床心理学演習ⅡA	4前	1			6	2	2												
	臨床心理学演習ⅡB	4後	1			6	2	2												
	小計(4科目)	-	4	0	0	6	2	2	0	0										兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	2	2												
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	2	2	0	0										兼0
合計(282科目)		-	21	458	0	6	2	2	0	0										兼211

卒業要件及び履修方法

授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。
卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学専門科目をあわせて124単位以上修得する。
前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。
(履修科目の登録上限:半期22単位)

全学共通科目

<前期課程>

外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。

<後期課程>

教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。

心理学部臨床心理学専門科目

<前期課程>

総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。

<後期課程>

各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。

演習	臨床心理学演習ⅠA	3前	1			6	2	2	3	1										
	臨床心理学演習ⅠB	3後	1			6	2	2	3	1										
	臨床心理学演習ⅡA	4前	1			6	2	2	3	1										
	臨床心理学演習ⅡB	4後	1			6	2	2	3	1										
	小計(4科目)	-	4	0	0	6	2	2	3	1	0	0								兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	2	2	3	1										
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	2	2	3	1	0	0								兼0
合計(282科目)		-	21	458	0	6	2	2	3	1	0	0								兼215

卒業要件及び履修方法

授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。
卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学専門科目をあわせて124単位以上修得する。
前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。
(履修科目の登録上限:半期22単位)

全学共通科目

<前期課程>

外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。

<後期課程>

教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。

心理学部臨床心理学専門科目

<前期課程>

総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。

<後期課程>

各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅠb」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅡb」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・兼任講師就任辞退の理由により、「朝鮮・韓国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「マルチメディア基礎演習(音楽制作)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・専任教員病欠の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。平成31年度に開講予定。
- ・履修機会を増やす理由により、「異文化理解」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「TOEIC特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技B」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技C」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技D」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技H」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。

【令和元年度】

- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅡa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢb」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣb」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、「講師1」から「教授2」、「准教授3」に変更。
- ・専任教員役職就任の理由により、「プロゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授4」、「講師1」、から「教授3」、「准教授1」、「講師1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「アジア現代史」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「ボランティア論」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「経済学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「教育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「保育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「統計学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「情報科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「健康科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・兼任教員退職の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「ディベート演習」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「プレゼンテーション演習」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「キャリア基礎演習(グループワーク)」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技F(水泳)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「臨床心理学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理学研究法」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「教育・学校心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「神経・生理心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「高齢者の心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員後任就任の理由により、「学校臨床心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「健康心理カウンセリング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「心理演習」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理的アセスメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員役職就任の理由により、「心理学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「心理実習B」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅠA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> 習熟度別クラス新設の理由により、「英語A1a」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語A1b」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼9」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語A2a」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼7」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語A2b」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼7」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語B1a」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語B1b」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語B2a」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語B2b」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語I」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。 習熟度別クラス新設の理由により、「英語II」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「フランス語I」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「フランス語II」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「ドイツ語III」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「ドイツ語IV」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「中国語IV」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼7」に変更。 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「朝鮮・韓国語II」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。 時間割編成都合の理由により、「画像処理基礎演習」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。 時間割編成都合の理由により、「マルチメディア基礎演習(音楽制作)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。 専任教員昇格により、「プロゼミII」の専任教員等の配置を「教授3」、「准教授1」、「講師1」、から「教授3」、「准教授2」に変更。 時間割編成都合の理由により、「アジア現代史」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。 兼任教員後職就任の理由により、「ヨーロッパ現代史」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 兼任教員就任辞退の理由により、「西洋古典文学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 兼任教員退職等の理由により、「地理学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更、なお、後任は未定。 兼任教員就任辞退の理由により、「社会学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更、なお、後任は未定。 履修者数を鑑みた理由により、「認識論」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。 教育課程編成都合の理由により、「心理学」の専任教員等の配置を「教授1」、「兼1」、から「准教授1」、「兼1」に変更。 時間割編成都合の理由により、「人間関係論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。 時間割編成都合の理由により、「社会調査法」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。 履修者数を増やす理由により、「花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。また、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。 時間割編成都合の理由により、「対人関係のスキル」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。 兼任教員就任辞退の理由により、「体育実技E(水泳)」を「兼2」から「兼1」に変更。 教育課程編成都合の理由により、「ストレス・マネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 専任教員昇格の理由により、「学習・言語心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。 時間割編成都合の理由により、「人体の構造と機能及び疾病」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。 時間割編成都合の理由により、「コンピュータ・グラフィックス」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「ヨーロッパ中世文学」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。 教育課程編成上の理由により、「ミステリー文学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。また、配当年次を「3・4前・後」から「3・4後」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「ファッション論」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「国際経済」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「水産学」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「教育学概論」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「プロダクトデザイン論」の配当年次を「3・4後」から「3・4前・後」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「日本語演習」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。 履修者数を鑑みた理由により、「ボランティア実践B」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。 時間割編成都合の理由により、「総合科目(芸術と社会)」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。 教育課程編成都合の理由により、「青年期の発達心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 教育課程編成都合の理由により、「高齢者の心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。 時間割編成都合の理由により、「心理学的支援法」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。 時間割編成都合の理由により、「公認心理師の職業」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。 時間割編成都合の理由により、「臨床教育学」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。 時間割編成都合の理由により、「発達障害の心理と指導援助」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。 専任教員昇格の理由により、「キャリアカウンセリング」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。 専任教員昇格の理由により、「健康・医療心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。 教育課程編成都合の理由により、「心理演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」、「准教授2」に変更。 専任教員昇格の理由、及び、時間割編成都合の理由により、「健康心理アセスメント実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。また、配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。 教育課程編成都合、及び、時間割編成都合の理由により、「心理実習A」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授1」から「教授2」、「准教授1」に変更。また、配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。 教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「心理実習B」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「教授1」、「准教授2」に変更。 教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「心理実習C」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「教授1」、「准教授1」、「兼1」に変更。 教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習IA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授5」、「准教授4」に変更。 教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習IB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授5」、「准教授4」に変更。 専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習IIA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授6」、「准教授4」に変更。 専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習IIB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授6」、「准教授4」に変更。 専任教員昇格の理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授6」、「准教授4」に変更。
--

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	267 科目	0 科目	282 科目	15 科目	266 科目	科目	281 科目	教育課程編成上の理由により、選択科目「教育原理」は他学部専門科目に移動した。
				[]	[Δ1]	[]	[Δ1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	単位外	教授	准教授	講師	助教	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼3
	英語A II a	1後	2								兼3
	英語A II b	1後	2								兼2
	英語A III a	2前	2								兼3
	英語A III b	2前	2								兼3
	英語A IV a	2後	2								兼3
	英語A IV b	2後	2								兼1
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼4
	英語 II	1後	2								兼2
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼5
	フランス語 IV	2後	2								兼5
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼5
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼2
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディア授業	1-2前	1								兼1
	英語再入門A	18-2前	1								兼2
	英語再入門B	18-2前	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
小計(45科目)	-	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼60
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1								兼2
	情報リテラシー II	1後	1								兼3
	画像処理基礎演習	1-2前	1								兼1
	Web制作	1-2前	1								兼2
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1-2前	1								兼1
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1-2後	1								兼1
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1-2前	1								兼2
小計(7科目)	-	2	5	0	0	0	0	0	0	0	兼7
導入科目	プロゼミ I	1前	1		2	2	1				
	プロゼミ II	1後	1		4	1					
小計(2科目)	-	2	0	0	6	2	2	0	0	0	兼0
人文系	文芸理論	1-2前	2								兼3
	歴史理論	1-2前	2								兼3
	言語科学	1-2前	2								兼1
	記号論	1-2後	2								兼1
	日本現代史	1-2後	2								兼1
	アジア現代史	1-2前	2								兼1
	ヨーロッパ現代史	1-2前	2								兼2
	日本文学	1-2前	2								兼2
	中国文学	1-2後	2								兼1
	英文学	1-2前	2								兼1
	ドイツ文学	1-2前	2								兼1

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	単位外	教授	准教授	講師	助教	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼5
	英語A I b	1前	2								兼9
	英語A II a	1後	2								兼7
	英語A II b	1後	2								兼7
	英語A III a	2前	2								兼5
	英語A III b	2前	2								兼4
	英語A IV a	2後	2								兼5
	英語A IV b	2後	2								兼4
	英語B I a	1前	2								兼2
	英語B I b	1前	2								兼2
	英語B II a	1後	2								兼2
	英語B II b	1後	2								兼2
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼6
	英語 II	1後	2								兼4
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼4
	フランス語 II	1後	2								兼3
	フランス語 III	2前	2								兼4
	フランス語 IV	2後	2								兼4
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼6
	ドイツ語 IV	2後	2								兼6
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼6
	中国語 IV	2後	2								兼7
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼4
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディア授業	1-2前	1								兼1
	英語再入門A	18-2前	1								兼2
	英語再入門B	18-2前	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
小計(45科目)	-	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼75
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1								兼2
	情報リテラシー II	1後	1								兼3
	画像処理基礎演習	1-2後	1								兼1
	Web制作	1-2前	1								兼2
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1-2前	1								兼1
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1-2後	1								兼2
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1-2前	1								兼2
小計(7科目)	-	2	5	0	0	0	0	0	0	0	兼8
導入科目	プロゼミ I	1前	1		2	3					
	プロゼミ II	1後	1		4	2					
小計(2科目)	-	2	0	0	6	5	4	0	0	0	兼0
人文系	文芸理論	1-2前	2								兼3
	歴史理論	1-2前	2								兼3
	言語科学	1-2前	2								兼1
	記号論	1-2後	2								兼1
	日本現代史	1-2後	2								兼1
	アジア現代史	1-2前	2								兼1
	ヨーロッパ現代史	1-2前	2								兼1
	日本文学	1-2前	2								兼2
	中国文学	1-2後	2								兼1
	英文学	1-2前	2								兼1
	ドイツ文学	1-2前	2								兼1

体育実技科目	体育実技A	1・2前	1															兼1	
	体育実技B	1・2前	1															兼1	
	体育実技C	1・2前	1															兼1	
	体育実技D	1・2後	1															兼1	
	体育実技E(水泳)	1・2前	1															兼1	
	体育実技F(水泳)	1・2前	1															兼1	
	体育実技G	1・2前	1															兼1	
	体育実技H	1・2後	1															兼1	
	小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼3
臨床心理学科専門科目	総論	心理学概論	1前	2					1										
		臨床心理学概論	1後	2					1										
		心理学研究法	1・2前	2						1									
		知覚・認知心理学	1・2前	2							1								
		学習・言語心理学	1・2前	2							1								
		発達心理学	1・2後	2															
		社会・集団・家族心理学	1・2後	2															
		心理学史	1・2後	2			1												
		教育・学校心理学	1・2前	2							1								
		健康教育概論	1・2後	2			1												
		人体の構造と機能及び疾病	1・2後	2			1												
	小計(11科目)	-	4	18	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	入門実	心理学統計法	2前	2					1										
小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
実習	心理学実験	2前・後	2					1											
小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
合計(153科目)	-	15	251	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼133	
卒業要件及び履修方法																			
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。 卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。 前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。 (履修科目の登録上限：半期22単位)</p> <p>全学共通科目 <前期課程> 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。 <後期課程> 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目 <前期課程> 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。 <後期課程> 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																			

体育実技科目	体育実技A	1・2前	1																兼1	
	体育実技B	1・2前	1																兼1	
	体育実技C	1・2前	1																兼1	
	体育実技D	1・2後	1																兼1	
	体育実技E(水泳)	1・2前	1																兼1	
	体育実技F(水泳)	1・2前	1																兼1	
	体育実技G	1・2前	1																兼1	
	体育実技H	1・2後	1																兼1	
	小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
臨床心理学科専門科目	総論	心理学概論	1前	2							1									
		臨床心理学概論	1後	2							1									
		心理学研究法	1・2前	2								2								
		知覚・認知心理学	1・2前	2								2								
		学習・言語心理学	1・2前	2								2								
		発達心理学	1・2後	2								2								
		社会・集団・家族心理学	1・2後	2								2								
		心理学史	1・2後	2			1					2								
		教育・学校心理学	1・2前	2								2								
		健康教育概論	1・2後	2			1					2								
		人体の構造と機能及び疾病	1・2後	2			1					2								
	小計(11科目)	-	4	18	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	入門実	心理学統計法	2前	2							1									
小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
実習	心理学実験	2前・後	2																	
小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
合計(152科目)	-	15	249	0	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼147	
卒業要件及び履修方法																				
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。 卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。 前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。 (履修科目の登録上限：半期22単位)</p> <p>全学共通科目 <前期課程> 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。 <後期課程> 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目 <前期課程> 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。 <後期課程> 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼5
	英語A II a	1後	2								兼3
	英語A II b	1後	2								兼3
	英語A III a	2前	2								兼3
	英語A III b	2前	2								兼3
	英語A IV a	2後	2								兼3
	英語A IV b	2後	2								兼1
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼4
	英語 II	1後	2								兼2
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼5
	フランス語 IV	2後	2								兼5
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼5
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼3
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアレッスン	1-2前・8	1								兼1
	英語再入門A	1前・2前・8	1								兼2
	英語再入門B	1前・2前・8	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
小計(45科目)	-	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼64
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1								兼2
	情報リテラシー II	1後	1								兼3
	画像処理基礎演習	1-2前	1								兼1
	Web制作	1-2前・8	1								兼2
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1-2前	1								兼1
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1-2前・8	1								兼2
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1-2前・8	1								兼2
小計(7科目)	-	2	5	0	0	0	0	0	0	0	兼8
導入科目	プロゼミ I	1前	1			1	2	1			
	プロゼミ II	1後	1			4	1				
小計(2科目)	-	2	0	0	5	2	2	0	0	0	兼0
人文系	文芸理論	1-2前・8	2								兼3
	歴史理論	1-2前・8	2								兼3
	言語科学	1-2前・8	2								兼1
	記号論	1-2後	2								兼1
	日本現代史	1-2後	2								兼1
	アジア現代史	1-2前	2								兼1
	ヨーロッパ現代史	1-2前・8	2								兼2
	日本文学	1-2前・8	2								兼2
	中国文学	1-2後	2								兼1
	英文学	1-2前	2								兼1
	ドイツ文学	1-2前・8	2								兼1
	フランス文学	1-2前・8	2								兼1
	ロシア文学	1-2前・8	2								兼1
	西洋古典文学	1-2前・8	2								兼1
	百人一首	1-2前・8	2								兼2

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼5
	英語A II a	1後	2								兼4
	英語A II b	1後	2								兼3
	英語A III a	2前	2								兼5
	英語A III b	2前	2								兼4
	英語A IV a	2後	2								兼5
	英語A IV b	2後	2								兼4
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼5
	英語 II	1後	2								兼3
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼4
	フランス語 IV	2後	2								兼4
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼6
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼3
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアレッスン	1-2前・8	1								兼1
	英語再入門A	1前・2前・8	1								兼2
	英語再入門B	1前・2前・8	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
小計(45科目)	-	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼68
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1								兼2
	情報リテラシー II	1後	1								兼3
	画像処理基礎演習	1-2前	1								兼1
	Web制作	1-2前・8	1								兼2
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1-2前	1								兼1
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1-2前・8	1								兼2
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1-2前・8	1								兼2
小計(7科目)	-	2	5	0	0	0	0	0	0	0	兼8
導入科目	プロゼミ I	1前	1			2	3				
	プロゼミ II	1後	1			3	1	1			
小計(2科目)	-	2	0	0	5	3	1	0	0	0	兼0
人文系	文芸理論	1-2前・8	2								兼3
	歴史理論	1-2前・8	2								兼3
	言語科学	1-2前・8	2								兼1
	記号論	1-2後	2								兼1
	日本現代史	1-2後	2								兼1
	アジア現代史	1-2前	2								兼1
	ヨーロッパ現代史	1-2前・8	2								兼2
	日本文学	1-2前・8	2								兼2
	中国文学	1-2後	2								兼1
	英文学	1-2前	2								兼1
	ドイツ文学	1-2前・8	2								兼1
	フランス文学	1-2前・8	2								兼1
	ロシア文学	1-2前・8	2								兼1
	西洋古典文学	1-2前・8	2								兼1
	百人一首	1-2前・8	2								兼2

臨床心理学科専門科目	総論	心理学概論	1前	2					1													
		臨床心理学概論	1後	2					1													
		心理学研究法	1・2前		2						1											
		知覚・認知心理学	1・2前		2																兼1	
		学習・言語心理学	1・2前		2							1										
		発達心理学	1・2後		2																兼1	
		社会・集団・家族心理学	1・2後		2																兼1	
		心理学史	1・2後		2				1													
		教育・学校心理学	1・2前		2								1									
		健康教育概論	1・2後		2								1									
		人体の構造と機能及び疾病	1・2後		2								1									
		小計(11科目)	-	4	18	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
		入研 門究	心理学統計法	2前	2						1											
			小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
		実 習	心理学実験	2前・後	2						1											
小計(1科目)	-		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0		
合計(153科目)		-	15	251	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼141	

卒業要件及び履修方法

授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。
卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。
前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。
(履修科目の登録上限：半期22単位)

全学共通科目
 <前期課程>
 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。
 <後期課程>
 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。

心理学部臨床心理学科専門科目
 <前期課程>
 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。
 <後期課程>
 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。

臨床心理学科専門科目	総論	心理学概論	1前	2							1											
		臨床心理学概論	1後	2								1										
		心理学研究法	1・2前		2									1								
		知覚・認知心理学	1・2前		2																兼1	
		学習・言語心理学	1・2前		2										1							
		発達心理学	1・2後		2																兼1	
		社会・集団・家族心理学	1・2後		2																兼1	
		心理学史	1・2後		2								1									
		教育・学校心理学	1・2前		2											1						
		健康教育概論	1・2後		2									1								
		人体の構造と機能及び疾病	1・2後		2									1								
		小計(11科目)	-	4	18	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
		入研 門究	心理学統計法	2前	2							1										
			小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
		実 習	心理学実験	2前・後	2																	兼1
小計(1科目)	-		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
合計(153科目)		-	15	251	0	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼145	

卒業要件及び履修方法

授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。
卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。
前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。
(履修科目の登録上限：半期22単位)

全学共通科目
 <前期課程>
 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。
 <後期課程>
 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。

心理学部臨床心理学科専門科目
 <前期課程>
 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。
 <後期課程>
 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の下りに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語A1b」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語A2b」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・兼任講師就任辞退の理由により、「朝鮮・韓国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「マルチメディア基礎演習（音楽制作）」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・専任教員病欠の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。平成31年度に開講予定。
- ・履修機会を増やす理由により、「異文化理解」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「TOEIC特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技B」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技C」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技D」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技H」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。

【令和元年度】

- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅡa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢb」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣb」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、「講師1」から「教授2」、「准教授3」に変更。
- ・専任教員役職就任の理由により、「プロゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授4」、「講師1」、から「教授3」、「准教授1」、「講師1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「アジア現代史」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「ボランティア論」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「経済学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「教育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「保育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「統計学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「情報科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「健康科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・兼任教員退職の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「ディベート演習」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「プレゼンテーション演習」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「キャリア基礎演習（グループワーク）」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技E（水泳）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「臨床心理学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理学研究法」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「教育・学校心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員役職就任の理由により、「心理学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。

【令和2年度】

- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅠa」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅠb」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼9」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅡa」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼7」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅡb」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語BⅠa」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語BⅠb」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語BⅡa」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語BⅡb」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「フランス語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「フランス語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「ドイツ語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「ドイツ語Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼7」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「朝鮮・韓国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「画像処理基礎演習」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「マルチメディア基礎演習（音楽制作）」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・専任教員昇格により、「プロゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授3」、「准教授1」、「講師1」、から「教授3」、「准教授2」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「アジア現代史」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・兼任教員役職就任の理由により、「ヨーロッパ現代史」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員就任辞退の理由により、「西洋古典文学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・兼任教員退職等の理由により、「地理学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更、なお、後任は未定。
- ・兼任教員就任辞退の理由により、「社会学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更、なお、後任は未定。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「認識論」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・教育課程編成都合の理由により、「心理学」の専任教員等の配置を「教授1」、「兼1」、から「准教授1」、「兼1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「人間関係論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「社会調査法」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「花咲の教育とライフプラン・キャリアプラン」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。また、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「対人関係のスキル」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・兼任教員就任辞退の理由により、「体育実技E（水泳）」を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育課程編成都合の理由により、「ストレス・マネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「学習・言語心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「人体の構造と機能及び疾病」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」

- (注) 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

特になし。

【令和元年度】

- ・専任教員昇格の理由により、「神経・生理心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「高齢者の心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員後任就任の理由により、「学校臨床心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「健康心理カウンセリング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「心理演習」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理学的アセスメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「心理実習B」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅠA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。

【令和2年度】

- ・時間割編成都合の理由により、「コンピュータ・グラフィックス」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「ヨーロッパ中世文学」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「ミステリー文学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。また、配当年次を「3・4前・後」から「3・4後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「ファッション論」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「国際経済」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「水産学」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「教育学概論」の配当年次を「3・4前・後」から「3・4前」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「プロダクトデザイン論」の配当年次を「3・4後」から「3・4前・後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「日本語演習」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「ボランティア実践B」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「総合科目（芸術と社会）」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・教育課程編成都合の理由により、「青年期の発達心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程編成都合の理由により、「高齢者の心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「心理学的支援法」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「公認心理師の職業」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「臨床教育学」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「発達障害の心理と指導援助」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「キャリアカウンセリング」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「健康・医療心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程編成都合の理由により、「心理演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」、「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由、及び、時間割編成都合の理由により、「健康心理アセスメント実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。また、配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・教育課程編成都合、及び、時間割編成都合の理由により、「心理実習A」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授1」から「教授2」、「准教授1」に変更。また、配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「心理実習B」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「教授1」、「准教授2」に変更。
- ・教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「心理実習C」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「教授1」、「准教授1」、「兼1」に変更。
- ・教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習ⅠA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授5」、「准教授4」に変更。
- ・教育課程編成都合、及び、専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授5」、「准教授4」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授6」、「准教授4」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「臨床心理学演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授6」、「准教授4」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授3」、「講師1」から「教授6」、「准教授4」に変更。

(注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	124 科目	0 科目	129 科目	5 科目 [0]	124 科目 [0]	0 科目 [0]	129 科目 [0]	

(注) 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育原理	2	1・2前・後	一般	選択	教職課程の再課程認定に伴い、令和元年度入学者より全学共通科目選択科目「教育原理」を他学部専門科目に移動した。配当年次を1・2年とするため、令和2年度に廃止とする。(2)
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「教育原理」は他学部専門科目として開講しているため、学生への影響は限定的である。学生には募集段階から教育課程を公表しており、入学後にも学生便覧を通じて周知している。(2)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{282} = \boxed{0.35\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	14,204.85㎡	0㎡	0㎡	14,204.85㎡				
	運動場用地	48,783.25㎡	0㎡	0㎡	48,783.25㎡				
	小 計	62,988.10㎡	0㎡	0㎡	62,988.10㎡				
	そ の 他	3,385.45㎡	0㎡	0㎡	3,385.45㎡				
	合 計	66,373.55㎡	0㎡	0㎡	66,373.55㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	52,068.94㎡ (52,068.94 ㎡)	0㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	52,068.94㎡ (52,068.94 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 専任職員4名と業務委託5名で対応(元) 専任職員4名と業務委託6名で対応(30)			
	89 室	34 室	15 室	14 室 4 (補助職員 8人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	心理学部			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌(電子ジャーナル含む)は、学部単位での特定不能なため、大学全体の数。 視聴覚資料、機械・器具については心理学部に係る数。 図書2,932冊〔うち外国書92冊〕を補充(30) 学術雑誌の減少は学術紀要電子化公開による冊子廃棄のため。電子ジャーナルの減少は契約タイトル見直しのため(30) 視聴覚資料4点を補充(30) 図書3,182冊〔うち外国書57冊〕を補充(元) 学術雑誌の減少は学術紀要電子化公開による冊子廃棄のため(元) 電子ジャーナル廃止はデータベース整備、電子書籍化推進により補う(元) 機械・器具4点増加※本来は令和元年度報告に報告すべきものであったが令和2年度報告となった(2) 図書3,837冊〔うち外国書41冊〕を補充。電子書籍は図書に含む(2)	
	心理学部	522,443 [86,276] 518,606 [86,235] 515,424 [86,178] 512,492 [86,086]	5,140 [970] 5,122 [966] 5,620 [978] 7,123 [1,019]	0 [0] 81 [81] 83 [83]	209 205	174 170	0		
		522,443 [86,276] 518,606 [86,235] 515,424 [86,178] (512,492 [86,086])	5,140 [970] 5,122 [966] 5,620 [978] (7,123 [1,019])	0 [0] 81 [81] (83 [83])	209 (205)	174 (170)	(0)		
	計	522,443 [86,276] 518,606 [86,235] 515,424 [86,178] (512,492 [86,086])	5,140 [970] 5,122 [966] 5,620 [978] (7,123 [1,019])	0 [0] 81 [81] 83 [83]	209 205	174 170	0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	6,747.46 ㎡		728		603,100				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	3,934.20㎡		テ ニ ス コ ー ト 3 面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	365千円 463千円	463千円	図書購入費	16,000千円	16,000千円	16,000千円	
		共同研究費等	3,527千円 13,750千円	13,750千円	設備購入費	2,000千円	2,527千円 3,000千円	4,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	採択性の研究助成費への申請件数が予定件数を下回ったことによる減額(30)	
		1,202千円	1,022千円	1,042千円	1,062千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、寄付金収入、受取利息・配当金収入から調達した財源をもって学校経営に要する費用に充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	跡見学園女子大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文科学研究科	2	20	-	40	-	0.53	0.55	-	平成17	-	
日本文化専攻	2	8	-	16	修士(人文学)	0.06	0.12	-	平成17	埼玉県新座市中野一丁目9番6号(人文科学研究科)	
臨床心理学専攻	2	12	-	24	修士(臨床心理学)	0.83	0.83	-	平成17	埼玉県新座市中野一丁目9番6号(人文科学研究科)	
マネジメント研究科	2	10	-	20	-	0.15	0.10	-	平成18	-	
マネジメント専攻	2	10	-	20	修士(マネジメント学)	0.15	0.10	-	平成18	(マネジメント研究科)東京都文京区大塚一丁目5番2号	
大学院全体	2	30	-	60	-	0.40	0.40	-	-	-	
大学の名称	跡見学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
文学部	4	390	-	1560	-	1.18	1.11	-	昭和40		
人文学科	4	160	-	640	学士(人文学)	1.21	1.19	-	平成14		平成27年度入学定員減(△20人)
現代文化表現学科	4	120	-	480	学士(文化表現学)	1.17	1.08	-	平成22		平成27年度入学定員増(30人)
コミュニケーション文化学科	4	110	-	440	学士(コミュニケーション文化学)	1.16	1.04	-	平成18	(1・2年次)埼玉県新座市中野一丁目9番6号	平成27年度入学定員減(△10人)
臨床心理学科	4	-	-	-	学士(臨床心理学)	-	-	-	平成14		平成30年度より学生募集停止
マネジメント学部	4	260	-	1040	-	1.21	1.16	-	平成14		
マネジメント学科	4	180	-	720	学士(マネジメント学)	1.23	1.18	-	平成14		平成27年度入学定員減(△30人)
観光マネジメント学科	4	-	-	-	学士(観光マネジメント学)	-	-	-	平成22		平成27年度より学生募集停止
生活環境マネジメント学科	4	80	-	320	学士(マネジメント学)	1.16	1.12	-	平成18		平成27年度入学定員増(20人)
観光コミュニティ学部	4	200	-	800	-	1.21	1.17	-	平成27	(3・4年次)東京都文京区大塚一丁目5番2号	
観光デザイン学科	4	120	-	480	学士(観光学)	1.24	1.19	-	平成27		
コミュニティデザイン学科	4	80	-	320	学士(社会学)	1.16	1.13	-	平成27		
心理学部	4	120	-	480	-	1.17	1.07	-	平成30		
臨床心理学科	4	120	-	480	学士(臨床心理学)	1.17	1.07	-	平成30		
大学全体	4	970	-	3880	-	1.19	1.13	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜心理学部 臨床心理学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授 (学修系)	野島 一彦 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	野島 一彦 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	野島 一彦 (71) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	野島 一彦 (72) <平成30年4月> 博士(教育心理学)				
		プロゼミⅡ 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	教授	阿部 洋子 (64) <平成30年4月> 文学士	阿部 洋子 (64) <平成30年4月> 文学士	阿部 洋子 (65) <平成30年4月> 文学士	阿部 洋子 (66) <平成30年4月> 文学士				
		プロゼミⅡ 家族心理学 心理学実験 道徳心理学 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 家族心理学 心理学実験 道徳心理学 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	家族心理学 道徳心理学 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	家族心理学 道徳心理学 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	教授	伊澤 成男 (63) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)							
		プロゼミⅠ 学校臨床心理学 心理実習 心理実習B 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究							
専	教授	松壽 くみ子 (62) <平成30年4月> 医学博士(小児科学)	松壽 くみ子 (62) <平成30年4月> 医学博士(小児科学)	松壽 くみ子 (63) <平成30年4月> 医学博士(小児科学)	松壽 くみ子 (64) <平成30年4月> 医学博士(小児科学)				
		プロゼミⅠ 心理学 心理学史 青年期の発達心理学 遊戯・芸術療法 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅠ 心理学 心理学史 青年期の発達心理学 遊戯・芸術療法 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅠ 心理学 心理学史 青年期の発達心理学 遊戯・芸術療法 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅠ 心理学史 遊戯・芸術療法 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究 心理実習B				
専	教授	宮岡 佳子 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	宮岡 佳子 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	宮岡 佳子 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	宮岡 佳子 (62) <平成30年4月> 博士(医学)				
		プロゼミⅡ 健康教育概論 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 健康教育概論 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 健康教育概論 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究 心理実習				
専	教授	宮崎 圭子 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	宮崎 圭子 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	宮崎 圭子 (60) <平成30年4月> 博士(文学)	宮崎 圭子 (61) <平成30年4月> 博士(文学)				
		プロゼミⅡ 対人関係のスキル 心理統計法 心理教育的アセスメント 公認心理師の職責 産業カウンセリング 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 対人関係のスキル 心理統計法 心理教育的アセスメント 公認心理師の職責 産業カウンセリング 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 対人関係のスキル 心理統計法 心理教育的アセスメント 公認心理師の職責 産業カウンセリング 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅡ 対人関係のスキル 心理統計法 心理教育的アセスメント 公認心理師の職責 産業カウンセリング 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	准教授	酒井 佳永 (43) <平成30年4月> 博士(保健学)	酒井 佳永 (43) <平成30年4月> 博士(保健学)	酒井 佳永 (44) <平成30年4月> 博士(保健学)	酒井 佳永 (45) <平成30年4月> 博士(保健学)				
		プロゼミⅠ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 高齢者の心理学 健康心理カウンセリング 心理的アセスメント 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅠ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 高齢者の心理学 健康心理カウンセリング 心理的アセスメント 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅠ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 健康心理カウンセリング 心理的アセスメント 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	プロゼミⅠ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 健康心理カウンセリング 心理的アセスメント 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究 心理実習A				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月/保有学位等>						<就任(予定)年月/保有学位等>
		担当授業科目名						
専任	准教授	板東 充彦 (44) <平成30年4月> 博士(心理学)	板東 充彦 (44) <平成30年4月> 博士(心理学)	板東 充彦 (45) <平成30年4月> 博士(心理学)	板東 充彦 (46) <平成30年4月> 博士(心理学)	板東 充彦 (46) <平成30年4月> 博士(心理学)		
		プロゼミ I ストレス・マネジメント 心理学概論 感情・人権心理学 心理学的支援法 心理実習 A 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究						プロゼミ I ストレス・マネジメント 心理学概論 感情・人権心理学 心理学的支援法 心理実習 A 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究
専任	講師	新井 雅 (36) <平成30年4月> 博士(教育学)	新井 雅 (36) <平成30年4月> 博士(教育学)	新井 雅 (37) <平成30年4月> 博士(教育学)	新井 雅 (38) <平成30年4月> 博士(教育学)	新井 雅 (38) <平成30年4月> 博士(教育学)		
		プロゼミ I 心理学研究法 教育・学校心理学 心理実習 B 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究						プロゼミ I 心理学研究法 教育・学校心理学 心理実習 B 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究
専任	講師	前場 康介 (36) <平成30年4月> 博士(人間科学)	前場 康介 (36) <平成30年4月> 博士(人間科学)	前場 康介 (37) <平成30年4月> 博士(人間科学)	前場 康介 (38) <平成30年4月> 博士(人間科学)	前場 康介 (38) <平成30年4月> 博士(人間科学)		
		プロゼミ II 学習・言語心理学 キャリアカウンセリング 健康・医療心理学 健康心理アセスメント実習 心理実習 C 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究						プロゼミ II 学習・言語心理学 キャリアカウンセリング 健康・医療心理学 健康心理アセスメント実習 心理実習 C 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究
専任	准教授	小栗 貴弘 (38) <平成31年4月> 修士(心理学)	小栗 貴弘 (38) <平成31年4月> 修士(心理学)	小栗 貴弘 (38) <平成31年4月> 修士(心理学)	小栗 貴弘 (38) <平成31年4月> 修士(心理学)	小栗 貴弘 (38) <平成31年4月> 修士(心理学)		
		プロゼミ I プロゼミ II 学校臨床心理学 心理実習 B 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究						プロゼミ I プロゼミ II 学校臨床心理学 心理実習 B 臨床心理学演習 I A 臨床心理学演習 I B 臨床心理学演習 II A 臨床心理学演習 II B 卒業論文・卒業研究
専任	教授	鈴木 真理 (65) <令和2年4月> 医学博士	鈴木 真理 (65) <令和2年4月> 医学博士	鈴木 真理 (66) <平成30年4月> 博士(医学)	鈴木 真理 (67) <平成30年4月> 博士(医学)	鈴木 真理 (67) <平成30年4月> 博士(医学)		
		ストレス・マネジメント 健康教育概論 心理実習 C						ストレス・マネジメント 健康教育概論 心理実習 C
兼任	教授	石田 信一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	石田 信一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	石田 信一 (54) <平成30年4月> 博士(文学)	石田 信一 (54) <平成30年4月> 博士(文学)	石田 信一 (54) <平成30年4月> 博士(文学)		
		ヨーロッパ現代史						ヨーロッパ現代史
兼任	教授	石塚 正敏 (65) <平成30年4月> 博士(医学)	石塚 正敏 (65) <平成30年4月> 博士(医学)	石塚 正敏 (66) <平成30年4月> 博士(医学)	石塚 正敏 (67) <平成30年4月> 博士(医学)	石塚 正敏 (67) <平成30年4月> 博士(医学)		
		生理学 公衆衛生論						生理学 公衆衛生論
兼任	教授	岩田 秀行 (69) <平成30年4月> 文学修士※	岩田 秀行 (69) <平成30年4月> 文学修士※	岩田 秀行 (69) <平成30年4月> 文学修士※	岩田 秀行 (69) <平成30年4月> 文学修士※	岩田 秀行 (69) <平成30年4月> 文学修士※		
		百人一首						百人一首
兼任	教授	小川 忠 (61) <令和2年4月> 博士(学術)	小川 忠 (59) <令和2年4月> 博士(学術)	小川 忠 (60) <令和2年4月> 博士(学術)	小川 忠 (61) <令和2年4月> 博士(学術)	小川 忠 (61) <令和2年4月> 博士(学術)		
		テーマで学ぶ英語(社会問題) I						テーマで学ぶ英語(社会問題) I
兼任	教授	奥田 洋子 (69) <令和2年4月> 修士(文学)※	奥田 洋子 (67) <令和2年4月> 修士(文学)※	奥田 洋子 (68) <令和2年4月> 修士(文学)※	奥田 洋子 (69) <令和2年4月> 修士(文学)※	奥田 洋子 (69) <令和2年4月> 修士(文学)※		
		テーマで学ぶ英語(文化) II						テーマで学ぶ英語(文化) II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等					
		担当授業科目名			担当授業科目名		
兼任	教授	鍵屋 一 (63) <令和2年4月> 修士(政治学)	兼任	教授	鍵屋 一 (61) <令和2年4月> 修士(政治学)	兼任	教授
		ボランティア実践B			ボランティア実践B		
兼任	教授	神山 伸弘 (60) <令和2年4月> 社会学修士※	兼任	教授	神山 伸弘 (58) <令和2年4月> 社会学修士※	兼任	教授
		総合科目(国際政治)			総合科目(国際政治)		
兼任	教授	香山 はるの (54) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	教授	香山 はるの (52) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	教授
		テーマで学ぶ英語(文化)I			テーマで学ぶ英語(文化)I		
兼任	教授	小仲 信孝 (67) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	教授	小仲 信孝 (65) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	教授
		日本語演習			日本語演習		
兼任	教授	佐藤 敦 (60) <平成30年4月> Master in Public Administration (米国)	兼任	教授	佐藤 敦 (60) <平成30年4月> Master in Public Administration (米国)	兼任	教授
		花緑の教育とライフプラン・キャリアプラン 職業人のルールとモラル キャリア基礎演習(グループワーク)			花緑の教育とライフプラン・キャリアプラン 職業人のルールとモラル キャリア基礎演習(グループワーク)		
兼任	教授	塩月 亮子 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	塩月 亮子 (52) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授
		総合科目(地域文化) 総合科目(観光)			総合科目(地域文化) 総合科目(観光)		
兼任	教授	鈴木 芳明 (60) <平成30年4月> 文学士	兼任	教授	鈴木 芳明 (60) <平成30年4月> 文学士	兼任	教授
		教育原理			教育原理		
兼任	教授	副島 善通 (63) <令和2年4月> 芸術学修士※	兼任	教授	副島 善通 (61) <令和2年4月> 芸術学修士※	兼任	教授
		メディア環境論			メディア環境論		
兼任	教授	曾田 修司 (62) <令和2年4月> 文学士	兼任	教授	曾田 修司 (60) <令和2年4月> 文学士	兼任	教授
		総合科目(現代社会)			総合科目(現代社会)		
兼任	教授	高木 庸 (68) <令和2年4月> 芸術学修士	兼任	教授	高木 庸 (66) <令和2年4月> 芸術学修士	兼任	教授
		プロダクトデザイン論			プロダクトデザイン論		
兼任	教授	崔 勝漢 (55) <令和2年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	崔 勝漢 (53) <令和2年4月> 博士(経営学)	兼任	教授
		総合科目(キャリア)			総合科目(キャリア)		
兼任	教授	霧(吹野)理恵子 (55) <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	霧(吹野)理恵子 (55) <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	教授
		社会調査法			社会調査法		
兼任	教授	富川 淳子 (66) <令和2年4月> 経営学修士	兼任	教授	富川 淳子 (64) <令和2年4月> 経営学修士	兼任	教授
		総合科目(現代社会)			総合科目(現代社会)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				
兼任	教授	細川 淳 (64) <令和2年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	細川 淳 (62) <令和2年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	細川 淳 (63) <令和2年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	細川 淳 (64) <令和2年4月> 博士(社会学)				
		総合科目(キャリア)			総合科目(キャリア)			総合科目(キャリア)			総合科目(キャリア)				
兼任	教授	宮崎 正浩 (65) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	宮崎 正浩 (63) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	宮崎 正浩 (64) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	宮崎 正浩 (65) <令和2年4月> 博士(工学)				
		総合科目(人間と自然)			総合科目(人間と自然)			総合科目(人間と自然)			総合科目(人間と自然)				
兼任	教授	村田 あが (60) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	村田 あが (58) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	村田 あが (59) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	村田 あが (60) <令和2年4月> 博士(工学)				
		建築環境論 総合科目(芸術と社会)			建築環境論 総合科目(芸術と社会)			建築環境論 総合科目(芸術と社会)			建築環境論 総合科目(芸術と社会)				
兼任	教授	山田 秀樹 (63) <令和2年4月> 経済学士	兼任	教授	山田 秀樹 (61) <令和2年4月> 経済学士	兼任	教授	山田 秀樹 (62) <令和2年4月> 経済学士	兼任	教授	山田 秀樹 (63) <令和2年4月> 経済学士				
		総合科目(国際経済)			総合科目(国際経済)			総合科目(国際経済)			総合科目(国際経済)				
兼任	教授	吉澤 京子 (63) <令和2年4月> 修士(芸術学)	兼任	教授	吉澤 京子 (61) <令和2年4月> 修士(芸術学)	兼任	教授	吉澤 京子 (62) <令和2年4月> 修士(芸術学)							
		総合科目(芸術と社会)			総合科目(芸術と社会)			総合科目(芸術と社会)							
兼任	准教授	阿部 一哉 (46) <令和2年4月> 修士(言語学)	兼任	准教授	阿部 一哉 (44) <令和2年4月> 修士(言語学)	兼任	准教授	阿部 一哉 (45) <令和2年4月> 修士(言語学)	兼任	准教授	阿部 一哉 (46) <令和2年4月> 修士(言語学)				
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語上級Ⅰ ドイツ語上級Ⅱ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語上級Ⅰ ドイツ語上級Ⅱ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語上級Ⅰ ドイツ語上級Ⅱ ドイツ語リーディング・ライティング							
兼任	准教授	天海 弘 (61) <平成30年4月> 工学修士	兼任	准教授	天海 弘 (61) <平成30年4月> 工学修士	兼任	准教授	天海 弘 (62) <平成30年4月> 工学修士	兼任	准教授	天海 弘 (63) <平成30年4月> 工学修士				
		化学			化学			化学			化学				
兼任	准教授	石崎(石崎)裕子 (46) <令和2年4月> 修士(社会学)※	兼任	准教授	石崎(石崎)裕子 (44) <令和2年4月> 修士(社会学)※	兼任	准教授	石崎(石崎)裕子 (45) <令和2年4月> 修士(社会学)※	兼任	准教授	石崎(石崎)裕子 (46) <令和2年4月> 修士(社会学)※				
		総合科目(地域社会)			総合科目(地域社会)			総合科目(地域社会)			総合科目(地域社会)				
兼任	准教授	クリスティーナ・ブルリス (44) <令和2年4月> Master of Philosophy(英国) Master of Arts with Distinction(英国)	兼任	准教授	クリスティーナ・ブルリス (42) <令和2年4月> Master of Philosophy(英国) Master of Arts with Distinction(英国)	兼任	准教授	クリスティーナ・ブルリス (43) <令和2年4月> Master of Philosophy(英国) Master of Arts with Distinction(英国)	兼任	准教授	クリスティーナ・ブルリス (44) <令和2年4月> Master of Philosophy(英国) Master of Arts with Distinction(英国)				
		テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅰ テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅱ			テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅰ テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅱ			テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅰ テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅱ			テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅰ テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅱ				
兼任	准教授	櫻川 幸恵 (48) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	准教授	櫻川 幸恵 (46) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	准教授	櫻川 幸恵 (47) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	准教授	櫻川 幸恵 (48) <令和2年4月> 博士(経済学)				
		総合科目(国際経済)			総合科目(国際経済)			総合科目(国際経済)			総合科目(国際経済)				
兼任	准教授	篠崎 健司 (57) <令和2年4月> 経済学修士※	兼任	准教授	篠崎 健司 (55) <令和2年4月> 経済学修士※	兼任	准教授	篠崎 健司 (56) <令和2年4月> 経済学修士※	兼任	准教授	篠崎 健司 (57) <令和2年4月> 経済学修士※				
		総合科目(地域社会)			総合科目(地域社会)			総合科目(地域社会)			総合科目(地域社会)				
兼任	准教授	高橋 聖子 (44) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	高橋 聖子 (44) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	高橋 聖子 (45) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	高橋 聖子 (46) <平成30年4月> 修士(法学)※				
		法学			法学			法学			法学				
兼任	准教授	鶴田 雅昭 (65) <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	鶴田 雅昭 (63) <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	教授	鶴田 雅昭 (64) <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	教授	鶴田 雅昭 (65) <令和2年4月> 修士(経済学)※				
		総合科目(観光)			総合科目(観光)			総合科目(観光)			総合科目(観光)				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				
兼任	准教授	中村 聡 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	兼任	准教授	中村 聡 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	兼任	准教授	中村 聡 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	兼任	准教授	中村 聡 (53) <平成30年4月> 修士(文学)※				
		英語再入門A			英語再入門A			英語再入門A			英語再入門A				
兼任	准教授	南里 隆宏 (47) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)	兼任	准教授	南里 隆宏 (47) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)	兼任 講師	准教授	南里 隆宏 (48) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)	兼任 講師	准教授	南里 隆宏 (49) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)				
		ボランティア実践A			ボランティア実践A			ボランティア実践A			ボランティア実践A				
兼任	准教授	西田 晴美 (57) <平成31年4月> 修士(文学)、修士(英語教育学)※	兼任	准教授	西田 晴美 (56) <平成31年4月> 修士(文学)、修士(英語教育学)※	兼任	准教授	西田 晴美 (57) <平成31年4月> 修士(文学)、修士(英語教育学)※	兼任	准教授	西田 晴美 (58) <平成31年4月> 修士(文学)、修士(英語教育学)※				
		英語AⅢb 英語リーディング テーマで学ぶ英語(観光) I テーマで学ぶ英語(観光) II			英語AⅢb 英語リーディング テーマで学ぶ英語(観光) I テーマで学ぶ英語(観光) II			英語AⅢb 英語リーディング テーマで学ぶ英語(観光) I テーマで学ぶ英語(観光) II			英語AⅢb 英語リーディング テーマで学ぶ英語(観光) I テーマで学ぶ英語(観光) II				
兼任	准教授	深町 浩祥 (51) <令和2年4月> 経営学士、学士(工学)、 学士(法学)	兼任	准教授	深町 浩祥 (49) <令和2年4月> 経営学士、学士(工学)、 学士(法学)	兼任	准教授	深町 浩祥 (50) <令和2年4月> 経営学士、学士(工学)、 学士(法学)	兼任	准教授	深町 浩祥 (51) <令和2年4月> 経営学士、学士(工学)、 学士(法学)				
		ファッション論 総合科目(生活と環境)			ファッション論 総合科目(生活と環境)			ファッション論 総合科目(生活と環境)			ファッション論 総合科目(生活と環境)				
兼任	准教授	マツ・弘 (55) <平成30年4月> Ph.D. in Art History (米 国)	兼任	准教授	マツ・弘 (55) <平成30年4月> Ph.D. in Art History (米 国)	兼任	准教授	マツ・弘 (56) <平成30年4月> Ph.D. in Art History (米 国)	兼任	准教授	マツ・弘 (57) <平成30年4月> Ph.D. in Art History (米 国)				
		英語マルチメディアレッ スン			英語マルチメディアレッ スン			英語マルチメディアレッ スン			英語マルチメディアレッ スン				
兼任	准教授	森 まり子 (50) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任 教授	准教授	森 まり子 (48) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任 教授	准教授	森 まり子 (49) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任 教授	准教授	森 まり子 (50) <令和2年4月> 博士(学術)				
		総合科目(国際政治)			総合科目(国際政治)			総合科目(国際政治)			総合科目(国際政治)				
兼任	准教授	安本 真弓 (49) <平成30年4月> 博士(人文科学)	兼任	准教授	安本 真弓 (49) <平成30年4月> 博士(人文科学)	兼任	准教授	安本 真弓 (50) <平成30年4月> 博士(人文科学)	兼任 教授	准教授	安本 真弓 (51) <平成30年4月> 博士(人文科学)				
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ 中国語リーディング・ライ ティング			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ 中国語リーディング・ライ ティング				
兼任	准教授	山崎 妙 (46) <平成30年4月> Ph.D (英国)													
		英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習Ⅱ													
兼任	准教授	横井 由利 (67) <令和2年4月> 社会学士	兼任	准教授	横井 由利 (66) <令和2年4月> 社会学士	兼任	准教授	横井 由利 (67) <令和2年4月> 社会学士	兼任	准教授	横井 由利 (68) <令和2年4月> 社会学士				
		ファッション論 マーケティングコミュニケーション 総合科目(生活と環境)			ファッション論 マーケティングコミュニケーション 総合科目(生活と環境)			ファッション論 マーケティングコミュニケーション 総合科目(生活と環境)			ファッション論 マーケティングコミュニケーション 総合科目(生活と環境)				
兼任	准教授	横山 太郎 (47) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任 教授	准教授	横山 太郎 (45) <令和2年4月> 博士(学術)										
		日本語演習			日本語演習										
兼任	准教授	吉田 信夫 (58) <令和2年4月> 文学修士	兼任	准教授	吉田 信夫 (56) <令和2年4月> 文学修士	兼任	准教授	吉田 信夫 (57) <令和2年4月> 文学修士	兼任	准教授	吉田 信夫 (58) <令和2年4月> 文学修士				
		テーマで学ぶ英語(メ ディア)Ⅰ			テーマで学ぶ英語(メ ディア)Ⅰ			テーマで学ぶ英語(メ ディア)Ⅰ			テーマで学ぶ英語(メ ディア)Ⅰ				
兼任	講師	赤松 瑞枝 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	赤松 瑞枝 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	赤松 瑞枝 (39) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	赤松 瑞枝 (40) <平成30年4月> 博士(学術)				
		家政学			家政学			家政学			家政学				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	寺本 敬子 (38) <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	寺本 敬子 (38) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	寺本 敬子 (39) <平成31年4月> 博士(社会学)						
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語上級Ⅰ フランス語上級Ⅱ			フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語上級Ⅰ フランス語上級Ⅱ			フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語上級Ⅰ フランス語上級Ⅱ						
			兼任	准教授	伊藤 雅 (48) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	教授	伊藤 雅 (49) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	教授	伊藤 雅 (50) <平成30年4月> 博士(工学)			
					マルチメディア基礎演習 (音楽制作)			マルチメディア基礎演習 (音楽制作)			マルチメディア基礎演習 (音楽制作)			
			兼任	教授	杉本 昌裕 (63) <平成30年4月> 修士(美術)									
					教育原理									
			兼任	准教授	峰松 和子 (59) <平成30年4月> 修士 (Linguistics:TESOL) (米語)、修士(コミュニ ケーション研究:英語教 育)※	兼任	准教授	峰松 和子 (60) <平成30年4月> 修士 (Linguistics:TESOL) (米語)、修士(コミュニ ケーション研究:英語教 育)※	兼任	准教授	峰松 和子 (61) <平成30年4月> 修士 (Linguistics:TESOL) (米語)、修士(コミュニ ケーション研究:英語教 育)※			
					英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習Ⅱ			英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習Ⅱ			英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習Ⅱ テーマで学ぶ英語(社会問 題)Ⅱ			
						兼任	講師	加美 甲多 (40) <平成31年4月> 博士(国文学)	兼任	講師	加美 甲多 (41) <平成31年4月> 博士(国文学)			
								百人一首			百人一首			
						兼任	准教授	石崎 裕子 (46) <令和2年4月> 修士(社会学)※	兼任	准教授	石崎 裕子 (46) <令和2年4月> 修士(社会学)※			
								花の教育とライフプラン・キャリアプラン						
						兼任	准教授	加藤 大輔 (46) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	加藤 大輔 (46) <令和2年4月> 博士(文学)			
								日本語演習						
						兼任	准教授	川島 京子 (50) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	川島 京子 (50) <令和2年4月> 博士(文学)			
								総合科目(現代社会)						
						兼任	講師	小関 孝子 (49) <令和2年4月> 博士(社会デザイン学)	兼任	講師	小関 孝子 (49) <令和2年4月> 博士(社会デザイン学)			
								総合科目(観光)						
兼任	講師	相島 淑美 (57) <令和2年4月> 文学修士/経営管理修士 (専門職)	兼任	講師	相島 淑美 (55) <令和2年4月> 文学修士/経営管理修士 (専門職)	兼任	講師	相島 淑美 (56) <令和2年4月> 文学修士/経営管理修士 (専門職)						
		テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅱ			テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅱ			テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅱ						
兼任	講師	青山 豊 (44) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	青山 豊 (45) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	青山 豊 (46) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	青山 豊 (47) <平成30年4月> 修士(法学)※			
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			
兼任	講師	阿部 陽子 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	阿部 陽子 (48) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	阿部 陽子 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	阿部 陽子 (50) <平成31年4月> 修士(文学)※			
		英語AⅢ b 英語AⅣ a			英語AⅢ b 英語AⅣ a			英語AⅢ b 英語AⅣ a			英語AⅢ b 英語AⅣ a 英語AⅠ a 英語AⅡ a			
兼任	講師	新井 保裕 (34) <平成30年4月> 博士(学術)												
		朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
兼任	講師	71年 イェネ・クリスティン (26) <平成30年4月> Bachelor of Science(比国) 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅲa 英語Ⅳa	71年 イェネ・クリスティン (26) <平成30年4月> Bachelor of Science(比国) 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅲa 英語Ⅳa			
兼任	講師	飯田 順子 (44) <令和2年4月> 博士(心理学) 発達障害の心理と指導援助	飯田 順子 (42) <令和2年4月> 博士(心理学) 発達障害の心理と指導援助	兼任	講師	飯田 順子 (44) <令和2年4月> 博士(心理学) 発達障害の心理と指導援助
兼任	講師	飯高 晶子 (48) <平成30年4月> 修士(経済学)／修士(教育学)※ 心理学 知覚・認知心理学 思考心理学	飯高 晶子 (48) <平成30年4月> 修士(経済学)／修士(教育学)※ 心理学 知覚・認知心理学 思考心理学	兼任	講師	飯高 晶子 (49) <平成30年4月> 修士(経済学)／修士(教育学)※ 心理学 知覚・認知心理学 思考心理学
兼任	講師	池上 純一 (69) <平成31年4月> 文学修士 ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	池上 純一 (68) <平成31年4月> 文学修士 ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	池上 純一 (69) <平成31年4月> 文学修士 ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	池田 光義 (66) <平成30年4月> 社会学修士※ 認識論	池田 光義 (66) <平成30年4月> 社会学修士※ 認識論			
兼任	講師	生駒 忍 (42) <令和2年4月> 修士(心理学)※ データ解析 実験計画法 障害者・障害児心理学	生駒 忍 (40) <令和2年4月> 修士(心理学)※ データ解析 実験計画法 障害者・障害児心理学	兼任	講師	生駒 忍 (41) <令和2年4月> 修士(心理学)※ データ解析 実験計画法 障害者・障害児心理学
兼任	講師	石井 正己 (60) <平成30年4月> 教育学修士 百人一首	石井 正己 (60) <平成30年4月> 教育学修士 百人一首	兼任	講師	石井 正己 (61) <平成30年4月> 教育学修士 百人一首
兼任	講師	石黒 ひさ子 (50) <平成30年4月> 修士(史学)※ 中国語Ⅰ	石黒 ひさ子 (50) <平成30年4月> 修士(史学)※ 中国語Ⅰ	兼任	講師	石黒 ひさ子 (51) <平成30年4月> 修士(史学)※ 中国語Ⅰ
兼任	講師	泉谷 千尋 (47) <令和2年4月> 博士(文学) ヨーロッパ中世文学	泉谷 千尋 (45) <令和2年4月> 博士(文学) ヨーロッパ中世文学	兼任	講師	泉谷 千尋 (46) <令和2年4月> 博士(文学) ヨーロッパ中世文学
兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (67) <令和2年4月> 文学修士 イタリア語とイタリア文化	一ノ瀬 俊和 (65) <令和2年4月> 文学修士 イタリア語とイタリア文化	兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (66) <令和2年4月> 文学修士 イタリア語とイタリア文化
兼任	講師	市村 彰英 (62) <令和2年4月> 心理学士 司法・犯罪心理学	市村 彰英 (60) <令和2年4月> 心理学士 司法・犯罪心理学	兼任	講師	市村 彰英 (61) <令和2年4月> 心理学士 司法・犯罪心理学
兼任	講師	伊藤 敬佑 (32) <平成30年4月> 修士(文学) フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	伊藤 敬佑 (32) <平成30年4月> 修士(文学) フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師	伊藤 敬佑 (33) <平成30年4月> 修士(文学) フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	伊藤 健生 (48) <平成30年4月> 高等学校卒 キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ	伊藤 健生 (48) <平成30年4月> 高等学校卒 キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ	兼任	講師	伊藤 健生 (49) <平成30年4月> 高等学校卒 キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ
兼任	講師	伊藤 健生 (50) <平成30年4月> 高等学校卒 キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ	伊藤 健生 (50) <平成30年4月> 高等学校卒 キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ	兼任	講師	伊藤 健生 (50) <平成30年4月> 高等学校卒 キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 直子 (64) <平成30年4月> 修士(文学)※	伊藤 直子 (64) <平成30年4月> 修士(文学)※	伊藤 直子 (65) <平成30年4月> 修士(文学)※	伊藤 直子 (60) <令和2年4月> 教育学士	伊藤 直子 (56) <令和2年4月> 修士(経営学)	
		ドイツ語リーディング・ライティング ドイツ文学	ドイツ語リーディング・ライティング ドイツ文学	ドイツ語リーディング・ライティング ドイツ文学		国際経済	
兼任	講師	伊藤 尚伸 (60) <令和2年4月> 教育学士	伊藤 尚伸 (58) <令和2年4月> 教育学士	伊藤 尚伸 (59) <令和2年4月> 教育学士	伊藤 尚伸 (60) <令和2年4月> 教育学士		
		テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ		
兼任	講師	伊東 裕貴 (53) <令和2年4月> 修士(ジャーナリズム)	伊東 裕貴 (51) <令和2年4月> 修士(ジャーナリズム)	伊東 裕貴 (52) <令和2年4月> 修士(ジャーナリズム)	伊東 裕貴 (53) <令和2年4月> 修士(ジャーナリズム)		
		マーケティング心理学	マーケティング心理学	マーケティング心理学	マーケティング心理学		
兼任	講師	伊藤 由樹子 (56) <令和2年4月> 修士(経営学)	伊藤 由樹子 (54) <令和2年4月> 修士(経営学)	伊藤 由樹子 (55) <令和2年4月> 修士(経営学)	伊藤 由樹子 (56) <令和2年4月> 修士(経営学)		
		国際経済	国際経済	国際経済	国際経済		
兼任	講師	福垣 智花 (57) <平成30年4月> 文学修士※	福垣 智花 (57) <平成30年4月> 文学修士※	福垣 智花 (58) <平成30年4月> 文学修士※	福垣 智花 (59) <平成30年4月> 文学修士※		
		文芸理論	文芸理論	文芸理論	文芸理論		
兼任	講師	犬伏 恵美 (50) <平成30年4月> 短期大学士	犬伏 恵美 (50) <平成30年4月> 短期大学士	犬伏 恵美 (51) <平成30年4月> 短期大学士	犬伏 恵美 (52) <平成30年4月> 短期大学士		
		ソーシャルマナー	ソーシャルマナー	ソーシャルマナー	ソーシャルマナー		
兼任	講師	井上 真理 (46) <平成30年4月> 修士(日本文学)※	井上 真理 (46) <平成30年4月> 修士(日本文学)※	井上 真理 (47) <平成30年4月> 修士(日本文学)※	井上 真理 (48) <平成30年4月> 修士(日本文学)※		
		英語AⅠa 英語AⅡa	英語AⅠa 英語AⅡa	英語AⅠa 英語AⅡa	英語AⅠa 英語AⅡa		
兼任	講師	岩熊 麻由美 (56) <平成30年4月> 社会学修士	岩熊 麻由美 (56) <平成30年4月> 社会学修士	岩熊 麻由美 (57) <平成30年4月> 社会学修士	岩熊 麻由美 (58) <平成30年4月> 社会学修士		
		パーソナリティを考える「自分らしさ」を探る 発達心理学 社会・集団・家族心理学 産業・組織心理学	パーソナリティを考える「自分らしさ」を探る 発達心理学 社会・集団・家族心理学 産業・組織心理学	パーソナリティを考える「自分らしさ」を探る 発達心理学 社会・集団・家族心理学 産業・組織心理学	パーソナリティを考える「自分らしさ」を探る 発達心理学 社会・集団・家族心理学 産業・組織心理学		
兼任	講師	岩永 祥恵 (56) <平成30年4月> 文学修士	岩永 祥恵 (56) <平成30年4月> 文学修士	岩永 祥恵 (57) <平成30年4月> 文学修士	岩永 祥恵 (58) <平成30年4月> 文学修士		
		英語AⅢa 英語Ⅳ 英文学	英語AⅢa 英語Ⅳ 英文学	英語AⅢa 英語Ⅳ 英文学	英語AⅢa 英語Ⅳ 英文学		
兼任	講師	ウオーカー・ジョン (44) <平成31年4月> Bachelor of Communications (豪国)	ウオーカー・ジョン (43) <平成31年4月> Bachelor of Communications (豪国)				
		英語BⅢb 英語BⅣb	英語BⅢb 英語BⅣb				
兼任	講師	宇野 かおり (50) <令和2年4月> Master of Applied Positive Psychology (米 国)	宇野 かおり (48) <令和2年4月> Master of Applied Positive Psychology (米 国)	宇野 かおり (49) <令和2年4月> Master of Applied Positive Psychology (米 国)	宇野 かおり (50) <令和2年4月> Master of Applied Positive Psychology (米 国)		
		認知行動療法	認知行動療法	認知行動療法	認知行動療法		
兼任	講師	江口 和美 (40) <平成30年4月> 博士(体育学)	江口 和美 (40) <平成30年4月> 博士(体育学)	江口 和美 (41) <平成30年4月> 博士(体育学)			
		体育実技E(水泳) 体育実技F(水泳)	体育実技E(水泳) 体育実技F(水泳)	体育実技E(水泳) 体育実技F(水泳)			
兼任	講師	大木 富 (61) <平成31年4月> 文学修士	大木 富 (60) <平成31年4月> 文学修士	大木 富 (61) <平成31年4月> 文学修士	大木 富 (62) <平成31年4月> 文学修士		
		英語Ⅳ	英語Ⅳ	英語Ⅳ	英語Ⅳ 英語Ⅱ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大久保 博樹 (57) <令和2年4月> デジタルメディア研究科修士 (専門職)	デジタル編集	兼任	講師	大久保 博樹 (57) <令和2年4月> デジタルメディア研究科修士 (専門職)	デジタル編集	兼任	講師	大久保 博樹 (57) <令和2年4月> デジタルメディア研究科修士 (専門職)	デジタル編集	兼任	講師	大久保 博樹 (50) <令和2年4月> デジタルメディア研究科修士 (専門職)	デジタル編集
兼任	講師	大西 正人 (60) <平成30年4月> 文学修士※	哲学 倫理学 論理学	兼任	講師	大西 正人 (60) <平成30年4月> 文学修士※	哲学 倫理学 論理学	兼任	講師	大西 正人 (61) <平成30年4月> 文学修士※	哲学 倫理学 論理学	兼任	講師	大西 正人 (62) <平成30年4月> 文学修士※	哲学 倫理学 論理学
兼任	講師	大橋 幸泰 (55) <令和2年4月> 博士(文学)	日本宗教論	兼任	講師	大橋 幸泰 (53) <令和2年4月> 博士(文学)	日本宗教論	兼任	講師	大橋 幸泰 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	日本宗教論	兼任	講師	大橋 幸泰 (55) <令和2年4月> 博士(文学)	日本宗教論
兼任	講師	岡野宣勝ペリー (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	フィールドワーク方法論 総合科目(地域文化)	兼任	講師	岡野宣勝ペリー (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	フィールドワーク方法論 総合科目(地域文化)	兼任	講師	岡野宣勝ペリー (53) <平成30年4月> 修士(文学)※	フィールドワーク方法論 総合科目(地域文化)	兼任	講師	岡野宣勝ペリー (54) <平成30年4月> 修士(文学)※	フィールドワーク方法論 総合科目(地域文化)
兼任	講師	岡山 麻子 (43) <平成30年4月> 博士(文学)	歴史理論 日本現代史 総合科目(日本とアジア)	兼任	講師	岡山 麻子 (43) <平成30年4月> 博士(文学)	歴史理論 日本現代史 総合科目(日本とアジア)	兼任	講師	岡山 麻子 (44) <平成30年4月> 博士(文学)	歴史理論 日本現代史 総合科目(日本とアジア)	兼任	講師	岡山 麻子 (45) <平成30年4月> 博士(文学)	歴史理論 日本現代史 総合科目(日本とアジア)
兼任	講師	小川 清美 (66) <平成30年4月> 家政学修士	保育学	兼任	講師	小川 清美 (66) <平成30年4月> 家政学修士	保育学								
兼任	講師	荻野 千尋 (47) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	荻野 千尋 (46) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	荻野 千尋 (47) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	荻野 千尋 (48) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ
兼任	講師	小口 峰樹 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史	兼任	講師	小口 峰樹 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史	兼任	講師	小口 峰樹 (39) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史	兼任	講師	小口 峰樹 (40) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史
兼任	講師	小平 昌子 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa	兼任	講師	小平 昌子 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa	兼任	講師	小平 昌子 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa	兼任	講師	小平 昌子 (56) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa
兼任	講師	小田部 英勝 (69) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習	兼任	講師	小田部 英勝 (67) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習	兼任	講師	小田部 英勝 (68) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習	兼任	講師	小田部 英勝 (69) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習
兼任	講師	小坂井 彰 (66) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習	兼任	講師	小坂井 彰 (63) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習	兼任	講師	小坂井 彰 (64) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習	兼任	講師	小坂井 彰 (65) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習
兼任	講師	越智 方美 (57) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論	兼任	講師	越智 方美 (57) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論	兼任	講師	越智 方美 (58) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論	兼任	講師	越智 方美 (59) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論
兼任	講師	海津 シヅ(宣則) (63) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習 (映像制作) マルチメディア基礎演習 (音楽制作)	兼任	講師	海津 シヅ(宣則) (63) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習 (映像制作) マルチメディア基礎演習 (音楽制作)	兼任	講師	海津 シヅ(宣則) (64) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習 (映像制作) マルチメディア基礎演習 (音楽制作)	兼任	講師	海津 シヅ(宣則) (65) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習 (映像制作) マルチメディア基礎演習 (音楽制作)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	影山 なおみ (45) <平成30年4月> 修士(文化科学)※	兼任	講師	影山 なおみ (45) <平成30年4月> 修士(文化科学)※	兼任	講師	影山 なおみ (46) <平成30年4月> 修士(文化科学)※	兼任	講師	影山 なおみ (47) <平成30年4月> 修士(文化科学)※			
		英語A I a			英語A I a			英語A I a			英語A I a			
兼任	講師	笠島 美江子 (60) <平成30年4月> 文学修士※	兼任	講師	笠島 美江子 (60) <平成30年4月> 文学修士※	兼任	講師	笠島 美江子 (60) <平成30年4月> 文学修士※	兼任	講師	笠島 美江子 (60) <平成30年4月> 文学修士※			
		ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			
兼任	講師	飯田 勝啓 (61) <令和2年4月> 商学士	兼任	講師	飯田 勝啓 (59) <令和2年4月> 商学士	兼任	講師	飯田 勝啓 (60) <令和2年4月> 商学士	兼任	講師	飯田 勝啓 (61) <令和2年4月> 商学士			
		ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習			
兼任	講師	柏原 麻美 (56) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	柏原 麻美 (56) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	柏原 麻美 (57) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	柏原 麻美 (58) <平成30年4月> 文学士			
		秘書技能演習			秘書技能演習			秘書技能演習			秘書技能演習			
兼任	講師	和富 弥生 (62) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	和富 弥生 (61) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	和富 弥生 (62) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	和富 弥生 (63) <平成31年4月> 文学修士			
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			
兼任	講師	兼利 琢也 (61) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	講師	兼利 琢也 (60) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	講師	兼利 琢也 (61) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	講師	兼利 琢也 (62) <平成31年4月> 文学修士※			
		英語再入門A			英語再入門A			英語再入門A 英語AⅢ a			英語再入門A 英語AⅡ a			
兼任	講師	片岡 慎泰 (55) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	片岡 慎泰 (54) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	片岡 慎泰 (55) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	片岡 慎泰 (56) <平成31年4月> 文学修士			
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ文学			
兼任	講師	加藤 彰 (27) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	兼任	講師	加藤 彰 (27) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	兼任	講師	加藤 彰 (28) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	兼任	講師	加藤 彰 (29) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)			
		ディベート演習			ディベート演習			ディベート演習			ディベート演習			
兼任	講師	加藤 百合 (55) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	加藤 百合 (53) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	加藤 百合 (54) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	加藤 百合 (55) <令和2年4月> 博士(学術)			
		ロシア語とロシア文化			ロシア語とロシア文化			ロシア語とロシア文化			ロシア語とロシア文化			
兼任	講師	川端 正弘 (54) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	川端 正弘 (54) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	川端 正弘 (55) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	川端 正弘 (56) <平成30年4月> 理学博士			
		情報リテラシー I 情報リテラシー II			情報リテラシー I 情報リテラシー II			情報リテラシー I 情報リテラシー II			情報リテラシー I 情報リテラシー II			
兼任	講師	河原 哲雄 (57) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	河原 哲雄 (55) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	河原 哲雄 (56) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	河原 哲雄 (57) <令和2年4月> 教育学修士※			
		言語心理学			言語心理学			言語心理学			言語心理学			
兼任	講師	神田 浩一 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	神田 浩一 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	神田 浩一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	神田 浩一 (54) <平成30年4月> 博士(文学)			
		文芸理論 フランス文学			文芸理論 フランス文学			文芸理論 フランス文学			文芸理論 フランス文学			
兼任	講師	木下 ひろみ (59) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	木下 ひろみ (59) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	木下 ひろみ (60) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	木下 ひろみ (61) <平成30年4月> 修士(文学)			
		英語A I a			英語A I a			英語A I a			英語A I a 英語AⅡ b			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	金 順任 (49) <平成30年4月> 博士(学術)	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語リーディング・ライティング 朝鮮・韓国語上級Ⅰ 朝鮮・韓国語上級Ⅱ	兼任	講師	金 順任 (49) <平成30年4月> 博士(学術)	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語リーディング・ライティング 朝鮮・韓国語上級Ⅰ 朝鮮・韓国語上級Ⅱ	兼任	講師	金 順任 (50) <平成30年4月> 博士(学術)	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語リーディング・ライティング 朝鮮・韓国語上級Ⅰ 朝鮮・韓国語上級Ⅱ				
兼任	講師	木村 敦夫 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	ロシア文学	兼任	講師	木村 敦夫 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	ロシア文学	兼任	講師	木村 敦夫 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	ロシア文学	兼任	講師	木村 敦夫 (64) <平成30年4月> 博士(文学)	ロシア文学
兼任	講師	喜山 朝彦 (65) <令和2年4月> 文学修士※	ジェンダー論 男性学	兼任	講師	喜山 朝彦 (63) <令和2年4月> 文学修士※	ジェンダー論 男性学	兼任	講師	喜山 朝彦 (64) <令和2年4月> 文学修士※	ジェンダー論 男性学				
兼任	講師	國司 眞 (65) <令和2年4月> 理学士	天文学	兼任	講師	國司 眞 (63) <令和2年4月> 理学士	天文学	兼任	講師	國司 眞 (64) <令和2年4月> 理学士	天文学				
兼任	講師	熊本 史雄 (49) <令和2年4月> 博士(文学)	総合科目(日本とアジア)	兼任	講師	熊本 史雄 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	総合科目(日本とアジア)	兼任	講師	熊本 史雄 (48) <令和2年4月> 博士(文学)	総合科目(日本とアジア)				
兼任	講師	倉橋 節也 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅡ Microsoft Office Specialist基礎演習 Microsoft Office Specialist演習	兼任	講師	倉橋 節也 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅡ Microsoft Office Specialist基礎演習 Microsoft Office Specialist演習	兼任	講師	倉橋 節也 (60) <平成30年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅡ Microsoft Office Specialist基礎演習 Microsoft Office Specialist演習	兼任	講師	倉橋 節也 (61) <平成30年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅡ Microsoft Office Specialist基礎演習 Microsoft Office Specialist演習
兼任	講師	栗山 保之 (49) <平成30年4月> 博士(史学)	歴史理論	兼任	講師	栗山 保之 (49) <平成30年4月> 博士(史学)	歴史理論	兼任	講師	栗山 保之 (50) <平成30年4月> 博士(史学)	歴史理論				
兼任	講師	黒田 涼 (42) <平成30年4月> 博士(工学)	Web制作 Microsoft Office Specialist基礎演習	兼任	講師	黒田 涼 (43) <平成30年4月> 博士(工学)	Web制作 Microsoft Office Specialist基礎演習	兼任	講師	黒田 涼 (44) <平成30年4月> 博士(工学)	Web制作 Microsoft Office Specialist基礎演習	兼任	講師	黒田 涼 (45) <平成30年4月> 博士(工学)	Web制作 Microsoft Office Specialist基礎演習
兼任	講師	小池 知之 (55) <平成31年4月> Master of Arts(米)	英語Ⅳ	兼任	講師	小池 知之 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米)	英語Ⅳ 異文化理解	兼任	講師	小池 知之 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米)	英語Ⅳ 異文化理解	兼任	講師	小池 知之 (56) <平成30年4月> Master of Arts(米)	英語Ⅳ 異文化理解 英語A I b 英語 I
兼任	講師	香坂 直樹 (44) <平成30年4月> 博士(学術)	歴史理論 ヨーロッパ現代史	兼任	講師	香坂 直樹 (44) <平成30年4月> 博士(学術)	歴史理論 ヨーロッパ現代史	兼任	講師	香坂 直樹 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	歴史理論 ヨーロッパ現代史	兼任	講師	香坂 直樹 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	歴史理論 ヨーロッパ現代史
兼任	講師	江田 優子 (68) <平成31年4月> 修士(国際コミュニケーション)	英語AⅣb	兼任	講師	江田 優子 (67) <平成30年4月> 修士(国際コミュニケーション)	英語AⅣb 英語A I b	兼任	講師	江田 優子 (68) <平成30年4月> 修士(国際コミュニケーション)	英語AⅣb 英語A I b 英語AⅣa	兼任	講師	江田 優子 (69) <平成30年4月> 修士(国際コミュニケーション)	英語AⅣb 英語A I b 英語AⅣa
兼任	講師	小暮 正人 (58) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(米)	英語AⅣa	兼任	講師	小暮 正人 (57) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(米)	英語AⅣa	兼任	講師	小暮 正人 (58) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(米)	英語AⅣa 英語 I	兼任	講師	小暮 正人 (59) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(米)	英語AⅣa 英語 I
兼任	講師	小谷 彰吾 (57) <平成30年4月> 修士(教育学)	教育学 教育学概論												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等					
		担当授業科目名			担当授業科目名		
兼任	講師	小林 美紀 (49) <平成30年4月> 博士(工学)	小林 美紀 (49) <平成30年4月> 博士(工学)	小林 美紀 (50) <平成30年4月> 博士(工学)	小林 美紀 (51) <平成30年4月> 博士(工学)		
		環境心理学	環境心理学	環境心理学	環境心理学		
兼任	講師	小巻 泰之 (55) <平成30年4月> 修士(経営学)※	小巻 泰之 (55) <平成30年4月> 修士(経営学)※				
		統計学	統計学				
兼任	講師	小室 龍之介 (43) <平成31年4月> 修士(イノベーション学)※	小室 龍之介 (42) <平成31年4月> 修士(イノベーション学)※				
		英語Ⅲ 英語Ⅳ	英語Ⅲ 英語Ⅳ				
兼任	講師	近藤 佐保子 (55) <平成30年4月> 法学修士※	近藤 佐保子 (55) <平成30年4月> 法学修士※	近藤 佐保子 (56) <平成30年4月> 法学修士※	近藤 佐保子 (57) <平成30年4月> 法学修士※		
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 刑事法	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 刑事法	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 刑事法	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 刑事法		
兼任	講師	坂本 秀夫 (64) <平成31年4月> 文学修士	坂本 秀夫 (63) <平成31年4月> 文学修士	坂本 秀夫 (64) <平成31年4月> 文学修士	坂本 秀夫 (65) <平成31年4月> 文学修士		
		フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語リーディング・ ライティング	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語リーディング・ ライティング	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語リーディング・ ライティング	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語リーディング・ ライティング		
兼任	講師	坂本 有希 (50) <平成30年4月> 学士(外国研究)	坂本 有希 (50) <平成30年4月> 学士(外国研究)	坂本 有希 (51) <平成30年4月> 学士(外国研究)	坂本 有希 (52) <平成30年4月> 学士(外国研究)		
		自然保護論 総合科目(人間と自然)	自然保護論 総合科目(人間と自然)	自然保護論 総合科目(人間と自然)	自然保護論 総合科目(人間と自然)		
兼任	講師	佐々木 亮 (33) <令和2年4月> 修士(法学)※	佐々木 亮 (31) <令和2年4月> 修士(法学)※	佐々木 亮 (32) <令和2年4月> 修士(法学)※			
		国際法	国際法	国際法			
兼任	講師	座間 晶子 (63) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	座間 晶子 (64) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	座間 晶子 (65) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	座間 晶子 (66) <平成30年4月> Master of Arts(米国)		
		英語AⅠb 英語AⅡa 英語Ⅲ	英語AⅠb 英語AⅡa 英語Ⅲ	英語AⅠb 英語AⅡa 英語Ⅲ	英語AⅠb 英語AⅡa 英語Ⅲ		
兼任	講師	池 玖京 (35) <平成31年4月> 博士(学術)	池 玖京 (34) <平成31年4月> 博士(学術)				
		朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ				
兼任	講師	志田 哲之 (46) <平成30年4月> 博士(人間科学)	志田 哲之 (46) <平成30年4月> 博士(人間科学)	志田 哲之 (47) <平成30年4月> 博士(人間科学)			
		社会学	社会学	社会学			
兼任	講師	篠原 洋治 (59) <平成31年4月> 経済学修士※	篠原 洋治 (58) <平成31年4月> 経済学修士※	篠原 洋治 (59) <平成31年4月> 経済学修士※	篠原 洋治 (60) <平成31年4月> 経済学修士※		
		フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	フランス語Ⅳ	フランス語Ⅳ		
兼任	講師	柴田 徹 (55) <平成30年4月> 修士(教育学)※	柴田 徹 (55) <平成30年4月> 修士(教育学)※	柴田 徹 (56) <平成30年4月> 修士(教育学)※	柴田 徹 (57) <平成30年4月> 修士(教育学)※		
		Web制作	Web制作	Web制作	Web制作		
兼任	講師	澁谷 真由美 (36) <平成31年4月> 修士(英文学)※	澁谷 真由美 (35) <平成31年4月> 修士(英文学)※				
		英語AⅢa	英語AⅢa				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	島田 顕 (55) <令和2年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	島田 顕 (53) <令和2年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	島田 顕 (54) <令和2年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	島田 顕 (55) <令和2年4月> 博士(社会学)			
		国際社会学論			国際社会学論			国際社会学論			国際社会学論			
兼任	講師	志村 聡 (55) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	志村 聡 (55) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	志村 聡 (56) <平成30年4月> 理学修士						
		地理学			地理学			地理学						
兼任	講師	辛 大基 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	辛 大基 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	辛 大基 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	辛 大基 (48) <平成31年4月> 博士(文学)			
		朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ			朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ			朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ			朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ			
兼任	講師	菅原 ゆり子 (56) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	講師	菅原 ゆり子 (56) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	講師	菅原 ゆり子 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	講師	菅原 ゆり子 (58) <平成30年4月> 博士(医学)			
		健康科学 精神病理学 健康心理アセスメント			健康科学 精神病理学 健康心理アセスメント			健康科学 精神病理学 健康心理アセスメント			精神病理学 健康心理アセスメント			
兼任	講師	杉森 賢司 (62) <平成30年4月> 保健衛生学士	兼任	講師	杉森 賢司 (62) <平成30年4月> 保健衛生学士	兼任	講師	杉森 賢司 (63) <平成30年4月> 保健衛生学士	兼任	講師	杉森 賢司 (64) <平成30年4月> 保健衛生学士			
		生物学			生物学			生物学			生物学			
兼任	講師	鈴木 明子 (51) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	鈴木 明子 (49) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	鈴木 明子 (50) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	鈴木 明子 (51) <令和2年4月> 博士(文学)			
		近代家族論			近代家族論			近代家族論			近代家族論			
兼任	講師	鈴木 邦夫 (69) <平成30年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	鈴木 邦夫 (69) <平成30年4月> 博士(経済学)									
		経済学			経済学									
兼任	講師	高橋 秀司 (49) <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	高橋 秀司 (48) <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	高橋 秀司 (49) <平成31年4月> 博士(経済学)						
		経済学			経済学			経済学						
兼任	講師	石 碩 (31) <平成30年4月> 博士(文学)												
		中国文学												
兼任	講師	瀬戸 千尋 (50) <平成30年4月> 修士(英語文化)	兼任	講師	瀬戸 千尋 (50) <平成30年4月> 修士(英語文化)	兼任	講師	瀬戸 千尋 (51) <平成30年4月> 修士(英語文化)	兼任	講師	瀬戸 千尋 (52) <平成30年4月> 修士(英語文化)			
		TOEIC特別演習Ⅰ			TOEIC特別演習Ⅰ			TOEIC特別演習Ⅰ			TOEIC特別演習Ⅰ			
兼任	講師	妹尾 新太郎 (60) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	妹尾 新太郎 (59) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	妹尾 新太郎 (60) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	妹尾 新太郎 (61) <平成31年4月> 文学修士			
		英語Ⅳ ミステリー文学			英語Ⅳ ミステリー文学			英語Ⅳ ミステリー文学 英語AⅣb			英語Ⅳ ミステリー文学 英語AⅣb			
兼任	講師	高瀬 浩史 (51) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	高瀬 浩史 (49) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	高瀬 浩史 (50) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	高瀬 浩史 (51) <令和2年4月> 博士(工学)			
		ネットワーク論			ネットワーク論			ネットワーク論			ネットワーク論			
兼任	講師	高橋 克也 (55) <令和2年4月> 博士(政策研究)	兼任	講師	高橋 克也 (53) <令和2年4月> 博士(政策研究)	兼任	講師	高橋 克也 (54) <令和2年4月> 博士(政策研究)	兼任	講師	高橋 克也 (55) <令和2年4月> 博士(政策研究)			
		農林科学			農林科学			農林科学			農林科学			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高橋 善隆 (53) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	高橋 善隆 (53) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	高橋 善隆 (54) <平成30年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	高橋 善隆 (55) <平成30年4月> 修士(法学)※
		国際関係論 政治学			国際関係論 政治学			国際関係論 政治学			
兼任	講師	高橋 義憲 (48) <令和2年4月> 学士(経営学)	兼任	講師	高橋 義憲 (46) <令和2年4月> 学士(経営学)	兼任	講師	高橋 義憲 (47) <令和2年4月> 学士(経営学)	兼任	講師	高橋 義憲 (48) <令和2年4月> 学士(経営学)
		キャリア演習(公務員・政治経済) I キャリア演習(公務員・政治経済) II			キャリア演習(公務員・政治経済) I キャリア演習(公務員・政治経済) II			キャリア演習(公務員・政治経済) I キャリア演習(公務員・政治経済) II			
兼任	講師	竹井 明美 (47) <平成30年4月> 英文学士	兼任	講師	竹井 明美 (47) <平成30年4月> 英文学士	兼任	講師	竹井 明美 (48) <平成30年4月> 英文学士	兼任	講師	竹井 明美 (49) <平成30年4月> 英文学士
		ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			
兼任	講師	武田 和久 (42) <令和2年4月> 博士(地域研究)	兼任	講師	武田 和久 (40) <令和2年4月> 博士(地域研究)	兼任	講師	武田 和久 (41) <令和2年4月> 博士(地域研究)	兼任	講師	武田 和久 (42) <令和2年4月> 博士(地域研究)
		スペイン語とスペイン文化			スペイン語とスペイン文化			スペイン語とスペイン文化			
兼任	講師	田中 究 (45) <令和2年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	田中 究 (44) <令和2年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	田中 究 (45) <令和2年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	田中 究 (46) <令和2年4月> 修士(社会学)
		深層心理学 力動的アプローチ 家族療法論			深層心理学 力動的アプローチ 家族療法論			深層心理学 力動的アプローチ 家族療法論			
兼任	講師	田中 大介 (59) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	田中 大介 (57) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	田中 大介 (58) <令和2年4月> 博士(医学)			
		子どものころからだ			子どものころからだ			子どものころからだ			
兼任	講師	田辺 公一郎 (59) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	田辺 公一郎 (59) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	田辺 公一郎 (60) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	田辺 公一郎 (61) <平成30年4月> 工学博士
		画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス アプリケーション・プログラミング			画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス アプリケーション・プログラミング			画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス アプリケーション・プログラミング			
兼任	講師	張 国瑞 (55) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	講師	張 国瑞 (55) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	講師	張 国瑞 (56) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	講師	張 国瑞 (57) <平成30年4月> 修士(法学)
		中国語Ⅱ 中国語Ⅳ			中国語Ⅱ 中国語Ⅳ			中国語Ⅱ 中国語Ⅳ			
兼任	講師	塚本 哲司 (55) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)	兼任	講師	塚本 哲司 (53) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)	兼任	講師	塚本 哲司 (54) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)	兼任	講師	塚本 哲司 (55) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)
		福祉心理学			福祉心理学			福祉心理学			
兼任	講師	徳岡 麻絵子 (42) <平成30年4月> Master of Arts(英国)	兼任	講師	徳岡 麻絵子 (42) <平成30年4月> Master of Arts(英国)	兼任	講師	徳岡 麻絵子 (43) <平成30年4月> Master of Arts(英国)	兼任	講師	徳岡 麻絵子 (44) <平成30年4月> Master of Arts(英国)
		英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ			
兼任	講師	飛渡 洋 (62) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	飛渡 洋 (61) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	飛渡 洋 (62) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	飛渡 洋 (63) <平成31年4月> 文学修士
		英語AⅣb 英語Ⅲ			英語AⅣb 英語Ⅲ			英語AⅣb 英語Ⅲ			
兼任	講師	富澤 典子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	富澤 典子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	富澤 典子 (67) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	富澤 典子 (67) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語Ⅰ			英語Ⅰ 英語AⅡb			英語Ⅰ 英語AⅡb			
兼任	講師	鳥居 珠江 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	鳥居 珠江 (48) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	鳥居 珠江 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	石井 珠江 (50) <平成30年4月> 修士(文学)※
		フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ			フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ			フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	講師	中尾 正史 (58) <令和3年4月> 文学修士	中尾 正史 (56) <平成30年4月> 文学修士	中尾 正史 (57) <平成30年4月> 文学修士	中尾 正史 (58) <平成30年4月> 文学修士	中尾 正史 (57) <平成30年4月> 文学修士	
		テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ 英語AⅠb	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ 英語AⅠb	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ 英語AⅠb 英語AⅢa	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ 英語AⅠb 英語AⅢa	
兼任	講師	中川 理恵子 (57) <令和2年4月> 文学修士	中川 理恵子 (55) <令和2年4月> 文学修士	中川 理恵子 (56) <令和2年4月> 文学修士	中川 理恵子 (57) <令和2年4月> 文学修士	中川 理恵子 (57) <令和2年4月> 文学修士	
		児童文学	児童文学	児童文学	児童文学	児童文学	
兼任	講師	中島 輝賢 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	中島 輝賢 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	中島 輝賢 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	中島 輝賢 (53) <平成30年4月> 修士(文学)※	中島 輝賢 (53) <平成30年4月> 修士(文学)※	
		日本文学 百人一首 日本語演習	日本文学 百人一首 日本語演習	日本文学 日本語演習	日本文学 日本語演習	日本文学 日本語演習	
兼任	講師	奴田原 論 (46) <令和2年4月> 修士(文学)※	奴田原 論 (44) <令和2年4月> 修士(文学)※	奴田原 論 (45) <令和2年4月> 修士(文学)※	奴田原 論 (46) <令和2年4月> 修士(文学)※	奴田原 論 (46) <令和2年4月> 修士(文学)※	
		文芸理論	文芸理論	文芸理論	文芸理論	文芸理論	
兼任	講師	野村 光義 (48) <平成30年4月> 修士(学術)※	野村 光義 (49) <平成30年4月> 修士(学術)※	野村 光義 (50) <平成30年4月> 修士(学術)※	野村 光義 (50) <平成30年4月> 修士(学術)※	野村 光義 (50) <平成30年4月> 修士(学術)※	
		西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化	
兼任	講師	橋本 憲一郎 (52) <令和2年4月> 工学修士※	橋本 憲一郎 (50) <令和2年4月> 工学修士※	橋本 憲一郎 (51) <令和2年4月> 工学修士※	橋本 憲一郎 (52) <令和2年4月> 工学修士※	橋本 憲一郎 (52) <令和2年4月> 工学修士※	
		建築環境論	建築環境論	建築環境論	建築環境論	建築環境論	
兼任	講師	橋本 秀美 (64) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	橋本 秀美 (64) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	橋本 秀美 (65) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	橋本 秀美 (66) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	橋本 秀美 (66) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	
		人間関係論	人間関係論	人間関係論	人間関係論	人間関係論	
兼任	講師	橋本 実千代 (52) <令和2年4月> 高等学校卒	橋本 実千代 (50) <令和2年4月> 高等学校卒	橋本 実千代 (51) <令和2年4月> 高等学校卒	橋本 実千代 (52) <令和2年4月> 高等学校卒	橋本 実千代 (52) <令和2年4月> 高等学校卒	
		色彩検定演習	色彩検定演習	色彩検定演習	色彩検定演習	色彩検定演習	
兼任	講師	長谷川 悦朗 (52) <平成31年4月> 修士(文学)※	長谷川 悦朗 (51) <平成31年4月> 修士(文学)※	長谷川 悦朗 (52) <平成31年4月> 修士(文学)※	長谷川 悦朗 (53) <平成31年4月> 修士(文学)※	長谷川 悦朗 (53) <平成31年4月> 修士(文学)※	
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	
兼任	講師	馬場 広信 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	馬場 広信 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	馬場 広信 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	馬場 広信 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	馬場 広信 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	
		英語AⅡb	英語AⅡb				
兼任	講師	浜田 勝義 (65) <平成30年4月> 経済学士	浜田 勝義 (65) <平成30年4月> 経済学士	浜田 勝義 (66) <平成30年4月> 経済学士	浜田 勝義 (67) <平成30年4月> 経済学士	浜田 勝義 (67) <平成30年4月> 経済学士	
		簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ	
兼任	講師	早崎 えりな (60) <平成30年4月> 文学修士※	早崎 えりな (60) <平成30年4月> 文学修士※	早崎 えりな (61) <平成30年4月> 文学修士※	早崎 えりな (62) <平成30年4月> 文学修士※	早崎 えりな (62) <平成30年4月> 文学修士※	
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	
兼任	講師	林 久子 (45) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	林 久子 (45) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	林 久子 (46) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	林 久子 (47) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	林 久子 (47) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	
		自己表現演習	自己表現演習	自己表現演習	自己表現演習	自己表現演習	
兼任	講師	原 正人 (45) <平成30年4月> 博士(社会学)	原 正人 (45) <平成30年4月> 博士(社会学)	原 正人 (46) <平成30年4月> 博士(社会学)	原 正人 (47) <平成30年4月> 博士(社会学)	原 正人 (47) <平成30年4月> 博士(社会学)	
		アジア現代史	アジア現代史	アジア現代史	アジア現代史	アジア現代史	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	ビートル・ケス (63) <平成31年4月> Master of Education (米 国)	兼任	講師	ビートル・ケス (62) <平成31年4月> Master of Education (米 国)	兼任	講師	ビートル・ケス (63) <平成31年4月> Master of Education (米 国)	兼任	講師	ビートル・ケス (64) <平成31年4月> Master of Education (米 国)			
		英語AⅢa			英語AⅢa			英語AⅢa			英語AⅢa			
兼任	講師	東 宏行 (59) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	東 宏行 (57) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	東 宏行 (58) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	東 宏行 (59) <令和2年4月> 教育学修士※			
		臨床教育学			臨床教育学			臨床教育学			臨床教育学			
兼任	講師	フィッシャー大澤アヰト (56) <平成30年4月> Mater Degree in Liberal Arts (ｽｲｽ)	兼任	講師	フィッシャー大澤アヰト (56) <平成30年4月> Mater Degree in Liberal Arts (ｽｲｽ)	兼任	講師	フィッシャー大澤アヰト (57) <平成30年4月> Mater Degree in Liberal Arts (ｽｲｽ)	兼任	講師	フィッシャー大澤アヰト (58) <平成30年4月> Mater Degree in Liberal Arts (ｽｲｽ)			
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			
兼任	講師	深町(吉田) 珠由 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	深町(吉田) 珠由 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	深町(吉田) 珠由 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	深町(吉田) 珠由 (47) <平成30年4月> 博士(学術)			
		産業と職業			産業と職業			産業と職業			産業と職業			
兼任	講師	藤崎 和子 (59) <令和2年4月> 国際関係学士	兼任	講師	藤崎 和子 (57) <令和2年4月> 国際関係学士	兼任	講師	藤崎 和子 (58) <令和2年4月> 国際関係学士	兼任	講師	藤崎 和子 (59) <令和2年4月> 国際関係学士			
		ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ			ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ			ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ			ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ			
兼任	講師	二又 淳 (50) <令和2年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	二又 淳 (48) <令和2年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	二又 淳 (49) <令和2年4月> 修士(文学)※						
		日本語演習			日本語演習			日本語演習						
兼任	講師	プロバディスト (37) <平成31年4月> 修士(言語学)	兼任	講師	プロバディスト (36) <平成31年4月> 修士(言語学)									
		フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ			フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ									
兼任	講師	ヘニング・ルディ (59) <平成31年4月> Master of Arts (ﾄﾞｲﾂ)	兼任	講師	ヘニング・ルディ (58) <平成31年4月> Master of Arts (ﾄﾞｲﾂ)	兼任	講師	ヘニング・ルディ (59) <平成31年4月> Master of Arts (ﾄﾞｲﾂ)	兼任	講師	ヘニング・ルディ (60) <平成31年4月> Master of Arts (ﾄﾞｲﾂ)			
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			
兼任	講師	本多 幸七郎 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	本多 幸七郎 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	本多 幸七郎 (53) <平成30年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	本多 幸七郎 (54) <平成30年4月> 修士(文学)※			
		英語AⅡb			英語AⅡb			英語AⅡb			英語AⅡb			
兼任	講師	牧野 修也 (50) <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	牧野 修也 (50) <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	牧野 修也 (51) <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	牧野 修也 (52) <平成30年4月> 博士(社会学)			
		生涯学習概論 教育社会学			生涯学習概論 教育社会学			生涯学習概論 教育社会学			生涯学習概論 教育社会学			
兼任	講師	松田 洋 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松田 洋 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松田 洋 (53) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松田 洋 (54) <平成30年4月> 博士(工学)			
		情報科学 数学 デジタル・アニメーション			情報科学 数学 デジタル・アニメーション			情報科学 数学 デジタル・アニメーション			情報科学 数学 デジタル・アニメーション			
兼任	講師	三浦 いづみ (49) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	三浦 いづみ (49) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	三浦 いづみ (50) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	三浦 いづみ (51) <平成30年4月> 文学士			
		ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			
兼任	講師	三浦 和彦 (62) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	三浦 和彦 (63) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	三浦 和彦 (64) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	三浦 和彦 (65) <平成30年4月> 理学博士			
		物理学 地球科学			物理学 地球科学			物理学 地球科学			物理学 地球科学			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	三浦(大島)久美子 (40) <令和2年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	三浦(大島)久美子 (38) <令和2年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	三浦(大島)久美子 (39) <令和2年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	三浦(大島)久美子 (40) <令和2年4月> 博士(人間科学)			
		視覚と芸術の心理学			視覚と芸術の心理学			視覚と芸術の心理学			視覚と芸術の心理学			
兼任	講師	箕口 雅博 (67) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	箕口 雅博 (67) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	箕口 雅博 (68) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	箕口 雅博 (69) <平成30年4月> 教育学修士			
		コミュニティ心理学			コミュニティ心理学			コミュニティ心理学			コミュニティ心理学			
兼任	講師	水谷 幸恵 (40) <平成30年4月> 修士(体育科学)	兼任	講師	水谷 幸恵 (40) <平成30年4月> 修士(体育科学)	兼任	講師	水谷 幸恵 (41) <平成30年4月> 修士(体育科学)	兼任	講師	水谷 幸恵 (42) <平成30年4月> 修士(体育科学)			
		体育実技A 体育実技C 体育実技G			体育実技A 体育実技C 体育実技G			体育実技A 体育実技C 体育実技G 体育実技E(水泳)			体育実技A 体育実技C 体育実技G 体育実技E(水泳) 健康科学 体育実技F(水泳)			
兼任	講師	水野 圭子 (51) <令和2年4月> DEA(社会法)(フランス)	兼任	講師	水野 圭子 (49) <令和2年4月> DEA(社会法)(フランス)	兼任	講師	水野 圭子 (50) <令和2年4月> DEA(社会法)(フランス)	兼任	講師	水野 圭子 (51) <令和2年4月> DEA(社会法)(フランス)			
		労働法 ビジネス実務法務検定演習			労働法 ビジネス実務法務検定演習			労働法 ビジネス実務法務検定演習			労働法 ビジネス実務法務検定演習			
兼任	講師	南 明恵美 (61) <平成30年4月> 修士(保健体育)	兼任	講師	南 明恵美 (61) <平成30年4月> 修士(保健体育)	兼任	講師	南 明恵美 (62) <平成30年4月> 修士(保健体育)	兼任	講師	南 明恵美 (63) <平成30年4月> 修士(保健体育)			
		体育実技B 体育実技D 体育実技H			体育実技B 体育実技D 体育実技H			体育実技B 体育実技D 体育実技H			体育実技B 体育実技D 体育実技H			
兼任	講師	三村 友希 (43) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	三村 友希 (43) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	三村 友希 (44) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	三村 友希 (45) <平成30年4月> 博士(文学)			
		日本文学 日本語演習			日本文学 日本語演習			日本文学 日本語演習			日本文学 日本語演習			
兼任	講師	三宅 登之 (54) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	三宅 登之 (53) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	三宅 登之 (54) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	三宅 登之 (55) <平成31年4月> 文学修士			
		中国語Ⅲ			中国語Ⅲ			中国語Ⅲ			中国語Ⅲ			
兼任	講師	宮崎 修二 (55) <令和2年4月> 修士(神学)※	兼任	講師	宮崎 修二 (53) <令和2年4月> 修士(神学)※	兼任	講師	宮崎 修二 (54) <令和2年4月> 修士(神学)※	兼任	講師	宮崎 修二 (55) <令和2年4月> 修士(神学)※			
		聖書学			聖書学			聖書学			聖書学			
兼任	講師	宮島 琴美 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	宮島 琴美 (42) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	宮島 琴美 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	宮島 琴美 (44) <平成31年4月> 修士(文学)※			
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語Ⅰ			
兼任	講師	宮地 克昌 (60) <平成30年4月> 理工学士	兼任	講師	宮地 克昌 (60) <平成30年4月> 理工学士	兼任	講師	宮地 克昌 (61) <平成30年4月> 理工学士	兼任	講師	宮地 克昌 (62) <平成30年4月> 理工学士			
		イベント論			イベント論			イベント論			イベント論			
兼任	講師	宮本 和茂 (40) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	宮本 和茂 (40) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	宮本 和茂 (41) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	宮本 和茂 (42) <平成30年4月> 修士(文学)			
		英語AⅠa 英語AⅢb 英語Ⅱ			英語AⅠa 英語AⅢb 英語Ⅱ			英語AⅠa 英語AⅢb 英語Ⅱ			英語AⅠa 英語AⅢb 英語Ⅱ			
兼任	講師	村越 麻子 (61) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	村越 麻子 (61) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	村越 麻子 (62) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	村越 麻子 (63) <平成30年4月> 文学修士			
		英語AⅠb			英語AⅠb			英語AⅠb			英語AⅠb			
兼任	講師	室田 康子 (63) <平成30年4月> 修士(社会情報学)	兼任	講師	室田 康子 (63) <平成30年4月> 修士(社会情報学)	兼任	講師	室田 康子 (64) <平成30年4月> 修士(社会情報学)	兼任	講師	室田 康子 (65) <平成30年4月> 修士(社会情報学)			
		現代ジャーナリズム論 マスコミとの付き合い方			現代ジャーナリズム論 マスコミとの付き合い方			現代ジャーナリズム論 マスコミとの付き合い方			現代ジャーナリズム論 マスコミとの付き合い方			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	餅原 匡子 (51) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	餅原 匡子 (51) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	餅原 匡子 (52) <平成30年4月> 文学士	兼任	講師	餅原 匡子 (53) <平成30年4月> 文学士			
		ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			ソーシャルマナー			
兼任	講師	山口 聖一 (66) <令和2年4月> 博士(カウンセリング科 学)	兼任	講師	山口 聖一 (64) <令和2年4月> 博士(カウンセリング科 学)	兼任	講師	山口 聖一 (65) <令和2年4月> 博士(カウンセリング科 学)	兼任	講師	山口 聖一 (66) <令和2年4月> 博士(カウンセリング科 学)			
		関係行政論			関係行政論			関係行政論			関係行政論			
兼任	講師	山里 盛文 (40) <令和2年4月> 博士(法学)/法務博士(専 門職)	兼任	講師	山里 盛文 (38) <令和2年4月> 博士(法学)/法務博士(専 門職)	兼任	講師	山里 盛文 (39) <令和2年4月> 博士(法学)/法務博士(専 門職)	兼任	講師	山里 盛文 (40) <令和2年4月> 博士(法学)/法務博士(専 門職)			
		民事法			民事法			民事法			民事法			
兼任	講師	山本 武秀 (43) <平成30年4月> 修士(政策・メディア)	兼任	講師	山本 武秀 (43) <平成30年4月> 修士(政策・メディア)	兼任	講師	山本 武秀 (44) <平成30年4月> 修士(政策・メディア)	兼任	講師	山本 武秀 (45) <平成30年4月> 修士(政策・メディア)			
		キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) I キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) II			キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) I キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) II			キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) I キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) II			キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) I キャリア基礎演習(公務 員・政治経済) II			
兼任	講師	山本 誠 (55) <平成30年4月> 法学士	兼任	講師	山本 誠 (55) <平成30年4月> 法学士	兼任	講師	山本 誠 (56) <平成30年4月> 法学士	兼任	講師	山本 誠 (56) <平成30年4月> 法学士			
		キャリア基礎演習(公務 員・法律) I キャリア基礎演習(公務 員・法律) II			キャリア基礎演習(公務 員・法律) I キャリア基礎演習(公務 員・法律) II			キャリア基礎演習(公務 員・法律) I キャリア基礎演習(公務 員・法律) II			キャリア基礎演習(公務 員・法律) I キャリア基礎演習(公務 員・法律) II			
兼任	講師	ユ・ギム (32) <平成30年4月> 学士(観光学)	兼任	講師	ユ・ギム (32) <平成30年4月> 学士(観光学)	兼任	講師	ユ・ギム (33) <平成30年4月> 学士(観光学)	兼任	講師	ユ・ギム (34) <平成30年4月> 学士(観光学)			
		英語B I b 英語B II b 英語B III b 英語B IV b			英語B I b 英語B II b 英語B III b 英語B IV b			英語B I b 英語B II b 英語B III b 英語B IV b			英語B I b 英語B II b 英語B III b 英語B IV b			
兼任	講師	湯原 かの子 (69) <平成30年4月> 文学博士	兼任	講師	湯原 かの子 (70) <平成30年4月> 文学博士									
		文芸理論			文芸理論									
兼任	講師	横川 澄枝 (68) <平成31年4月> 修士(人文科学)※	兼任	講師	横川 澄枝 (67) <平成31年4月> 修士(人文科学)※	兼任	講師	横川 澄枝 (68) <平成31年4月> 修士(人文科学)※	兼任	講師	横川 澄枝 (69) <平成31年4月> 修士(人文科学)※			
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			
兼任	講師	横田 仁子 (56) <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	横田 仁子 (54) <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	横田 仁子 (55) <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	横田 仁子 (56) <令和2年4月> 医学博士			
		心身医学			心身医学			心身医学			心身医学			
兼任	講師	吉川 京子 (47) <令和2年4月> 準学士	兼任	講師	吉川 京子 (45) <令和2年4月> 準学士	兼任	講師	吉川 京子 (46) <令和2年4月> 準学士	兼任	講師	吉川 京子 (47) <令和2年4月> 準学士			
		色彩検定演習			色彩検定演習			色彩検定演習			色彩検定演習			
兼任	講師	吉崎 圓 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	吉崎 圓 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	吉崎 圓 (64) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	吉崎 圓 (65) <平成30年4月> 博士(文学)			
		英語A I b			英語A I b			英語A I b			英語A I b			
兼任	講師	吉田 次郎 (67) <令和2年4月> 理学博士	兼任	講師	吉田 次郎 (65) <令和2年4月> 理学博士	兼任	講師	吉田 次郎 (66) <令和2年4月> 理学博士	兼任	講師	吉田 次郎 (67) <令和2年4月> 理学博士			
		水産学 河川海洋学			水産学 河川海洋学			水産学 河川海洋学			水産学 河川海洋学			
兼任	講師	吉原 誠 (60) <令和2年4月> 法学士	兼任	講師	吉原 誠 (58) <令和2年4月> 法学士	兼任	講師	吉原 誠 (59) <令和2年4月> 法学士	兼任	講師	吉原 誠 (60) <令和2年4月> 法学士			
		キャリア演習(公務員・法 律) I キャリア演習(公務員・法 律) II			キャリア演習(公務員・法 律) I キャリア演習(公務員・法 律) II			キャリア演習(公務員・法 律) I キャリア演習(公務員・法 律) II			キャリア演習(公務員・法 律) I キャリア演習(公務員・法 律) II			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	講師	54伊勢・ゲラー (53) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)	54伊勢・ゲラー (52) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)	54伊勢・ゲラー (53) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)	54伊勢・ゲラー (54) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)	54伊勢・ゲラー (53) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)	54伊勢・ゲラー (54) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)
		英語BⅢa 英語BⅣa	英語BⅢa 英語BⅣa	英語BⅢa 英語BⅣa	英語BⅢa 英語BⅣa	英語BⅢa 英語BⅣa	英語BⅢa 英語BⅣa 英語BⅠa 英語BⅡa
兼任	講師	李 振漢 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)※	李 振漢 (54) <平成31年4月> 修士(教育学)※	李 振漢 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)※	李 振漢 (54) <平成31年4月> 修士(教育学)※	李 振漢 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)※	李 振漢 (56) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライ ティング	中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライ ティング	中国語Ⅲ	中国語Ⅲ	中国語Ⅲ	中国語Ⅲ
兼任	講師	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※	陸 偉栄 (54) <平成31年4月> 修士(文学)※	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※	陸 偉栄 (56) <平成31年4月> 修士(文学)※
		中国語Ⅳ	中国語Ⅳ	中国語Ⅳ	中国語Ⅳ	中国語Ⅳ	中国語Ⅳ
兼任	講師	林 淑美 (68) <平成30年4月> 博士(文学)	林 淑美 (69) <平成30年4月> 博士(文学)	林 淑美 (70) <平成30年4月> 博士(文学)	林 淑美 (70) <平成30年4月> 博士(文学)	林 淑美 (70) <平成30年4月> 博士(文学)	林 淑美 (70) <平成30年4月> 博士(文学)
		文芸理論	文芸理論	文芸理論	文芸理論	文芸理論	文芸理論
兼任	講師	レイ・パトリック (48) <平成30年4月> Master of Science in Education (米国)	レイ・パトリック (48) <平成30年4月> Master of Science in Education (米国)	レイ・パトリック (49) <平成30年4月> Master of Science in Education (米国)	レイ・パトリック (49) <平成30年4月> Master of Science in Education (米国)	レイ・パトリック (50) <平成30年4月> Master of Science in Education (米国)	レイ・パトリック (50) <平成30年4月> Master of Science in Education (米国)
		英語 I	英語 I	英語 I	英語 I	英語 I	英語 I
兼任	講師	ワグマン・マゴレット (65) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)	ワグマン・マゴレット (65) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)	ワグマン・マゴレット (66) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)	ワグマン・マゴレット (66) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)	ワグマン・マゴレット (67) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)	ワグマン・マゴレット (67) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)
		英語AⅣa 英語 I	英語AⅣa 英語 I TOEIC特別演習 I	英語AⅣa 英語 I TOEIC特別演習 I	英語AⅣa 英語 I TOEIC特別演習 I	英語AⅣa 英語 I TOEIC特別演習 I	英語AⅣa 英語 I TOEIC特別演習 I
兼任	講師	若狭 基道 (47) <平成30年4月> 博士(文学)	若狭 基道 (47) <平成30年4月> 博士(文学)	若狭 基道 (48) <平成30年4月> 博士(文学)	若狭 基道 (48) <平成30年4月> 博士(文学)	若狭 基道 (49) <平成30年4月> 博士(文学)	若狭 基道 (49) <平成30年4月> 博士(文学)
		言語科学 記号論	言語科学 記号論	言語科学 記号論	言語科学 記号論	言語科学 記号論	言語科学 記号論
兼任	講師	渡辺 玲子 (65) <平成30年4月> 修士(文学)※	渡辺 玲子 (65) <平成30年4月> 修士(文学)※	渡辺 玲子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)※	渡辺 玲子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)※	渡辺 玲子 (67) <平成30年4月> 修士(文学)※	渡辺 玲子 (67) <平成30年4月> 修士(文学)※
		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習 I	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習 I	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習 I	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習 I	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習 I	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習 I
兼任	講師	青木 幸子 (61) <平成30年4月> 博士(芸術工学)	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)
		教育学 教育学概論	教育学 教育学概論	教育学 教育学概論	教育学 教育学概論	教育学 教育学概論	教育学 教育学概論
兼任	講師	秋田川 聡士 (36) <平成30年4月> 博士(文学)	秋田川 聡士 (36) <平成30年4月> 博士(文学)	秋田川 聡士 (36) <平成30年4月> 博士(文学)	秋田川 聡士 (36) <平成30年4月> 博士(文学)	秋田川 聡士 (36) <平成30年4月> 博士(文学)	秋田川 聡士 (36) <平成30年4月> 博士(文学)
		中国文学	中国文学	中国文学	中国文学	中国文学	中国文学
兼任	講師	李 英龍 (47) <平成30年4月> 博士(学術)※	李 英龍 (47) <平成30年4月> 博士(学術)※	李 英龍 (48) <平成30年4月> 博士(学術)※	李 英龍 (48) <平成30年4月> 博士(学術)※	李 英龍 (49) <平成30年4月> 博士(学術)※	李 英龍 (49) <平成30年4月> 博士(学術)※
		朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ
兼任	講師	魏 聖絵 (50) <平成30年4月> 博士(日本語日文学)※	魏 聖絵 (50) <平成30年4月> 博士(日本語日文学)※	魏 聖絵 (51) <平成30年4月> 博士(日本語日文学)※	魏 聖絵 (51) <平成30年4月> 博士(日本語日文学)※	魏 聖絵 (52) <平成30年4月> 博士(日本語日文学)※	魏 聖絵 (52) <平成30年4月> 博士(日本語日文学)※
		朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅱ	朝鮮・韓国語Ⅱ
兼任	講師	秋山 まき子 (60) <平成31年4月> 修士(言語学・TESOL) (米 国)、修士(言語学 音声 学) (米国)※	秋山 まき子 (60) <平成31年4月> 修士(言語学・TESOL) (米 国)、修士(言語学 音声 学) (米国)※	秋山 まき子 (60) <平成31年4月> 修士(言語学・TESOL) (米 国)、修士(言語学 音声 学) (米国)※	秋山 まき子 (60) <平成31年4月> 修士(言語学・TESOL) (米 国)、修士(言語学 音声 学) (米国)※	秋山 まき子 (67) <平成31年4月> 修士(言語学・TESOL) (米 国)、修士(言語学 音声 学) (米国)※	秋山 まき子 (67) <平成31年4月> 修士(言語学・TESOL) (米 国)、修士(言語学 音声 学) (米国)※
		英語AⅡb	英語AⅡb	英語AⅡb	英語AⅡb	英語AⅡb	英語AⅡb

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
				兼任 講師	藤本 隆史 (52) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任 講師	藤本 隆史 (53) <平成31年4月> 博士(社会学)
					統計学		統計学 社会調査法
				兼任 講師	堀 邦維 (64) <平成31年4月> 文学修士	兼任 講師	堀 邦維 (65) <平成31年4月> 文学修士
					英語AⅢb 英語AⅣb		英語AⅢb 英語AⅣb 英語AⅡb
				兼任 講師	渡邊 豊紀 (41) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)		
					中国文学		
						兼任 講師	秋山 純子 (64) <令和2年4月> 文学士
							教育学 教育学概論
						兼任 講師	伊波 和恵 (49) <令和2年4月> 修士(心理学)※
							高齢者の心理学
						兼任 講師	久保田 健夫 (59) <令和2年4月> 医学博士
							子どものころからだ
						兼任 講師	久保藤 肇 (32) <令和2年4月> 修士(法学)
							国際法
						兼任 講師	小島 和男 (44) <令和2年4月> 博士(哲学)
							西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化
						兼任 講師	米令 由希子 (50) <令和2年4月> 修士(家政学)
							ファッション論
						兼任 講師	ゲーリー リン ハッシー (65) <令和2年4月> Master of Education (メキシコ)
							英語AⅠb
						兼任 講師	竹田 らら (47) <令和2年4月> 修士(文学)
							英語AⅢa 英語Ⅲ
						兼任 講師	田中 久美子 (62) <令和2年4月> 修士(美術)
							総合科目(芸術と社会)
						兼任 講師	谷口 洋 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
							中国文学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	田村 泰穂子 (55) <令和2年4月> 修士(文学)※			
											英語AⅡa			
									兼任	講師	野嶋 将俊 (50) <令和2年4月> 修士(文学)※			
											英語AⅠb			
									兼任	講師	古澤 香乃 (37) <令和2年4月> 修士(文学)※			
											西洋古典文学 ラテン語とローマ文化			
									兼任	講師	マルクス フォン フライ ベルク (45) <令和2年4月> Bachelor of Arts (B.A.) (ドイツ)			
											ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ			
									兼任	講師	三橋 隆介 (57) <令和2年4月> 文学修士			
											日本語演習			
									兼任	講師	武藤 純子 (63) <令和2年4月> 博士(日本語日本文学)			
											日本語演習			
									兼任	講師	米田 泰隆 (40) <令和2年4月> 修士(経済学)			
											経済学			
									兼任	講師	渡辺 明日香 (47) <令和2年4月> 博士(人間・環境学)			
											総合科目(現在社会)			
											後任未定			
											地理学 社会学			

- ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・その上で、**置可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・各種の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・「伊藤成男（教授）」の病欠により、プロゼミⅠを開講せず。
- ・平成30年4月「森まり子（兼任）」昇格。
- ・平成30年4月「横山太郎（兼任）」昇格。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅰ」、「フランス語Ⅱ」を「寺本敬子（兼任）」から「鳥居珠江（兼任）」に変更。
- ・「山崎妙（兼任）」就任辞退により、「英語再入門B」、「英語ライティング」、「異文化理解」、「TOEIC特別演習Ⅱ」を「峰松和子（兼任）」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「伊藤雅（兼任）」に「マルチメディア基礎演習（音楽制作）」を追加。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「杉本昌裕（兼任）」に「教育原理」を追加。
- ・「新井保裕（兼任）」就任辞退により、「朝鮮・韓国語Ⅰ」を「李英蘭（兼任）」に変更。
- ・「新井保裕（兼任）」就任辞退により、「朝鮮・韓国語Ⅱ」を「李英蘭（兼任）」、「魏聖鎧（兼任）」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「小池知之（兼任）」に「異文化理解」を追加。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「江田優子（兼任）」、「中尾正史（兼任）」に「英語AⅠb」を追加。
- ・「小谷彰吾（兼任）」就任辞退により、「教育学」、「教育学概論」を「青木幸子（兼任）」に変更。
- ・「石垣（兼任）」就任辞退により、「中国文学」を「明日川聡士（兼任）」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「富澤典子（兼任）」に「英語AⅡb」を追加。
- ・履修機会を増やす理由により、「マーガレット・ワークマン（兼任）」に「TOEIC特別演習Ⅰ」を追加。

【令和元年度】

- ・「阿部洋子（教授）」の退職就任により、「プロゼミⅡ」を「小栗貴弘（准教授）」に変更。
- ・「阿部洋子（教授）」の退職就任により、「心理学実験」を「弘光健太郎（兼任）」に変更。
- ・「伊藤成男（教授）」の退職により、「学校臨床心理学」、「心理演習」、「心理実習B」、「臨床心理学演習ⅠA」、「臨床心理学演習ⅠB」、「臨床心理学演習ⅡA」、「臨床心理学演習ⅡB」を「小栗貴弘（准教授）」に変更。
- ・平成31年4月「酒井佳永（准教授）」昇格。
- ・平成31年4月「新井理（講師）」昇格。
- ・「プロゼミⅠ」を新規開講し、「小栗貴弘（准教授）」に追加。
- ・平成31年4月「鶴田雅昭（兼任）」昇格。
- ・平成31年4月「南里隆宏（兼任）」身分変更。
- ・「横山太郎（教授）」退職により、「日本語演習」の後任を令和2年3月までに決定予定。
- ・平成31年4月「伊藤雅（兼任）」昇格。
- ・「杉本昌裕（兼任）」退職により、「教育原理」を削除。他に担当教員が1名いるため、授業に支障なし。
- ・「ルナ・カズミ（兼任）」退職により、「英語Ⅰa」、「英語Ⅱa」、「英語Ⅲa」、「英語Ⅳa」を「トゲル・ラウツァル（兼任）」に変更。
- ・「池田光義（兼任）」退職により、「認識論」を「須藤孝也（兼任）」に変更。
- ・「オカ・ジョン（兼任）」就任辞退により、「英語BⅢb」、「英語BⅣb」を「ヤンベル・グラント（兼任）」に変更。
- ・「小川清美（兼任）」退職により、「保育学」を「林典子（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「兼利琢也（兼任）」、「スコット・グレイ（兼任）」に「英語AⅢa」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「江田優子（兼任）」、「スコット・グレイ（兼任）」に「英語AⅣa」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「小暮正人（兼任）」に「英語Ⅰ」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「統計学」を「小巻泰之（兼任）」から「藤本隆史（兼任）」に変更。
- ・「小室龍之介（兼任）」就任辞退により、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」を「スコット・グレイ（兼任）」に変更。
- ・「池田光義（兼任）」就任辞退により、「朝鮮・韓国語Ⅲ」、「朝鮮・韓国語Ⅳ」を「文智暎（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅲ」を「篠原洋治（兼任）」から「鈴木暁（兼任）」に変更。
- ・「渡谷由美（兼任）」就任辞退により、「英語AⅢa」を「伊藤友美（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「妹尾新太郎（兼任）」、「堀邦維（兼任）」に「英語AⅣb」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「鳥居珠江（兼任）」から「フランス語Ⅲ」、「フランス語Ⅳ」を削除。他に担当教員が4名いるため、授業に支障なし。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「百人一首」を「中島輝真（兼任）」から「加美甲多（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「英語AⅡb」を「馬場広信（兼任）」から「秋山まき子（兼任）」に変更。
- ・「フナトイト（兼任）」就任辞退により、「フランス語Ⅲ」、「フランス語Ⅳ」を「ルナ・カズミ（兼任）」に変更。
- ・平成31年4月「水谷幸恵（兼任）」身分変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「水谷幸恵（兼任）」に「体育実技（水泳）」を追加。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「中国語リーディング・ライティング」を「李振源（兼任）」から「安本真弓（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「中国文学」を「秋田川聡士（兼任）」から「渡邊登紀（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「古田島縁子（兼任）」に「英語AⅡa」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「清水雅夫（兼任）」に「英語Ⅱ」を追加。
- ・履修機会を増やす理由により、「田中秀美（兼任）」に「経済学」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「堀邦維（兼任）」に「英語AⅢb」を追加。

【令和2年度】

- ・「野島一彦（教授）」の退職就任により、「臨床心理学演習ⅠA」、「臨床心理学演習ⅠB」を担当しない。他に、担当教員が9名いるため、授業に支障なし。
- ・「阿部洋子（教授）」の退職就任により、「心理実習C」を「鈴木真理（教授）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「心理学」を「松崎くみ子（教授）」から「前場康介（准教授）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「青年期の発達心理学」を「松崎くみ子（教授）」から「小栗貴弘（准教授）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「松崎くみ子（教授）」に「心理実習B」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「健康教育概論」を「宮岡佳子（教授）」から「鈴木真理（教授）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「宮岡佳子（教授）」に「心理実習」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「高齢者の心理学」を「酒井佳永（教授）」から「伊波和恵（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「酒井佳永（教授）」に「心理実習A」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「ストレス・マネジメント」を「板東充彦（准教授）」から「鈴木真理（教授）」に変更。
- ・令和2年4月「前場康介（講師）」昇格。
- ・令和2年4月「鈴木真理（教授）」就任。
- ・「石田信一（兼任）」の退職就任により、「香坂直樹（兼任）」が「ヨーロッパ現代史」を1名で担当。
- ・教育課程編成上の理由により、「香山はるの（兼任）」に「ミステリー文学」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「総合科目（観光）」を「現代亮子（兼任）」から「小関孝子（兼任）」に変更。
- ・「曾田修司（兼任）」の退職就任により、「総合科目（現代社会）」を「渡辺明日香（兼任）」に変更。
- ・「轟（教授）」の退職により、「社会調査法」を「藤本隆史（兼任）」に変更。
- ・「川口洋子（兼任）」の退職就任により、「総合科目（現代社会）」を「川島京子（兼任）」に変更。
- ・「澤原京子（兼任）」の退職就任により、「総合科目（芸術と社会）」を「田中久美子（兼任）」に変更。
- ・「伊藤直子（兼任）」退職により、「ドイツ語リーディング・ライティング」を「阿部一哉（兼任）」に変更。また、「ドイツ文学」を「片岡慎泰（兼任）」に変更。
- ・令和2年4月「安本真弓（兼任）」昇格。
- ・令和2年4月「寺本敬子（兼任）」昇格。国内留学のため担当科目なし。
- ・履修機会を増やす理由により、「石崎裕子（兼任）」に「花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン」を追加。
- ・平成31年3月に退職した「横山太郎（教授）」の後任として、「加藤大鶴（兼任）」が「日本語演習」を担当。
- ・「相島淑美（兼任）」退職により、「テーマで学ぶ英語（社会問題Ⅱ）」を「峰松和子（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「阿部陽子（兼任）」に「英語AⅠa」、「英語AⅡa」を追加。
- ・「池上純一（兼任）」退職により、「ドイツ語Ⅲ」、「ドイツ語Ⅳ」を「マルクス フォン フライヘルク（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「石黒ひさ子（兼任）」の担当を「中国語Ⅰ」から「中国語Ⅳ」に変更。「中国語Ⅰ」は「宮島幸美（兼任）」が担当。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「フランス語上級Ⅰ」、「フランス語上級Ⅱ」を「伊藤敬佑（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「兼利琢也（兼任）」が「英語AⅢa」を担当しない。他に、担当教員が5名いるため、授業に支障なし。なお、習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅠb」を追加。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「木下ひろみ（兼任）」に「英語AⅡb」を追加。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「小池知之（兼任）」に「英語AⅠb」、「英語Ⅰ」を追加。
- ・「志田哲之（兼任）」就任辞退により、「社会学」の担当未定。後任は令和2年9月までに決定予定。
- ・「志村聡（兼任）」退職により、「地理学」の担当未定。後任は令和2年9月までに決定予定。
- ・「佐々木亮（兼任）」退職により、「国際法」を、「久保庭恵」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「健康科学」を「菅原ゆり子（兼任）」から「水谷幸恵（兼任）」に変更。
- ・「高橋秀司（兼任）」退職により、「経済学」を「米田泰隆（兼任）」に変更。
- ・「田中大介（兼任）」退職により、「子どものごとからた」を「久保田健夫（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「韓国語（兼任）」から「中国語Ⅳ」を削除。他に担当教員が7名いるため、授業に支障なし。
- ・教育課程編成上の理由により、「中尾正史（兼任）」の担当を「英語AⅢa」を追加。
- ・「野村光義（兼任）」退職により、「西洋古典文学」・「ギリシア語とギリシア文化」を「小島和男（兼任）」に変更。「西洋古典文学」・「ラテン語とローマ文化」を「古澤香乃（兼任）」に変更。
- ・「二又淳（兼任）」退職により、「日本語演習」を「武藤純子（兼任）」・「三橋隆介（兼任）」に変更。
- ・「江口和美（兼任）」退職により、「体育実技F（水泳）」を、「水谷幸恵（兼任）」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「ラザル・ゲル（兼任）」に「英語BⅠa」、「英語BⅡa」を追加。
- ・「青木幸子（兼任）」退職により、「教育学」、「教育学概論」を「秋山純子（兼任）」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「ヤンベル・グラント（兼任）」に「英語BⅠb」、「英語BⅡb」を追加。
- ・「スコット・グレイ」の担当辞退により、「英語AⅢa」、「英語Ⅲ」を「竹田ら（兼任）」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「堀邦維（兼任）」に「英語AⅡb」を追加。
- ・「渡邊登紀（兼任）」退職により、「中国文学」を「谷口洋（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「米今由希子（兼任）」に「ファッション論」を追加。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「ゲーリー リン ハッシー（兼任）」に「英語AⅠb」を追加。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「田村奈穂子（兼任）」に「英語AⅡa」を追加。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「野崎将俊（兼任）」に「英語AⅠb」を追加。

(注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **限**で設置された学部の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A○教員審査）を受けてください。**A○教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（A○）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	2	2	0	10	0	7	4	0	0	11	0
(6)	(2)	(2)	(0)	(10)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	4	0	0	11	0	7	4	0	0	11	0
[1]	[2]	[Δ2]	[0]	[1]	[0]	[1]	[2]	[Δ2]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{11} = \boxed{9.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	伊澤 成男	H31.3	必修	プロゼミ I	①	H31.3.31付依願退職のため辞任（元）
				選択	学校臨床心理学	①	
				選択	心理演習	①	
				選択	心理実習B	①	
				必修	臨床心理学演習 I A	①	
				必修	臨床心理学演習 I B	①	
				必修	臨床心理学演習 II A	①	
				必修	臨床心理学演習 II B	①	
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由**で辞任した**全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{10} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (H29年12月)	<p>・観光コミュニティ学部観光デザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。</p> <p>・観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>留意事項</p> <p>平成30年度の入学者数は5月1日時点で142名（充足率118.3%）であり、設置以来4年間の定員充足率の平均は1.27倍となった。適正な入学者数となるように合否判定を厳格に行ない、入学定員超過の改善に努めることとする。(30)</p> <p>平成30年度の入学者数は5月1日時点で88名（充足率110.0%）である。単年度としては入学定員を満たし、設置以来4年間の定員充足率の平均は0.71倍となったが、今後も更なる広報等の強化を図る予定である。(30)</p>	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (H30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (H31年3月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 臨床心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>「設置の趣旨を記載した書類」に関する事項</p> <p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(4) 資格取得を考慮した教育課程 心理学部臨床心理学科では心理学を学んだ学生が将来活躍する時に有効な資格として、「公認心理師」(国家資格)、「臨床心理士」(公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会認定資格)、「認定心理士」(公益財団法人日本心理学会認定資格)、「認定健康心理士」(一般社団法人日本健康心理学会認定資格)の資格取得を十分に視野に入れ、必要な科目を配置した。</p> <p>8. 入学者選抜の概要</p> <p>(2) 一般入学試験 募集定員75名</p> <p>(3) 推薦入学試験 募集定員30名</p> <p>(4) A〇入学試験 募集定員15名</p> <p>11. 企業実習(インターンシップを含む。)や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画</p> <p>①海外研修先の確保の状況</p> <p>13. 管理運営</p> <p>大学における意思決定は、学長が行う。全学的基本方針を審議する大学評議会、および学部に関わる事項を審議する学部教授会を置き、学長が決定を行うに当たり、意見を述べる。心理学部においても教授会を組織し、学部・学科の運営にあたる。大学評議会、学部教授会ともに毎月2回の開催を標準としている。</p> <p>①大学評議会</p> <p>②学部教授会</p> <p>③各種委員会</p> <p>14. 自己点検・評価</p> <p>[内部質保証] 2 大学は、自ら掲げる理念・目的を実現するために、内部質保証システムを構築し、恒常的・継続的に教育の質の保証及び向上に取り組みなければならない。</p>	<p>心理学部設置に伴う文学部人文学科教育課程の変更、および「公認心理師法施行規則」の施行に伴う心理学部臨床心理学科専門科目の名称変更を行うことが必要となった。</p> <p>別紙資料2(跡見学園女子大学学則)</p> <p>令和3年度より入試名称・内容および募集定員を以下のとおり変更する。</p> <p>(2) 一般選抜 募集定員60名</p> <p>(3) 学校推薦型選抜 募集定員42名</p> <p>(4) 総合型選抜 募集定員18名</p> <p>令和2年度より中国語研修の新たな研修先として、北京外国語大学(中国)と国立台湾師範大学(台湾)と協定を締結した。</p> <p>心理学部の設置にあたり、「大学評議会規程」の学部選出評議員の定数を規定した。</p> <p>別紙資料1</p> <p>内部質保証体制をさらに充実させるため、審議事項を追加した。 別紙資料1</p> <p>内部質保証を充実させるために「教授会規程」に自己点検・評価に関する事項を追加。 別紙資料3</p> <p>また、教授会常設の委員会として自己点検・評価委員会を置くことを新たに規定した。 別紙資料4(跡見学園女子大学教授会各種委員会規程)</p> <p>内部質保証を充実させる組織体制を実現できるよう「自己点検・評価規程」を「自己点検・評価に関する規程」と改め、規定した。 また、第4条第3項に法人監事の監査を求める旨の一文を追加し、その上で自己評価を確定し公表することとした。 別紙資料5</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>心理学部設置にあわせ、同学部内に教育・研究支援委員会を組織した。また、同学部教員が全学教育・研究支援委員会の構成員に加わり、協働して授業内容方法の改善を行う。</p> <p>本学における授業内容方法の改善については、大学評議会の下にある全学教育・研究支援委員会が組織的な取組の中心を担う。</p> <p>委員会では、基本的な理念の策定や全学レベルの企画を行うとともに、心理学部、文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部、全学共通科目運営センターとの連携を図る場としての機能を果たしている。他方で、各学部にもそれぞれに教育・研究支援委員会が、また全学共通科目運営センターには全学共通科目運営センター委員会があり、全学教育・研究支援委員会と協働しつつ、授業改善のための具体的な取組を組織的にしている。</p> <ul style="list-style-type: none">・学部教育研究支援委員会・全学教育研究支援委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・学部教育研究支援委員会 跡見学園女子大学教授会各種委員会規程 第八条 委員長は、次の各号の一に該当する場合、委員会を招集する。<ul style="list-style-type: none">一 学期の始まる月（定例）二 委員長が必要と認めたとき三 委員の三分の一以上の要求があったとき第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。・全学教育研究支援委員会 跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程 第八条 委員長は、大学評議会議長からの諮問を受けて、委員会を招集する。<ul style="list-style-type: none">2 前項にかかわらず、次の各号の一に該当する場合、委員長は委員会を招集する。<ul style="list-style-type: none">一 学年の始まる月（定例）二 委員長が必要と認めたとき三 委員の三分の一以上の要求があったとき第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。 <p>以上のとおり規定し、原則月1～2回の開催。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>委員会企画する以下の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・授業方法について研究会（ワークショップ）・教員相互の授業参観・新任教員のための研修会参加（私立大学連盟等）・「FDジャーナル」「学術年報」の刊行 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・全学的な取り組みとして、FD懇談会、FD講演会の開催・全学共通科目運営センターの取り組み FDワークショップ・学部、大学院研究科単位の取り組み FD講演会、FDワークショップ・学生による授業評価アンケート 原則全科目 （ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・FD懇談会は、年度初めに専任教員と兼任教員が一堂に会し、親睦を深めるとともに、本学の建学の精神、教育理念等を共通認識する機会として開催。・FD講演会は、年に1度高等教育に見識のある講師を招いて開催・FDワークショップは、基調講演を行い意見交換など実施・上記の他、私立大学連盟等の主催する研究会などに教員を派遣 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・「FDジャーナル」に授業改善と教育力向上をめざす実践報告を多数の教員が行っている。・「学術年報」を刊行し、教育研究業績を報告している。
<p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>各学期最終週に授業評価アンケートを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">・学生による授業評価アンケート 原則全科目 （ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。） <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>文京キャンパス事務室フロア、新座キャンパス教務課前カウンターに報告書を配置し、自由に閲覧することができる。</p> <p>また、各教員に対しては、別途、担当科目の集計結果及びコメントシートの配布を行っている。</p>

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>心理学部は、人の心についての広く深い科学的な知見と技術をもとに、人々の健康的な人生に寄与し、人間関係の理解とスキルを活かした豊かな組織と社会づくりに貢献する人材の養成を目的とする。 開設初年度においては、上記の目的実現に向け努めているところである。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>跡見学園女子大学では、平成19年度には、学長の指導のもと平成14年～18年度を対象の自己点検・評価を行い、平成20年度大学基準協会による大学評価を申請した。その結果、大学基準に適合しているものと評価され、平成21年4月1日より平成28年3月末日までの7年間の認定を受けた。 平成27年度には（公財）大学基準協会による認証評価を受審し、大学基準に適合していると評価された。平成28年4月1日より令和5年3月末日までの7年間の認定を受けた。なお、今回設置した学部・学科については、平成27年度の評価対象となっておらず、令和4年度に認証評価を受ける予定。</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・既に大学ホームページに公表済み <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>平成27年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けている（除、観光コミュニティ学部、心理学部）。平成31年度以降は学内で自己点検・評価を行い、次回、令和4年度の認証評価に備える。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ a で「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [<input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ()]</p> <p>≪ a で公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 [()]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

改正 平成15年4月1日一部改正 平成19年4月1日一部改正
平成27年4月1日一部改正 平成30年4月1日一部改正

第1条 この規程は、跡見学園女子大学学則第5条の3に基づき、大学評議会の組織に関し必要な事項を定める。

第2条 大学評議会の評議員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 学長
 - (2) 跡見学園寄附行為第8条第1項第2号に定める理事たる副学長（以下「理事たる副学長」という。）
 - (3) 学部長
 - (4) 附属教育研究組織の長のうち、全学共通科目運営センター長及び図書館長
 - (5) 学部から選出される教授については、文学部にあつては2名、マネジメント学部にあつては1名、観光コミュニティ学部にあつては1名及び心理学部にあつては1名の者
 - (6) 大学評議会の議に基づいて学長が指名する専任教員については、3名までの者
- 2 評議員の任期は、前項第1号乃至第4号についてはその職にある期間とし、同第5号については2年とし、同第6号については2年以内で学長の定める期間とし、再任を妨げない。ただし、前項第5号の評議員が事務部局の長に就いたときは、辞任しなければならない。

3 前々項第5号の評議員に欠員が生じた場合の補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

第3条 前条第1項第4号にいう評議員たる附属教育研究組織の長の選考は、四つの学部それぞれの教授会における推薦を参酌し、学長が行う。

2 前条第1項第5号にいう学部から選出される教授としての評議員の選考は、教授会における選挙により行う。

3 前項の選挙に必要な事項は、別に定める。

第4条 大学評議会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち評議員でない者は、議決権をもたない。

- (1) 附属教育研究組織の長
- (2) 全学委員会の長
- (3) 事務部局の長

第5条 大学評議会は、必要に応じ参考人を招致することができる。

第6条 大学評議会は、必要に応じ教職員の傍聴を許可することができる。

第7条 大学評議会は、学則第5条の3第4項に定める次の事項について学長が決定を行うに当たり、審議し、意見を述べる。

- (1) 本学の教育研究上の目的を達成するための基本的な計画及び適正な実施に関する事項
- (2) 学則その他重要な規則の制定又は改廃に関する事項
- (3) 本学の研究活動適正化の推進に関する事項
- (4) 本学の予算の見積りの方針に関する事項
- (5) 学部、学科及び研究科、専攻その他の重要な組織の設置又は廃止並びに学生の定員に関する事項
- (6) 本学の教員の教育研究業績の審査に関する事項
- (7) 本学の教育課程の編成の方針に関する事項
- (8) 学生の厚生及び補導に関する事項
- (9) 学生の入学、卒業、課程の修了及び学位の授与の方針に関する事項
- (10) 学生の転部・転科の方針に関する事項
- (11) 学則第34条に係る学生の退学、停学及び訓告に関する事項
- (12) 本学の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項

- (13) 本学の教育研究活動等の状況について行う自己点検・評価に関する事項
2 前項各号を審議し意見を述べるにあたっては、本学が行う自己点検・評価の結果もふまえることとする。

第8条 大学評議会に議長を置き、学長をもって充てる。

2 大学評議会に副議長を置き、理事たる副学長をもって充てる。

第9条 議長は、大学評議会を主宰する。

2 副議長は、議長を助ける。

3 議長に事故があるとき又は議長が欠けたときは、副議長が、議長の職務を行う。

4 議長及び副議長に共に事故があるときは、評議員が仮議長を互選しこれに議長の職務を行わせる。

第10条 削除

第11条 議長は、次の各号の一に該当する場合、大学評議会を招集する。

(1) 月1回(定例)

(2) 議長が必要と認めたとき

(3) 評議員の3分の1以上の要求があったとき

第12条 大学評議会は、評議員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

第13条 大学評議会の議事は、評議員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

2 前項にかかわらず、次に掲げる事項については、評議員の出席者の3分の2以上をもって決する。

(1) 学則の改正

(2) その他特別の必要があると認められる事項

第14条 大学評議会の下に、必要に応じ全学委員会を置く。

2 全学委員会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第15条 大学評議会に関する事務は、議長の監督の下に、事務局長が統括する。

第16条 大学評議会の議事録は、議長の監督の下に、事務局長が作成し、大学評議会において確認する。

2 議長は、教職員に対し、議事及び決議をすみやかに周知し、議事録を閲覧に供しなければならない。

第17条 この規程に定める他に必要な事項は、大学評議会の定めるところによる。

第18条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成15年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

附 則(令和元年5月29日改正附則)

この規程は、令和元年5月29日から改正施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日より施行する。

跡見学園女子大学学則

昭和四十年四月一日施行

第一章 総 則

第一節 目 的

第一条 本学は、跡見学園女子大学と称し、学校教育法の定めるところに従い、学園創立者跡見花蹊の教育精神を継承して有能なる社会人、家庭人たる女性の育成を目的とする。

2 前項に規定する目的に加え、本学に置く学部の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を第三章、第四章、第五章及び第六章の学部規則に定める。

第一条の二 本学は、教育研究水準の向上に資するため、本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備（以下「教育研究等」という。）の状況について自ら点検及び評価（以下「自己点検・評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項に規定する自己点検・評価を行うに当たっては、前項の趣旨に即し適切な項目を設定するとともに、適切な体制を整えて行うものとする。

3 第一項に規定する公表は、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって行うものとする。

4 本学は、第一項の措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、別に定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。

5 自己点検・評価及び認証評価に関し必要な事項は、別に定める。

第一条の三 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第二節 組 織

第二条 本学に、文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部及び心理学部を置く。

2 本学に、大学院を置く。大学院に関する学則は、別に定める。

第三条 削除

第四条 本学に次の附属教育研究組織を置く。

- 一 全学共通科目運営センター
- 二 図書館
- 三 花蹊記念資料館
- 四 情報メディアセンター
- 五 心理教育相談所
- 六 地域交流センター

2 前項各号の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第三節 教職員組織

第五条 本学の教職員組織は、次のとおりとする。

- 一 学長（学長は教授を兼ねる。）
- 二 副学長（副学長は2名とし、教授を兼ねる。副学長のうち1名は跡見学園寄附行為第八条第一項第二号に定める理事（以下「理事たる副学長」という。）となる。）
- 三 教授、准教授、講師、助教、助手
- 四 司書、学芸員、事務職員

2 学部に学部長を置き、学部の教授をもって充てる。

第五条の二 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

- 4 学長、副学長及び学部長の採用のための選考に関し必要な事項は、別に定める。

第三節の二 大学評議会

第五条の三 本学に、大学評議会を置く。

- 2 大学評議会の評議員は、次に掲げる者をもって充てる。
- 一 学長
 - 二 理事たる副学長
 - 三 学部長
 - 四 研究科長
 - 五 附属教育研究組織の長のうち本学が定める者
 - 六 学部から選出される教授
 - 七 大学評議会の議に基づいて学長が指名する専任教員
- 3 大学評議会は、学長が教育研究に関する方針その他重要な事項について決定を行うに当たり、審議し、意見を述べる。
- 4 前項に規定する審議事項は、別に定める。
- 5 大学評議会に議長を置き、学長をもって充てる。
- 6 大学評議会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第四節 教授会

第六条 学部、教授会を置く。

- 2 教授会は、学部、に所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。
- 3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- 一 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - 二 学位の授与
 - 三 前二号に掲げるものの他、教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要であると定めるもの
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長などの求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 前項に規定する審議事項は、別に定める。
- 6 教授会に議長を置き、学部長をもって充てる。
- 7 教授会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第四節の二 削除

第六条の二 削除

第四節の三 称号

第六条の三 本学に名誉教授の称号を置く。

- 2 名誉教授の称号の授与については、別に定める。

第五節 学年、学期及び休業日

第七条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

- 2 学年を次の2期に分ける。
- 一 春学期 4月1日から9月30日まで
 - 二 秋学期 10月1日から翌年3月31日まで
- 3 休業日は、次のとおりとする。
- 一 日曜日
 - 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

三 学園創立記念日 1月8日

四 年度毎に定める春季・夏季及び冬季休業日

ただし、この規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、臨時に休業日を定め、又は変更することができる。

4 第2項第二号にかかわらず、秋学期の始期は、第十九条の趣旨に照らし必要がある場合に限り、授業日を規定する学事暦において定めることができる。

5 本条の規定に基づく年度毎の学事暦は、大学評議会の議を経て学長がこれを定める。

第二章 学部通則

第一節 修業年限及び在学年限

第八条 本学の修業年限は、4年とし、前期課程2年（1・2年次）と後期課程2年（3・4年次）に分ける。ただし、それぞれの課程において4年を超えて在学することはできない。

2 前期課程から後期課程に進級する際には、第十八条第二項の要件を満たさなければならない。

3 前項の要件を満たさない場合は、原級留置とする。

4 進級に関して必要な事項は、別に定める。

5 第十条の二第一項及び第二項により入学を許可された者は、同条第三項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第二節 入学及び編入学

第九条 入学の時期は、学年の始めとする。

第十条 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれか一に該当する女子でなければならない。

一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

第十条の二 次の各号の一に該当する者で、本学への編入学を願い出た者については、選考のうえ学長がこれを許可することができる。

一 大学を卒業した者

二 短期大学、高等専門学校を卒業した者

三 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第十条に規定する者に限る。）

四 国立養護教諭養成所を卒業した者

五 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第七条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成所学校の課程を修了又は卒業した者

六 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

七 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（第十条に規定するものに限る。）

2 本学への編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考のうえ学長がこれを許可する

ことができる。

- 3 前二項の規定により入学を許可された者の在学すべき年数については、教授会の議を経て学部長が決する。
- 4 第一項及び第二項により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位の取り扱いについては、別に定める。

第十一条 本学に入学を志願する者（以下「入学志願者」という。）は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

第十二条 入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

第十三条 前条の選考の結果に基づき合格の判定を受けた者は、所定の期日までに在学誓書、その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金、授業料等を納入しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

第十四条 削除

第三節 教育課程及び履修方法

第十五条 授業科目を前期課程科目と後期課程科目に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。

- 2 全学共通科目は、外国語科目、情報処理科目、導入科目、教養科目、共通専門科目、社会人形成科目、総合科目及び体育実技科目に分ける。
- 3 第一項のほか、教職に関する科目、図書館に関する科目、司書教諭に関する科目及び博物館に関する科目を文学部に、社会調査士に関する科目を観光コミュニティ学部開設する。
- 4 第一項のほか、外国人留学生に関する科目を開設する。

第十六条 授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目とに分ける。

第十七条 全学共通科目の種類及び単位数は、別表第1のとおりとする。

- 2 外国人留学生に関する科目の種類及び単位数は、別表第2のとおりとする。

第十八条 各学部における卒業に要する単位数（以下「卒業単位数」という。）は、全学共通科目、学部専門科目合わせて124単位とする。

- 2 各学部において前期課程から後期課程に進級する際に必要な修得単位数は（以下「進級要件」という。）、62単位（全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位）とする。
- 3 各学部における全学共通科目の修得単位数は58単位（前期課程42単位及び後期課程16単位）とし、前期課程については、外国語科目16単位、情報処理科目2単位、導入科目2単位、教養科目10単位及び社会人形成科目3単位を、後期課程については、教養科目4単位及び社会人形成科目1単位を含まなければならない。
- 4 各学部における学部専門科目の修得単位数は66単位（前期課程20単位及び後期課程46単位）とする。

第十八条の二 削除

第十九条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法により、次の基準により計算するものとする。

- 一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- 二 演習（外国語科目及び講読を含む。）については、30時間の授業をもって1単位とする。
- 三 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文及び卒業研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適当と認め、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

第二十条 授業科目は、15週又は30週の授業が終結したとき、その成績を評価するために試験又は小論文を課す。評価は100点を満点とし、60点をもって合格とし、単位を与える。ただし、授業時数の3分の2以上出席しなければならない。

- 2 前項でいう週数の規定は、前条の趣旨のもとで、これを変更することができる。

第二十一条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が別に定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の

履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第二十二條 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第一項及び第二項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第二十三條 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第一項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第二十一条第一項及び第二項並びに前条第一項により本学において修得したものとみなす単位数を合わせて60単位を超えないものとする。

第四節 休学、転学、転部、留学、退学、除籍及び再入学

第二十四條 疾病、海外における修学、その他学長が認める特別の事由により3ヶ月以上修学をしない者で、かつ休学を希望する者は、保証人連署の上、所定の期日までに学長に願い出て、1学期を単位として、休学することができる。

- 2 健康診断の結果に基づき疾病の療養にかかる期間が3ヶ月以上に及ぶと校医が判断した者については、学長は、休学を命ずることができる。
- 3 休学期間は、1年を超えることができない。なお、休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 4 休学事由が止んだときは、休学解除願を提出し、学長の許可を得なければならない。
- 5 休学期間は、第八条の在学期間には算入しない。

第二十五條 転学を希望する者は、転学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

第二十六條 転部を希望する者は、転部願を提出し、学長の許可を得なければならない。

第二十七條 外国の大学に留学しようとする者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第八条の在学期間に含めることができる。
- 3 留学に関する規程は、別に定める。

第二十八條 退学しようとする者は、所定の退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

第二十九條 次の各号の一に該当する者は、大学評議会の議を経て、学長が除籍する。

- 一 授業料の納入を怠り、督促しても納入しない者
- 二 第八条に定める在学年限を超えた者

第三十條 再入学を希望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当学年次に入学を許可することがある。

- 2 再入学に関する規程は、別に定める。

第五節 卒業及び学位記

第三十一條 本学を卒業するためには、4年以上在学し、第十八条に定める卒業単位数を修得しなければならない。

- 2 前項に関わらず、第十条の二第一項及び第二項により入学を許可された者は、同条第三項により定められた在学すべき年数以上在学し、第十八条に定める卒業単位数を修得しなければならない。

第三十二條 前条に定める要件を満たした者には、卒業を認定し、学士の学位を授与する。

- 2 学位に関し必要な事項は、別に定める。

第六節 賞 罰

第三十三条 学業優秀、学生生活の模範となると認められた者は、これを表彰することがある。

第三十四条 性行不良、学業怠慢、その他学生の本分に反すると認められた者は、退学、停学又は訓告に処する。ただし、退学は次の各号のいずれか一又はそれ以上にわたる者についてのみ行う。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - 二 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者
 - 三 正当な理由がなく出席の常でない者
 - 四 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反したと認められる者
- 2 前項の、学生に対する退学、停学及び訓告の処分について、学長はその手続きを別に定める。
 - 3 本条に定める停学期間は、第八条の在学期間に算入する。ただし、3ヶ月以上の停学期間は、修業年限に含めない。

第七節 修学支援・厚生施設

第三十五条 学生の修学支援、健康の維持と増進を目的とし、学生生活の全般的な質の向上をはかるために、学生サポートセンターを置く。

- 2 学生サポートセンターに関し必要な事項は、別に定める。

第八節 科目等履修生、特別聴講学生、研究生、委託学生及び外国人留学生

第三十六条 本学の学生以外の者で、第十条に定める資格を有する者が、1又は複数の授業科目の履修を希望する場合は、正規の学生の学修に支障のない場合に限り、科目等履修生としてこれを許可することがある。

- 2 科目等履修生として履修した授業科目については、第二十条の定めるところにより所定の単位を与えることができる。
- 3 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

第三十七条 他の大学又は短期大学の学生で、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする者は、特別聴講学生として履修を許可することがある。

- 2 前項の規定は、大学以外の教育施設等に在学する者で、当該施設等との協議に基づき、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする場合にも準用する。
- 3 第一項の規定は、本学との間に相互交流に関する協定を締結した外国の大学の学生で、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする場合にも準用する。
- 4 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

第三十八条 本学に研究生制度を設ける。

- 2 研究生に関する規程は、別に定める。

第三十九条 他の機関又は団体等から学生の委託を受けることがある。

- 2 委託学生に関する規程は、別に定める。

第四十条 外国人で第十条に定める資格を有する者を、外国人留学生として受け入れることがある。

- 2 外国人留学生に関する規程は、別に定める。

第九節 入学検定料、入学金、授業料及びその他の費用

第四十一条 本学の入学検定料、入学金及び授業料の金額は、次のとおりとする。

入学検定料	35,000円
入 学 金	200,000円
授業料(年額)	742,000円

なお、授業料に関しては、2年次からは学年ごとに2万円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。

- 2 跡見学園女子大学短期大学部からの編入者は、入学金の半額を免除する。

- 3 再入学者は入学金を免除する。
- 4 施設設備費、実習費その他教育上必要な費用は、別に徴収する。

第四十二条 授業料の納入期は次のとおりとする。

春学期 371,000円 納期 4月中

秋学期 371,000円 納期 10月中

第四十三条 休学期間中の授業料及び施設設備費は免除とし、在籍料として1学期あたり5,000円を徴収する。

第四十四条 学期の途中で退学する者の授業料は、当該期分の額を徴収する。

- 2 学期の途中で退学する者の施設設備費の徴収は前項の規定を準用する。

- 3 停学期間中の授業料は徴収する。

第四十五条 学年の途中で卒業する者の授業料は、卒業する見込みの期末までの額を徴収する。

- 2 学年の途中で卒業する者の施設設備費の徴収は前項の規定を準用する。

第四十五条の二 転部及び転科の選考料は次のとおりとする。

選考料 5,000円

第四十六条 再入学の選考料は次のとおりとする。

選考料 5,000円

第四十七条 科目等履修生の登録料及び履修料は次のとおりとする。

科目等履修登録料（1学期あたり） 7,500円

科目等履修料（1単位あたり） 1万円

- 2 本学卒業生は、科目等履修料の半額を免除する。

第四十八条 研究生の選考料及び登録料は次のとおりとする。

選考料 5,000円

研究生登録料（年額） 15,000円

第十節 公開講座

第四十九条 本学に公開講座を設けることができる。

第三章 文学部規則

第五十条 文学部は、人間に関する豊かな学識や技能を備え、自主的に社会の形成に携わることのできる人材の養成を目的とする。

第五十条の二 文学部に、人文学科、現代文化表現学科及びコミュニケーション文化学科を置く。

第五十条の三 文学部に置く学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を次のように定める。

- 一 人文学科は、豊かな感性と論理的な思考力を備え、人間を総合的に深く洞察し、状況を的確に判断し、自らの思考や思想を明確に表現できる人材の養成を目的とする。
- 二 現代文化表現学科は、文化表現に関する幅広い教養と実践的な知識を備え、現代社会における文化創造の発展に寄与することのできる人材の養成を目的とする。
- 三 コミュニケーション文化学科は、日本語をはじめとするコミュニケーション手段を高度に運用する能力を備え、多様な文化を理解し効果的にコミュニケーションを実践できる人材の養成を目的とする。

第五十一条 文学部各学科の入学定員及び収容定員は次表のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
文 学 部	人 文 学 科	160名	640名
	現代文化表現学科	120名	480名
	コミュニケーション文化学科	110名	440名
合 計		390名	1560名

第五十二条 文学部専門科目の種類及び単位数は、文学部共通専門科目については別表第3、人文学科については別表第4、現代文化表現学科については別表第5、コミュニケーション文化学科については別表第6のとおりとする。

第五十三条 文学部人文学科に教職に関する科目を、文学部に図書館に関する科目、司書教諭に関する科目及び博物館に関する科目を開設する。

- 2 教職に関する科目の種類及び単位数は、別表第8のとおりとする。
- 3 図書館に関する科目の種類及び単位数は、別表第9のとおりとする。
- 4 司書教諭に関する科目の種類及び単位数は、別表第10のとおりとする。
- 5 博物館に関する科目の種類及び単位数は、別表第11のとおりとする。

第五十四条 第十八条第四項に規定する文学部各学科における学部専門科目の修得は、文学部共通専門科目、人文学科専門科目、現代文化表現学科専門科目及びコミュニケーション文化学科専門科目から行うものとし、その修得単位数のうちには、学生が所属する学科の専門科目を、前期課程については12単位、後期課程については32単位含まなければならない。

- 2 前項に定める学科の専門科目として含むべきものの修得方法は、人文学科については別表第4備考一及び二、現代文化表現学科については別表第5備考一及び二、コミュニケーション文化学科については別表第6備考一及び二に定めるところによる。
- 3 第一項に定める文学部各学科における学部専門科目の修得には、他学部専門科目を、前期課程については4単位、後期課程については8単位まで含めることができる。
- 4 前期課程の授業科目の単位を後期課程の単位とすることはできない。ただし、人文学科においては別表第4備考三に定めるところによる。

第五十五条 文学部人文学科において取得できる教育職員免許状の種類は、次表のとおりとする。

学 科 名	教 科 名	免許状の種類
人文学科	国 語	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状
	書 道	高等学校教諭1種免許状
	美 術	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状

第五十六条 転科を希望する者は、転科願を提出し、学部長の許可を得なければならない。

第四章 マネジメント学部規則

第五十七条 マネジメント学部は、現代社会における新しいマネジメントの学識や技能を備え、組織・事業運営の基幹分野で意思決定できる人材の養成を目的とする。

第五十七条の二 マネジメント学部にマネジメント学科及び生活環境マネジメント学科を置く。

第五十七条の三 マネジメント学部に置く学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を次のように定める。

- 一 マネジメント学科は、企業、公共、文化の幅広い領域でマネジメントを担う専門的な知識と技能を

備えた人材の養成を目的とする。

二 生活環境マネジメント学科は、生活環境を健全に維持管理し、地域や国際社会における環境維持活動を担う専門的な知識と技能を備えた人材の養成を目的とする。

第五十八条 マネジメント学部各学科の入学定員及び収容定員は、次表のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
マネジメント学部	マネジメント学科	180名	720名
	生活環境マネジメント学科	80名	320名
合 計		260名	1040名

第五十九条 マネジメント学部専門科目の種類及び単位数は、マネジメント学部共通専門科目については別表第12、マネジメント学部学科については別表第13、生活環境マネジメント学部学科については別表第14のとおりとする。

第六十条 第十八条第四項に規定するマネジメント学部各学科における学部専門科目の修得は、マネジメント学部共通専門科目、マネジメント学部専門科目及び生活環境マネジメント学部専門科目から行うものとし、その修得単位数のうちには、学生が所属する学科の専門科目を、前期課程については12単位、後期課程については32単位含まなければならない。

2 前項に定める学科の専門科目として含むべきものの修得方法は、マネジメント学部については別表第13備考一及び二、生活環境マネジメント学部については別表第14備考一及び二に定めるところによる。

3 第一項に定めるマネジメント学部各学科における学部専門科目の修得には、他学部専門科目を、前期課程については4単位、後期課程については8単位まで含めることができる。

4 前期課程の授業科目の単位を後期課程の単位とすることはできない。ただし、後期課程の学生として修得した前期課程の基幹科目の単位を6単位まで後期課程に必要な単位として含めることができる。

第六十一条 転科を希望する者は、転科願を提出し、学部長の許可を得なければならない。

第五章 観光コミュニティ学部規則

第六十二条 観光コミュニティ学部は、観光とコミュニティに関する新しいデザインの学識や技能を備え、コミュニティの抱えるさまざまな課題を解決し、活性化に貢献できる人材の養成を目的とする。

第六十三条 観光コミュニティ学部に観光デザイン学科及びコミュニティデザイン学科を置く。

第六十四条 観光コミュニティ学部に置く学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を次のように定める。

一 観光デザイン学科は、観光に関する専門的な知識と実践的な技能を備え、コミュニティの歴史、文化、景観等に依拠した自律的観光を具体的に構想する観光デザイン能力を有する人材の養成を目的とする。

二 コミュニティデザイン学科は、コミュニティに関する専門的な知識と実践的な技能を備え、新しいコミュニティのあり方を提案するコミュニティデザイン能力を有する人材の養成を目的とする。

第六十五条 観光コミュニティ学部各学科の入学定員及び収容定員は、次表のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科	120名	480名
	コミュニティデザイン学科	80名	320名
合 計		200名	800名

第六十六条 観光コミュニティ学部専門科目の種類及び単位数は、観光コミュニティ学部共通専門科目に

については別表第15、観光デザイン学科については別表第16、コミュニティデザイン学科については別表第17のとおりとする。

第六十七条 観光コミュニティ学部に、社会調査士に関する科目を開設する。社会調査士に関する科目の種類及び単位数は、別表第18のとおりとする。

第六十八条 第十八条第四項に規定する観光コミュニティ学部各学科における学部専門科目の修得は、観光コミュニティ学部共通専門科目、観光デザイン学科専門科目及びコミュニティデザイン学科専門科目から行うものとし、その修得単位数のうちには、学生が所属する学科の専門科目を、前期課程については12単位、後期課程については32単位含まなければならない。

- 2 前項に定める学科の専門科目として含むべきものの修得方法は、観光デザイン学科については別表第16備考一及び二、コミュニティデザイン学科については別表第17備考一及び二に定めるところによる。
- 3 第一項に定める観光コミュニティ学部各学科における学部専門科目の修得には、他学部専門科目を、前期課程については4単位、後期課程については8単位まで含めることができる。
- 4 前期課程の授業科目の単位を後期課程の単位とすることはできない。ただし、後期課程の学生として修得した前期課程の基幹科目の単位を6単位まで後期課程に必要な単位として含めることができる。

第六十九条 転科を希望する者は、転科願を提出し、学部長の許可を得なければならない。

第六章 心理学部規則

第七十条 心理学部は、人の心についての広く深い科学的な知見と技術をもとに、人々の健康的な人生に寄与し、人間関係の理解とスキルを活かした豊かな組織と社会づくりに貢献する人材の養成を目的とする。

第七十一条 心理学部に、臨床心理学科を置く。

第七十二条 心理学部に置く学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を次のように定める。

- 一 臨床心理学科は、臨床心理学を中心とする広く深い学識を備え、人々の心身の健康の保持増進に寄与し、現代社会の抱える様々な心の問題や課題の解決に貢献できる人材の養成を目的とする。

第七十三条 心理学部臨床心理学科の入学定員及び収容定員は次表のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
心理学部	臨床心理学科	120名	480名
合 計		120名	480名

第七十四条 心理学部専門科目の種類及び単位数は、心理学部臨床心理学科については別表第19のとおりとする。

第七十五条 第十八条第四項に規定する心理学部における学部専門科目の修得は、臨床心理学科専門科目から行うものとし、その修得単位数のうちには、学生が所属する学科の専門科目を、前期課程については8単位、後期課程については32単位含まなければならない。

- 2 前項に定める学科の専門科目として含むべきものの修得方法は、臨床心理学科については別表第19備考一及び二に定めるところによる。
- 3 第一項に定める心理学部における学部専門科目の修得には、他学部専門科目を、前期課程については4単位、後期課程については8単位まで含めることができる。
- 4 前期課程の授業科目の単位を後期課程の単位とすることはできない。

第七章 雑 則

第七十六条 学長は、学則の改正について大学評議会の議を経て、理事長に提案する。

附 則

- 1 この学則は、昭和40年4月1日から実施する。
 - 2 この学則は、昭和41年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和40年度入学者については従前の規定を適用する。
 - 3 この学則は、昭和42年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和42年度入学者以外の者には、それぞれ入学年度の規定を適用する。
 - 4 この学則は、昭和43年4月1日改正実施する。
 - 5 この学則は、昭和45年4月1日改正実施する。
 - 6 この学則は、昭和46年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和46年度入学者以外の者には、それぞれ入学年度の規定を適用する。
 - 7 この学則は、昭和48年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和48年度入学者以外の者には、それぞれ入学年度の規定を適用する。
 - 8 この学則は、昭和49年4月1日改正実施する。
 - 9 この学則は、昭和50年4月1日改正実施する。
 - 10 この学則は、昭和51年4月1日より施行し、昭和51年度入学者から適用する。
 - 11 この学則は、昭和52年4月1日改正実施する。ただし、昭和52年度入学者以外の者には従前の学則を適用する。
 - 12 この学則は、昭和53年4月1日改正実施する。ただし、50・51・52年度文化学科入学生の必修科目の履修に関しては各入学年度の授業科目を適用する。また、50・51年度入学生に対する各学科選択科目の履修方法に関しては、当学則の各学科共通選択科目（別表Ⅱ～5）の領域より履修することができ、各授業科目の単位数は3単位とする。
 - 13 この学則は、昭和54年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は昭和54年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。
 - 14 この学則は、昭和55年4月1日改正実施する。ただし、第二十条の規定は昭和55年4月1日現在の在学者より適用し、第三十三条の規定は昭和55年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。
 - 15 この学則は、昭和56年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は、昭和56年度入学者以外の者にはそれぞれの入学年度の規定を適用する。
 - 16 この学則は、昭和57年4月1日改正実施する。ただし、昭和57年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - 17 この学則は、昭和58年4月1日改正実施する。ただし、昭和58年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - 18 この学則は、昭和59年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は昭和59年度入学者以外の者にはそれぞれの入学年度の規定を適用する。
 - 19 この学則は、昭和60年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は、昭和60年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - 20 この学則は、昭和61年4月1日改正実施する。ただし、昭和61年度入学者以外の者には、旧学則を適用する。
 - 21 この学則は、昭和62年4月1日改正実施する。ただし、昭和62年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - 22 この学則は、昭和63年4月1日改正実施する。ただし、昭和63年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - 23 この学則は、平成元年4月1日改正実施する。ただし、昭和63年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - 24 この学則は、平成2年4月1日改正実施する。ただし、平成元年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - 25 この学則は、平成3年4月1日改正実施する。
- ただし、

- 一 第三条の規定にかかわらず入学定員は、平成3年度から平成11年度に至るまで、次の表によるものとする。

	入学定員
国文学科	180名
美学美術史学科	165名
英文学科	180名
文化学科	165名

- 二 第十八条の二の規定は、平成2年度入学者より適用する。
- 三 第三十三条の規定は、平成2年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。
- 26 この学則は、平成4年4月1日改正実施する。ただし、
- 一 第二十六条の規定は、平成3年9月1日より適用する。
- 二 第三十三条の規定は、平成4年度入学者以外の入学者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。
- 27 本学則は、平成5年4月1日改正実施する。ただし、平成4年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- 28 本学則は、平成6年4月1日改正実施する。ただし、平成5年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- 29 本学則は、平成7年4月1日改正実施する。ただし、
- (一) 平成6年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- (二) 第十八条第三項の規定は、平成7年度編入学者より適用する。
- 30 本学則は、平成8年4月1日改正実施する。ただし、平成7年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- 31 本学則は、平成9年4月1日改正実施する。
- ただし、
- (一) 平成8年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- (二) ただし、博物館法施行規則の改正に伴い、第十七条第六項の「別表VI」博物館に関する科目を平成9年度在学生及び科目等履修生より適用する。
- 32 本学則は、平成10年4月1日改正実施する。
- ただし、
- (一) 平成9年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- (二) なお前項にかかわらず、図書館法施行規則の改正に伴い、第十七条第四項の「別表IV」図書館に関する科目、及び、学校図書館司書教諭講習規程の改正に伴い、第十七条第五項の「別表V」司書教諭に関する科目は、平成10年度在学生及び科目等履修生に適用する。
- 33 本学則は、平成11年4月1日改正実施する。
- ただし、
- 一 平成10年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- 二 前項にかかわらず、学校図書館司書教諭講習規程の改正に伴い、第十七条第五項の「別表V」司書教諭に関する科目は平成11年度在学生及び科目等履修生から適用する。
- 三 前々項にかかわらず、第四十一条第一項のただし書き以下、第四十三条第二項、第四十四条、第四十五条の規定は、平成11年度在学生から適用する。
- 34 本学則は、平成12年4月1日改正実施する。
- ただし、
- 一 第三条の規定にかかわらず入学定員は、平成12年度から平成16年度に至るまで、次の表によるものとする。

平成12年度

	入学定員
国文学科	172名
美学美術史学科	158名
英文学科	172名
文化学科	159名

平成13年度

	入学定員
国文学科	164名
美学美術史学科	152名
英文学科	164名
文化学科	152名

平成14年度

	入学定員
国文学科	156名
美学美術史学科	145名
英文学科	156名
文化学科	146名

平成15年度

	入学定員
国文学科	148名
美学美術史学科	139名
英文学科	148名
文化学科	139名

平成16年度

	入学定員
国文学科	140名
美学美術史学科	132名
英文学科	140名
文化学科	133名

二 平成11年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

35 本学則は、平成13年4月1日改正実施する。ただし、

一 平成12年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

二 前項にかかわらず、教育職員免許法施行規則の改正に伴い、第十七条第二項の「別表Ⅱ」学部専門科目及び「別表Ⅵ」博物館に関する科目は、平成13年度在学学生及び科目等履修生から適用する。

三 前々項にかかわらず、第二十一条、第二十二条及び第二十三条の規定は、平成13年度在学学生から適用する。

- 36 本学則は、平成14年4月1日改正実施する。ただし、
- (一) 平成13年度以前の入学学生には、それぞれの入学年度の学則を適用する。ただし、第四条乃至第七条、第二十九条及び第五十条の規定は平成14年度在学学生から適用する。
 - (二) 第四十九条の三の規定にかかわらず、文学部人文学科の入学定員は、平成14年度から平成15年度に至るまで、次の表によるものとする。

平成14年度		入学定員
	人文学科	458名

平成15年度		入学定員
	人文学科	429名

- 37 本学則は、平成15年4月1日改正実施する。ただし、
- (一) 平成14年度以前の入学学生には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
 - (二) 前項にかかわらず、第二十四条の規定は、平成15年度在学学生から適用する。
- 38 本学則は、平成16年4月1日改正実施する。ただし、平成15年度以前の入学学生には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- (一) 前項にかかわらず、第二十一条乃至第二十三条及び第四十九条の五第三項の「別表V」図書館に関する科目並びに第五項の「別表VII」博物館に関する科目は、平成16年度在学学生及び科目等履修生から適用する。
- 39 本学則は、平成17年4月1日改正実施する。ただし、平成16年度以前の入学学生にはそれぞれの入学年度の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成18年4月1日改正実施する。ただし、平成17年度以前の入学学生には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

- 2 前項にかかわらず、第三十四条第二項及び第四十五条の二の規定は、平成18年度在学学生から適用する。

附 則

本学則は、平成19年4月1日改正実施する。

附 則

本学則は、平成20年4月1日改正実施する。

附 則

本学則は、平成20年4月1日改正実施する。ただし、平成19年度以前の入学学生には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

- 2 前項にかかわらず、第一条第二項、第五十条乃至第五十条の三及び第五十七条乃至第五十七条の三の規定は、平成18年度入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成21年4月1日改正実施する。

附 則

本学則は、平成22年4月1日改正実施する。ただし、平成21年度以前の入学学生には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成24年4月1日改正実施する。ただし、平成23年度以前の入学学生には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

- 2 前項にかかわらず、別表第3、別表第9及び別表第11は、平成24年度在学学生に適用する。

附 則

本学則は、平成27年4月1日改正実施する。ただし、平成26年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第五条乃至第六条の二及び第三十四条の規定は、平成27年度在學生に適用する。

附 則

本学則は、平成29年4月1日改正実施する。ただし、平成28年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第五十三条第2項、第六十六条に規定する別表17及び第六十七条の規定は、平成27年度入學生から適用する。

附 則

本学則は、平成31年4月1日改正実施する。ただし、平成30年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第三十五条の規定は、平成31年度在學生から適用する。

附 則

本学則は、平成31年4月1日改正実施する。ただし、平成30年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第四条、第七条第4項乃至第5項及び第二十条第2項の規定は、平成31年度在學生から適用する。

附 則

本学則は、平成31年4月1日改正実施する。ただし、平成30年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第四十三条の規定は、平成31年度在學生から適用する。

別表第1 全学共通科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
外 国 語 科 目	英語A I a	2		○	
	英語A I b	2		○	
	英語A II a	2		○	
	英語A II b	2		○	
	英語A III a	2		○	
	英語A III b	2		○	
	英語A IV a	2		○	
	英語A IV b	2		○	
	英語B I a	2		○	
	英語B I b	2		○	
	英語B II a	2		○	
	英語B II b	2		○	
	英語B III a	2		○	
	英語B III b	2		○	
	英語B IV a	2		○	
	英語B IV b	2		○	
	英語 I	2		○	
	英語 II	2		○	
	英語 III	2		○	
	英語 IV	2		○	
	フランス語 I	2		○	
	フランス語 II	2		○	
	フランス語 III	2		○	
	フランス語 IV	2		○	
	ドイツ語 I	2		○	
	ドイツ語 II	2		○	
	ドイツ語 III	2		○	
	ドイツ語 IV	2		○	
	中国語 I	2		○	
	中国語 II	2		○	
	中国語 III	2		○	
	中国語 IV	2		○	
	朝鮮・韓国語 I	2		○	
	朝鮮・韓国語 II	2		○	
	朝鮮・韓国語 III	2		○	
	朝鮮・韓国語 IV	2		○	
	英語マルチメディアレッスン	1		○	
	英語再入門A	1		○	
	英語再入門B	1		○	
	英語リーディング	1		○	
	英語ライティング	1		○	
	フランス語リーディング・ライティング	1		○	
ドイツ語リーディング・ライティング	1		○		
中国語リーディング・ライティング	1		○		
朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	1		○		

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
情報処理科目	情報リテラシーⅠ	1	○		
	情報リテラシーⅡ	1	○		
	画像処理基礎演習	1		○	
	Web制作	1		○	
	マルチメディア基礎演習（映像制作）	1		○	
	マルチメディア基礎演習（音楽制作）	1		○	
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1		○	
導入科目	プロゼミⅠ	1	○		
	プロゼミⅡ	1	○		
教養科目	文芸理論	2		○	
	歴史理論	2		○	
	言語科学	2		○	
	記号論	2		○	
	日本現代史	2		○	
	アジア現代史	2		○	
	ヨーロッパ現代史	2		○	
	日本文学	2		○	
	中国文学	2		○	
	英文学	2		○	
	ドイツ文学	2		○	
	フランス文学	2		○	
	ロシア文学	2		○	
	西洋古典文学	2		○	
	百人一首	2		○	
	異文化理解	2		○	
	地理学	2		○	
	社会学	2		○	
	国際関係論	2		○	
	ボランティア論	2		○	
	法学	2		○	
	日本国憲法	2		○	
	政治学	2		○	
	経済学	2		○	
	家政学	2		○	
	哲学	2		○	
	倫理学	2		○	
	論理学	2		○	
	認識論	2		○	
	心理学	2		○	
教育学	2		○		
保育学	2		○		
統計学	2		○		
科学史	2		○		
情報科学	2		○		

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
教 養 科 目	数学	2		○	
	物理学	2		○	
	地球科学	2		○	
	生物学	2		○	
	化学	2		○	
	自然保護論	2		○	
	生理学	2		○	
	健康科学	2		○	
共 通 専 門 科 目	環境心理学	2		○	
	コミュニティ心理学	2		○	
	生涯学習概論	2		○	
	教育社会学	2		○	
	人間関係論	2		○	
	社会調査法	2		○	
	フィールドワーク方法論	2		○	
	現代ジャーナリズム論	2		○	
	イベント論	2		○	
	社 会 人 形 成 科 目	花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン	2	○	
パーソナリティを考える		2		○	
「自分らしさ」を探る		2		○	
対人関係のスキル		2		○	
ストレス・マネジメント		2		○	
職業人のルールとモラル		2		○	
産業と職業		2		○	
マスコミとの付き合い方		2		○	
ソーシャルマナー		1	○		
ビジネス文章表現演習		1		○	
ディベート演習		1		○	
自己表現演習		1		○	
プレゼンテーション演習		1		○	
キャリア基礎演習（グループワーク）		1		○	
キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅰ		1		○	
キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅱ		1		○	
キャリア基礎演習（公務員・法律）Ⅰ		1		○	
キャリア基礎演習（公務員・法律）Ⅱ		1		○	
キャリア基礎演習（公務員・政治経済）Ⅰ		1		○	
キャリア基礎演習（公務員・政治経済）Ⅱ		1		○	
秘書技能演習		1		○	
簿記会計基礎演習Ⅰ		2		○	
簿記会計基礎演習Ⅱ		2		○	
TOEIC特別演習Ⅰ		1		○	
ボランティア実践A		2		○	

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
体 育 実 技 科 目	体育実技A	1		○	
	体育実技B	1		○	
	体育実技C	1		○	
	体育実技D	1		○	
	体育実技E (水泳)	1		○	
	体育実技F (水泳)	1		○	
	体育実技G	1		○	
	体育実技H	1		○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
外 国 語 科 目	テーマで学ぶ英語（文化）Ⅰ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（文化）Ⅱ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅰ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅱ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（観光）Ⅰ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（観光）Ⅱ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（社会問題）Ⅰ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（社会問題）Ⅱ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（メディア）Ⅰ	1		○	
	テーマで学ぶ英語（メディア）Ⅱ	1		○	
	フランス語上級Ⅰ	1		○	
	フランス語上級Ⅱ	1		○	
	ドイツ語上級Ⅰ	1		○	
	ドイツ語上級Ⅱ	1		○	
	中国語上級Ⅰ	1		○	
	中国語上級Ⅱ	1		○	
	朝鮮・韓国語上級Ⅰ	1		○	
	朝鮮・韓国語上級Ⅱ	1		○	
	情 報 処 理 科 目	コンピュータ・グラフィックス	1		○
デジタル・アニメーション		1		○	
デジタル編集		1		○	
アプリケーション・プログラミング		1		○	
Microsoft Office Specialist 演習		1		○	
教 養 科 目	日本宗教論	2		○	
	聖書学	2		○	
	ヨーロッパ中世文学	2		○	
	ミステリー文学	2		○	
	児童文学	2		○	
	ギリシア語とギリシア文化	2		○	
	ラテン語とローマ文化	2		○	
	イタリア語とイタリア文化	2		○	
	スペイン語とスペイン文化	2		○	
	ロシア語とロシア文化	2		○	
	ファッション論	2		○	
	ジェンダー論	2		○	
	刑事法	2		○	
	民事法	2		○	
	労働法	2		○	
	国際法	2		○	
	国際社会論	2		○	
	国際経済	2		○	
	深層心理学	2		○	
精神病理学	2		○		

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
教養科目	天文学	2		○	
	建築環境論	2		○	
	水産学	2		○	
	河川海洋学	2		○	
	農林科学	2		○	
	公衆衛生論	2		○	
	ネットワーク論	2		○	
共通専門科目	家族心理学	2		○	
	マーケティング心理学	2		○	
	教育学概論	2		○	
	近代家族論	2		○	
	男性学	2		○	
	マーケティングコミュニケーション	2		○	
	メディア環境論	2		○	
	プロダクトデザイン論	2		○	
社会人形成科目	日本語演習	1		○	
	キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅰ	1		○	
	キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅱ	1		○	
	キャリア演習（公務員・法律）Ⅰ	1		○	
	キャリア演習（公務員・法律）Ⅱ	1		○	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅰ	1		○	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅱ	1		○	
	簿記会計演習Ⅰ	2		○	
	簿記会計演習Ⅱ	2		○	
	ITパスポート演習Ⅰ	1		○	
	ITパスポート演習Ⅱ	1		○	
	TOEIC特別演習Ⅱ	1		○	
	イベント検定演習	1		○	
	ビジネス実務法務検定演習	1		○	
	色彩検定演習	1		○	
ボランティア実践B	2		○		
総合科目	総合科目（地域文化）	2		○	
	総合科目（地域社会）	2		○	
	総合科目（日本とアジア）	2		○	
	総合科目（国際政治）	2		○	
	総合科目（国際経済）	2		○	
	総合科目（現代社会）	2		○	
	総合科目（観光）	2		○	
	総合科目（芸術と社会）	2		○	
	総合科目（人間と自然）	2		○	
	総合科目（生活と環境）	2		○	
	総合科目（キャリア）	2		○	

別表第2 外国人留学生に関する科目

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
日本語科目	日本語ⅠA	2		○	
	日本語ⅠB	2		○	
	日本語ⅡA	2		○	
	日本語ⅡB	2		○	
	日本語ⅢA	2		○	
	日本語ⅢB	2		○	
日本事情科目	日本事情A	2		○	
	日本事情B	2		○	
	日本事情C	2		○	
	日本事情D	2		○	

別表第3 文学部共通専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
講 義	英語実用文法	2		○	
	レトリック概論	2		○	
	言語学概論	2		○	
	芸術論	2		○	
	造形論	2		○	
	色彩論	2		○	
	装いの心理学	2		○	
	化粧の心理学	2		○	
	図書館概論	2		○	
実 習	芸術芸能実習（茶道）	1		○	
	芸術芸能実習（華道）	1		○	
	芸術芸能実習（香道）	1		○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
講 義	演劇論	2		○	
	言語哲学	2		○	
	朗読法	2		○	
	コミュニケーション心理学	2		○	
	情報文化史	2		○	
	色彩象徴論	2		○	
	図書・図書館史	2		○	
演 習	情報サービス演習A	1		○	

別表第4 文学部人文学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
総 論	日本文学概論	2		○	
	日本文学史	2		○	
	中国文学概論	2		○	
	書道史	2		○	
	書芸術の鑑賞	2		○	
	国語学概論	2		○	
	創作論	2		○	
	物語論	2		○	
	シナリオ論	2		○	
	日本史概説A	2		○	
	日本史概説B (近代)	2		○	
	東洋史概説	2		○	
	西洋史概説A	2		○	
	西洋史概説B (近代)	2		○	
	日本美術史 (鑑賞を含む) A	2		○	
	日本美術史 (鑑賞を含む) B	2		○	
	西洋美術史 (鑑賞を含む) A	2		○	
	西洋美術史 (鑑賞を含む) B	2		○	
	博物館概論	2		○	
	文化人類学	2		○	
	民俗学	2		○	
	考古学概説	2		○	
	哲学概論	2		○	
	美学概論	2		○	
	国際関係学	2		○	
	日本外交史	2		○	
	比較文化概論	2		○	
	英米文学概論	2		○	
研 究 入 門	人文学研究入門A	2		○	
	人文学研究入門B	2		○	
	人文学研究入門C	2		○	
	人文学研究入門D	2		○	
	人文学研究入門E	2		○	
	人文学研究入門F	2		○	
	人文学研究入門G	2		○	
	人文学研究入門H	2		○	
	人文学研究入門I	2		○	
	人文学研究入門J	2		○	
	人文学研究入門K	2		○	
	人文学研究入門L	2		○	

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
基 礎 実 習	書道基礎実習 A I (入門)	1		○	
	書道基礎実習 A II (応用)	1		○	
	書道基礎実習 B (楷書)	1		○	
	書道基礎実習 C (行書)	1		○	
	絵画基礎実習 I (入門)	1		○	
	絵画基礎実習 II (応用)	1		○	
	デザイン基礎実習 I (入門)	1		○	
	デザイン基礎実習 II (応用)	1		○	
	彫刻基礎実習 I (入門)	1		○	
	彫刻基礎実習 II (応用)	1		○	
	工芸基礎実習 I (入門)	1		○	
	工芸基礎実習 II (応用)	1		○	
	資格科目	教育原理	2		○
教育心理学		2		○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
	古代日本文学	2		○	
	中世日本文学	2		○	
	近世日本文学	2		○	
	近代日本文学	2		○	
	漢文学	2		○	
	書論	2		○	
	比較文学	2		○	
	国語史	2		○	
	国語音声学	2		○	
	日本語文章表現	2		○	
	テキスト分析論	2		○	
	作家と表現	2		○	
	日本の歴史と社会	2		○	
	日本文化史	2		○	
	風俗史	2		○	
	中国文化史	2		○	
	現代日本社会	2		○	
	現代アジア社会	2		○	
	ヨーロッパの歴史と社会	2		○	
	西洋文化史	2		○	
	アメリカ史	2		○	
各	イスラム史	2		○	
	現代ヨーロッパ社会	2		○	
	現代アメリカ社会	2		○	
論	東洋美術史 (鑑賞を含む)	2		○	
	近代美術史 (鑑賞を含む)	2		○	
	文化財学	2		○	
	東西美術交流	2		○	
	西洋図像学	2		○	
	女性と文化	2		○	
	文化と心理	2		○	
	文化と身体	2		○	
	伝承文化論	2		○	
	文化の翻訳	2		○	
	現代思想	2		○	
	日本思想史	2		○	
	中国哲学史	2		○	
	西洋哲学史	2		○	
	比較神話論	2		○	
	世界の宗教	2		○	
	国際文化交流	2		○	
	多文化社会と民族問題	2		○	
	地政学	2		○	
	国際連合	2		○	
	国際協力論	2		○	
	現代中東アフリカ論	2		○	

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由	
特 殊 講 義	人文学特殊講義（日本文学）A	2		○		
	人文学特殊講義（日本文学）B	2		○		
	人文学特殊講義（日本文学）C	2		○		
	人文学特殊講義（日本文学）D	2		○		
	人文学特殊講義（日本文学）E	2		○		
	人文学特殊講義（日本史）A	2		○		
	人文学特殊講義（日本史）B	2		○		
	人文学特殊講義（日本史）C	2		○		
	人文学特殊講義（西洋史）A	2		○		
	人文学特殊講義（西洋史）B	2		○		
	人文学特殊講義（西洋史）C	2		○		
	人文学特殊講義（美術史）A	2		○		
	人文学特殊講義（美術史）B	2		○		
	人文学特殊講義（美術史）C	2		○		
	人文学特殊講義（総合文化）A	2		○		
	人文学特殊講義（総合文化）B	2		○		
	人文学特殊講義（総合文化）C	2		○		
	人文学特殊講義（総合文化）D	2		○		
	人文学特殊講義（総合文化）E	2		○		
	人文学特殊講義（現代思想・社会）A	2		○		
	人文学特殊講義（現代思想・社会）B	2		○		
	人文学特殊講義（現代思想・社会）C	2		○		
	人文学特殊講義（国際教養）A	2		○		
	人文学特殊講義（国際教養）B	2		○		
	人文学特殊講義（国際教養）C	2		○		
	人文学特殊講義（国際教養）D	2		○		
	特 殊 演 習	創作ライティング演習A（物語）	1		○	
		創作ライティング演習B（シナリオ）	1		○	
創作ライティング演習C（短歌）		1		○		
創作ライティング演習D（俳句）		1		○		
創作ライティング演習E（評論・随筆）		1		○		
実 習	書道実習A（草書）	1		○		
	書道実習B（隸書）	1		○		
	書道実習C（篆書・篆刻）	1		○		
	書道実習D（仮名）	1		○		
	書道実習E（漢字仮名交じり）	1		○		
	書道実習F（実用書法）	1		○		
	絵画実習A（洋画）	1		○		
	絵画実習B（洋画）	1		○		
	絵画実習C（日本画）	1		○		
	絵画実習D（特殊表現）	1		○		
	デザイン実習A（色彩構成）	1		○		
	デザイン実習B（平面構成）	1		○		
	デザイン実習C（空間構成）	1		○		
	デザイン実習D（視覚伝達デザイン）	1		○		

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
実 習	彫刻実習A (塑像)	1		○	
	彫刻実習B (石膏)	1		○	
	彫刻実習C (テラコッタ)	1		○	
	彫刻実習D (金属造形)	1		○	
	工芸実習A (紙)	1		○	
	工芸実習B (木)	1		○	
	工芸実習C (空間演出)	1		○	
	工芸実習D (土)	1		○	
演 習	人文学演習ⅠA	1	○		
	人文学演習ⅠB	1	○		
	人文学演習ⅡA	1	○		
	人文学演習ⅡB	1	○		
卒業論文・ 卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	○		

備考

一 前期課程において含むべき学科専門科目

- 1 総論の授業科目は、8単位以上修得する。
- 2 研究入門の授業科目は、4単位修得する。

二 後期課程において含むべき学科専門科目

- 1 各論の授業科目は、16単位以上修得する。
- 2 特殊講義、特殊演習及び実習の授業科目から、10単位以上修得する。

三 後期課程の学生として修得した前期課程の総論の授業科目の単位は、6単位まで後期課程に必要な単位として含めることができる。

別表第5 文学部現代文化表現学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
総 論	文化表現基礎論	2	○		
	現代文化概論	2	○		
	ヴィジュアル・カルチャー概論	2		○	
	現代社会と文化表現	2		○	
	舞台芸術と身体表現	2		○	
	ポピュラーカルチャー概論	2		○	
	現代メディア表現論	2		○	
	デザイン文化論	2		○	
	ファッション文化論	2		○	
	現代アート論	2		○	
研 究 入 門	現代文化表現学研究入門A	2		○	
	現代文化表現学研究入門B	2		○	
	現代文化表現学研究入門C	2		○	
	現代文化表現学研究入門D	2		○	
	現代文化表現学研究入門E	2		○	
	現代文化表現学研究入門F	2		○	
	現代文化表現学研究入門G	2		○	
	現代文化表現学研究入門H	2		○	
基 礎 実 習	映像表現基礎実習	1		○	
	デジタル表現基礎実習	1		○	
	マンガ・イラスト制作基礎実習	1		○	
	ブック・デザイン基礎実習	1		○	
	アート&デザイン基礎実習	1		○	
	パフォーマンス基礎実習	1		○	
	写真表現基礎実習	1		○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
各 論	文化表現とテクノロジー	2		○	
	文化表現の倫理	2		○	
	文化創造における伝統と現代	2		○	
	女性と文化表現	2		○	
	文化社会学	2		○	
	アート・プロデュース論	2		○	
	写真論	2		○	
	現代言語表現論	2		○	
	ポピュラー音楽論	2		○	
	映画論	2		○	
	マンガ論	2		○	
	アニメーション論	2		○	

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
各 論	現代建築文化論	2		○	
	スポーツ文化論	2		○	
	コマーシャル表現論	2		○	
	デジタル表現論	2		○	
	現代日本のダンスと演劇	2		○	
	現代日本のアートと批評	2		○	
	現代日本のファッション	2		○	
	現代日本のデザイン	2		○	
特 殊 講 義	現代文化表現学特殊講義 (イメージ) A	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (イメージ) B	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (イメージ) C	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (身体) A	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (身体) B	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (身体) C	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) A	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) B	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) C	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (社会) A	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (社会) B	2		○	
	現代文化表現学特殊講義 (社会) C	2		○	
特 殊 演 習	ライティング特殊演習 (メディア) A	1		○	
	ライティング特殊演習 (メディア) B	1		○	
	ライティング特殊演習 (編集) A	1		○	
	ライティング特殊演習 (編集) B	1		○	
	ライティング特殊演習 (情報発信) A	1		○	
	ライティング特殊演習 (情報発信) B	1		○	
	ライティング特殊演習 (批評) A	1		○	
	ライティング特殊演習 (批評) B	1		○	
実 習	映像表現実習	1		○	
	デジタル表現実習	1		○	
	マンガ・イラスト制作実習	1		○	
	ブック・デザイン実習	1		○	
	アート&デザイン実習	1		○	
	パフォーマンス実習	1		○	
	写真表現実習	1		○	
演 習	現代文化表現学演習 I A	1	○		
	現代文化表現学演習 I B	1	○		
	現代文化表現学演習 II A	1	○		
	現代文化表現学演習 II B	1	○		
卒業論文・ 卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	○		

備考

- 一 前期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 総論の授業科目は、8単位以上修得する。
 - 2 研究入門の授業科目は、4単位修得する。
- 二 後期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 各論の授業科目から、16単位以上修得する。
 - 2 特殊講義の授業科目は、6単位以上修得する。
 - 3 特殊演習及び実習の授業科目から、4単位以上修得する。

別表第6 文学部コミュニケーション文化学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
総 論	コミュニケーション文化概論	2		○	
	コミュニケーションの倫理	2		○	
	言語コミュニケーション論	2		○	
	非言語コミュニケーション論	2		○	
	日本語コミュニケーション論	2		○	
	英語コミュニケーション論	2		○	
	異文化コミュニケーション論	2		○	
	多文化社会論	2		○	
	マスコミ論	2		○	
	放送文化史	2		○	
研 究 入 門	コミュニケーション文化学研究入門A	2		○	
	コミュニケーション文化学研究入門B	2		○	
	コミュニケーション文化学研究入門C	2		○	
	コミュニケーション文化学研究入門D	2		○	
	コミュニケーション文化学研究入門E	2		○	
	コミュニケーション文化学研究入門F	2		○	
基 礎 演 習	日本語コミュニケーションスキル (会話)	1	○		
	英語コミュニケーションスキル (会話)	1	○		

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
各 論	語用論	2		○	
	社会言語学	2		○	
	メディア言語論	2		○	
	言語理解論	2		○	
	聴覚コミュニケーション論	2		○	
	視覚コミュニケーション論	2		○	
	対人コミュニケーション論	2		○	
	現代コミュニケーション論	2		○	
	コミュニケーション障害論	2		○	
	シンボル表現論	2		○	
	世代別コミュニケーション論	2		○	
	ジェンダー・コミュニケーション論	2		○	
	丁寧語・敬語研究	2		○	
	国際コミュニケーション論	2		○	
	国際メディア論	2		○	
	異文化研究	2		○	
	言語社会研究（欧米）	2		○	
	言語社会研究（アジア）	2		○	
	世界若者事情	2		○	
	世界英語事情	2		○	
世界教育事情	2		○		
世界マスコミ事情	2		○		
特 殊 講 義	コミュニケーション文化学特殊講義（コミュニケーション論）	2		○	
	コミュニケーション文化学特殊講義（日本語コミュニケーション）	2		○	
	コミュニケーション文化学特殊講義（英語コミュニケーション）	2		○	
特 殊 演 習	実践日本語（文章表現）	1		○	
	実践日本語（音声表現）	1		○	
	実践日本語（発声法）	1		○	
	実践日本語（敬語）	1		○	
	実践日本語（多読）	1		○	
	実践日本語（場面別運用）	1		○	
	実践日本語（グループディスカッション）	1		○	
	実践日本語（コミュニケーション調査法）	1		○	
	実践英語（インターネット英語）	1		○	
	実践英語（アニメ・マンガ英語）	1		○	
	実践英語（コマーシャル英語）	1		○	
	実践英語（映画英語）	1		○	
	実践英語（歌詞英語）	1		○	
	実践英語（料理・ファッション英語）	1		○	
	実践英語（スポーツ英語）	1		○	
	実践英語（多読）	1		○	

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
実 習	手話	1		○	
	点字	1		○	
	アナウンス	1		○	
	インタビュー	1		○	
	ナレーション	1		○	
	プレゼンテーション	1		○	
	朗読	1		○	
	声優	1		○	
演 習	コミュニケーション文化学演習ⅠA	1	○		
	コミュニケーション文化学演習ⅠB	1	○		
	コミュニケーション文化学演習ⅡA	1	○		
	コミュニケーション文化学演習ⅡB	1	○		
卒業論文・ 卒業研究	2	○			

備考

- 一 前期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 総論の授業科目は、6単位以上修得する。
 - 2 研究入門の授業科目は、4単位修得する。
- 二 後期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 文学部共通専門科目及び各論と合わせて、18単位以上修得する。
 - 2 特殊講義の授業科目は、2単位以上修得する。
 - 3 特殊演習の授業科目から、4単位以上修得する。
 - 4 実習の授業科目は、2単位以上修得する。

別表第7 削除

別表第8 教職に関する科目

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択
教育原理	2	○	
教職論	2	○	
教育制度及び教育法規	2	○	
教育心理学	2	○	
特別支援を必要とする生徒理解	2	○	
教育課程論	2	○	
道徳教育指導論	2		○
特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法	2	○	
教育の方法及び技術	2	○	
生徒指導及び進路指導	2	○	
教育相談及びカウンセリング	2	○	
教育実習（中・高）	5		○
教育実習（高）	3		○
教職実践演習（中・高）	2	○	
国語科教育法A	2		○
国語科教育法B	2		○
書道科教育法A	2		○
書道科教育法B	2		○
美術科教育法A	2		○
美術科教育法B	2		○
国語科教材論A	2		○
国語科教材論B	2		○
美術科教材論A	2		○
美術科教材論B	2		○
図書館概論	2		○
生涯学習概論	2		○
博物館概論	2		○
博物館情報・メディア論	2		○
博物館教育論	2		○
教育学概論	2		○
学校経営と学校図書館	2		○
学習指導と学校図書館	2		○
情報メディアの活用	2		○

備考

- 一 1 「教育原理」、「教育心理学」及び「博物館概論」は、文学部人文学科専門科目として開設する。
- 2 「図書館概論」は、文学部共通専門科目として開設する。
- 3 「生涯学習概論」及び「教育学概論」は、全学共通科目として開設する。
- 4 教科に関する専門的事項の科目は、文学部共通専門科目及び人文学科専門科目として開設する。

別表第9 図書館に関する科目

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択
生涯学習概論	2	○	
図書館概論	2	○	
図書館情報技術論	2	○	
図書館制度・経営論	2	○	
児童サービス論	2	○	
図書館サービス概論	2	○	
情報サービス論	2	○	
情報サービス演習A	1	○	
情報サービス演習B	1	○	
図書館情報資源概論	2	○	
情報資源組織論	2	○	
情報資源組織演習A	1	○	
情報資源組織演習B	1	○	
図書・図書館史	2		○
図書館基礎特論	1		○
図書館サービス特論	1		○
図書館情報資源特論	1		○
図書館施設論	1		○

備考

- 一 1 「生涯学習概論」は、全学共通科目として開設する。
 2 「図書館概論」、「情報サービス演習A」及び「図書・図書館史」は、文学部共通専門科目として開設する。

別表第10 司書教諭に関する科目

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択
学校経営と学校図書館	2	○	
学校図書館メディアの構成	2	○	
学習指導と学校図書館	2	○	
読書と豊かな人間性	2	○	
情報メディアの活用	2	○	

別表第11 博物館に関する科目

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択
	生涯学習概論	2	○	
	博物館概論	2	○	
	博物館経営論	2	○	
	博物館資料論	2	○	
	博物館資料保存論	2	○	
	博物館展示論	2	○	
	博物館情報・メディア論	2	○	
	博物館教育論	2	○	
	博物館実習A	1	○	
	博物館実習B	1	○	
	博物館実習C	1	○	
文化史	日本文化史	2		○
	中国文化史	2		○
	西洋文化史	2		○
	日本の歴史と社会	2		○
美術史	日本美術史（鑑賞を含む）A	2		○
	日本美術史（鑑賞を含む）B	2		○
	西洋美術史（鑑賞を含む）A	2		○
	西洋美術史（鑑賞を含む）B	2		○
	近代美術史（鑑賞を含む）	2		○
	東洋美術史（鑑賞を含む）	2		○
	東西美術交流	2		○
	西洋図像学	2		○
民俗学	民俗学	2		○
	伝承文化論	2		○
	文化人類学	2		○
その他	考古学概説	2		○
	文化財学	2		○

備考

- 一 1 必修科目のうち、「生涯学習概論」は全学共通科目として、「博物館概論」は文学部人文学科専門科目として開設する。
- 2 選択科目は、文学部人文学科専門科目として開設する。
- 3 選択科目は、左欄3系列にわたり、各4単位以上を修得する。

別表第12 マネジメント学部共通専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択	自 由
マネジメント学入門	2	○		
社会科学入門	2		○	
環境経営学入門	2		○	
女性の生活マネジメント	2		○	
ニュースで学ぶ現代社会	2		○	
実践ゼミナールA	1	○		
実践ゼミナールB	1	○		
インターンシップ	2	○		

〈後期課程〉

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択	自 由
マネジメント学	2		○	
マネジメントと女性リーダー	2		○	
エコビジネス論	2		○	
女性のキャリアデザイン	2		○	
リスクマネジメント論	2		○	
日本の財政	2		○	
ビジネス統計	2		○	

別表第13 マネジメント学部マネジメント学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択	自 由
基 幹 科 目	企業マネジメント入門	2		○
	公共マネジメント入門	2		○
	文化マネジメント入門	2		○
	企業会計入門	2		○
	マーケティング入門	2		○
	人的資源管理入門	2		○
	中小企業論入門	2		○
	コーポレートガバナンス入門	2		○
	金融入門	2		○
	経済学入門	2		○
	日本経済入門	2		○
	情報処理システム入門	2		○
	私法入門	2		○
	民法入門	2		○
	憲法入門	2		○
	行政学入門	2		○
	地方自治論入門	2		○
	文化とまちづくり入門	2		○
	NPO入門	2		○
	アートビジネス入門	2		○

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
展 開 科 目	経営史	2		○	
	経営戦略論	2		○	
	経営組織論	2		○	
	グローバル経営論	2		○	
	マーケティング論	2		○	
	人的資源管理論	2		○	
	経営分析論	2		○	
	国際会計論	2		○	
	起業論	2		○	
	ベンチャー経営論	2		○	
	オペレーションズ・リサーチ	2		○	
	社会科学と最適化	2		○	
	グローバル化と金融	2		○	
	証券論	2		○	
	ファイナンシャルプランニング	2		○	
	ビジネス倫理	2		○	
	マクロ経済学	2		○	
	ミクロ経済学	2		○	
	経済政策	2		○	
	企業経済学	2		○	
	国際経済学	2		○	
	アジアの経済	2		○	
	労働経済学	2		○	
	公共経済学	2		○	
	情報処理システム	2		○	
	契約法制総論	2		○	
	契約法制各論	2		○	
	不動産法	2		○	
	株式と法	2		○	
	コーポレートガバナンスと法	2		○	
	事例で学ぶ憲法	2		○	
	行政法	2		○	
	女性と公共マネジメント	2		○	
	政策形成と政策評価	2		○	
	地方自治論	2		○	
	社会政策	2		○	
	アーツマネジメント	2		○	
	文化の法制度	2		○	
	文化経済学	2		○	
	文化政策	2		○	
文化政策の国際比較	2		○		
パフォーミングアーツと国際コミュニケーション	2		○		
芸術文化とNPO	2		○		

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
展 開 科 目	企業メセナとフィランソロピー	2		○	
	広報マネジメント	2		○	
	メディア芸術産業論	2		○	
	舞台芸術産業論	2		○	
	音楽芸術産業論	2		○	
演 習	展開ゼミナールⅠA	1	○		
	展開ゼミナールⅠB	1	○		
	展開ゼミナールⅡA	1	○		
	展開ゼミナールⅡB	1	○		
卒業論文・ 卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	○		

備考

一 前期課程において含むべき学科専門科目

- 1 基幹科目は、6単位以上修得する。
- 2 マネジメント学部共通専門科目は、6単位以上修得する。

二 後期課程において含むべき学科専門科目

- 1 マネジメント学部共通専門科目（後期課程）及び展開科目から、26単位以上修得する。

別表第14 マネジメント学部生活環境マネジメント学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
基 幹 科 目	生活環境入門	2	○		
	衣生活と環境	2		○	
	食生活と環境	2		○	
	住生活と環境	2		○	
	環境倫理学	2		○	
	環境政策	2		○	
	地域経営	2		○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
展 開 科 目	衣服文化論	2		○	
	食文化論	2		○	
	居住文化論	2		○	
	ファッションデザイン	2		○	
	フードデザイン	2		○	
	インテリアデザイン	2		○	
	ファッションビジネス	2		○	
	フードビジネス	2		○	
	ファッション商品企画	2		○	
	テキスタイル論	2		○	
	食と健康	2		○	
	食の安全	2		○	
	都市計画論	2		○	
	庭園と都市環境	2		○	
	消費者問題	2		○	
	消費者のための法律	2		○	
	消費経済論	2		○	
	社会保障論	2		○	
	健康管理論	2		○	
	タウンマネジメント	2		○	
環境経済学	2		○		
環境法学	2		○		
地球環境と経営	2		○		
資源・リサイクル論	2		○		
演 習	生活環境マネジメント学演習ⅠA	1	○		
	生活環境マネジメント学演習ⅠB	1	○		
	生活環境マネジメント学演習ⅡA	1	○		
	生活環境マネジメント学演習ⅡB	1	○		
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	○		

備考

- 一 前期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 基幹科目は、6単位以上修得する。
 - 2 マネジメント学部共通専門科目は、6単位以上修得する。
- 二 後期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 マネジメント学部共通専門科目（後期課程）及び展開科目から、26単位以上修得する。

別表第15 観光コミュニティ学部共通専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
講 義	むさしの学	2		○	
	人口学	2		○	
	社会調査入門	2		○	
	社会をデザインする女性たち	2		○	
特殊演習	観光国家資格取得特殊演習 A	1		○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
講 義	ぶんきょう学	2		○	
	NPO・NGO論	2		○	
	取材学	2		○	
	イベント・コンベンション論	2		○	
特殊演習	ブライダル・コーディネート特殊演習	1		○	
実 習	観光コミュニティデザイン実践	2		○	

別表第16 観光コミュニティ学部観光デザイン学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
基 幹 科 目	観光学入門	2	○		
	観光デザイン入門	2	○		
	経営学入門	2	○		
	観光社会学	2		○	
	観光人類学	2		○	
	観光地理学	2		○	
	観光経済学	2		○	
	観光ランドデザイン	2		○	
	観光経営論	2		○	
	比較観光産業論	2		○	
	観光交通論	2		○	
	宿泊産業論	2		○	
	観光と情報社会	2		○	
	演 習	基礎ゼミナール（観光）	2	○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
展 開 科 目	グローバルツーリズム	2		○	
	各国観光事情	2		○	
	観光メディア論	2		○	
	ホスピタリティデザイン	2		○	
	グローバル観光デザイン	2		○	
	航空産業論	2		○	
	旅行産業論	2		○	
	コンベンション管理（MICE）	2		○	
	観光法規・倫理	2		○	
	観光とミナト	2		○	
	経営財務論	2		○	
	事業構想論	2		○	
	観光財務論	2		○	
	観光マーケティング	2		○	
	観光とリスク	2		○	
	交通経営論	2		○	
	観光調査論	2		○	
	観光デザイナー論	2		○	
	ホテルマネジメント	2		○	
	リゾート経営論	2		○	
	観光コンテンツ	2		○	
	祭りと文化	2		○	
	ニューツーリズム	2		○	
温泉と保養	2		○		

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
展 開 科 目	観光と鉄道	2		○	
	テーマパーク	2		○	
	世界遺産研究	2		○	
	ヘリテイジツーリズム	2		○	
	東京観光デザイン	2		○	
特 殊 演 習	観光デザイナー特殊演習	1		○	
	観光国家資格取得特殊演習B	1		○	
実 習	キャビンアテンダント (CA) 実習	1		○	
	ホテルマネジャー・女将実習	1		○	
演 習	観光デザイン演習ⅠA	1	○		
	観光デザイン演習ⅠB	1	○		
	観光デザイン演習ⅡA	1	○		
	観光デザイン演習ⅡB	1	○		
卒業論文・ 卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	○		

備考

- 一 前期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 基幹科目は、10単位以上修得する。
- 二 後期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 展開科目は、24単位以上修得する。
 - 2 特殊演習の授業科目から、1単位以上修得する。
 - 3 実習の授業科目から、1単位以上修得する。

別表第17 観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
基 幹 科 目	社会学入門	2	○		
	コミュニティデザイン入門	2	○		
	フィールドスタディ入門	2	○		
	地域社会学	2		○	
	コミュニティ論	2		○	
	環境と防災	2		○	
	ビジネスデザイン	2		○	
	女性のライフサイクル	2		○	
	消費社会論	2		○	
演 習	基礎ゼミナール（コミュニティ）	2	○		
資格科目	データの読み方	2		○	
	社会統計学	2		○	

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
展 開 科 目	コミュニティデザイン	2		○	
	コミュニティと行財政	2		○	
	コミュニティ関連法規	2		○	
	コミュニティと金融	2		○	
	コミュニティと地場産業	2		○	
	コミュニティと住民参加	2		○	
	インフラストラクチャー	2		○	
	コミュニティとまちづくり	2		○	
	都市の社会学	2		○	
	近郊の社会学	2		○	
	男女共同参画社会	2		○	
	出会いの社会学	2		○	
	コミュニティビジネス	2		○	
	家庭と仕事	2		○	
	出産・育児のセーフティネット	2		○	
	子どもと教育	2		○	
	介護と福祉	2		○	
老いと女性	2		○		
特 殊 講 義	コミュニティ論特殊講義（24時間の文化）	2		○	
	コミュニティ論特殊講義（ネット社会）	2		○	
	コミュニティ論特殊講義（食文化）	2		○	
	コミュニティ論特殊講義（買い物）	2		○	
	コミュニティ論特殊講義（プライダル）	2		○	
	コミュニティ論特殊講義（女性文化）	2		○	
	コミュニティ論特殊講義（学校）	2		○	

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
特殊演習	コミュニティデザイン特殊演習 (コミュニケーション)	1		○	
	コミュニティデザイン特殊演習 (編集・制作)	1		○	
	コミュニティデザイン特殊演習 (プレゼンテーション)	1		○	
	コミュニティデザイン特殊演習 (文章理解・小論文)	1		○	
演 習	コミュニティデザイン演習ⅠA	1	○		
	コミュニティデザイン演習ⅠB	1	○		
	コミュニティデザイン演習ⅡA	1	○		
	コミュニティデザイン演習ⅡB	1	○		
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	○		
資格科目	多変量解析の基礎	2		○	
	質的調査法	2		○	
	社会調査実習Ⅰ	2		○	
	社会調査実習Ⅱ	2		○	

備考

- 一 前期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 基幹科目は、10単位以上修得する。
- 二 後期課程において含むべき学科専門科目
 - 1 展開科目は、16単位以上修得する。
 - 2 特殊講義の授業科目から、8単位以上修得する。
 - 3 特殊演習の授業科目から、2単位以上修得する。

別表第18 社会調査士に関する科目

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択
社会調査入門	2	○	
社会調査法	2	○	
データの読み方	2	○	
社会統計学	2	○	
多変量解析の基礎	2		○
質的調査法	2		○
社会調査実習Ⅰ	2	○	
社会調査実習Ⅱ	2	○	

備考

- 一 「社会調査入門」は観光コミュニティ学部共通専門科目、「社会調査法」は全学共通科目、その他の科目は観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科専門科目として開設する。

別表第19 心理学部臨床心理学科専門科目

〈前期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
総 論	心理学概論	2	○		
	臨床心理学概論	2	○		
	心理学研究法	2		○	
	知覚・認知心理学	2		○	
	学習・言語心理学	2		○	
	発達心理学	2		○	
	社会・集団・家族心理学	2		○	
	心理学史	2		○	
	教育・学校心理学	2		○	
	健康教育概論	2		○	
	人体の構造と機能及び疾病	2		○	
	研究入門	心理学統計法	2	○	
実 習	心理学実験	2	○		

〈後期課程〉

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
各 論	神経・生理心理学	2		○	
	視覚と芸術の心理学	2		○	
	感情・人格心理学	2		○	
	言語心理学	2		○	
	思考心理学	2		○	
	道徳心理学	2		○	
	青年期の発達心理学	2		○	
	高齢者の心理学	2		○	
	心理学的支援法	2		○	
	力動論的アプローチ	2		○	
	認知行動療法	2		○	
	家族療法論	2		○	
	心理教育的アセスメント	2		○	
	健康心理アセスメント	2		○	
	データ解析	2		○	
	実験計画法	2		○	
	公認心理士の職責	2		○	
	関係行政論	2		○	
	臨床教育学	2		○	
	学校臨床心理学	2		○	
	発達障害の心理と指導援助	2		○	
	キャリアカウンセリング	2		○	
	健康・医療心理学	2		○	
	健康心理カウンセリング	2		○	

授 業 科 目		単位数	必 修	選 択	自 由
各 論	福祉心理学	2		○	
	障害者・障害児心理学	2		○	
	産業・組織心理学	2		○	
	産業カウンセリング	2		○	
	司法・犯罪心理学	2		○	
	精神疾患とその治療	2		○	
	心身医学	2		○	
	子どものこころとからだ	2		○	
特殊演習	心理演習	2		○	
	遊戯・芸術療法	1		○	
	心理的アセスメント	1		○	
実 習	健康心理アセスメント実習	2		○	
	心理実習A	1		○	
	心理実習B	1		○	
	心理実習C	1		○	
演 習	臨床心理学演習ⅠA	1	○		
	臨床心理学演習ⅠB	1	○		
	臨床心理学演習ⅡA	1	○		
	臨床心理学演習ⅡB	1	○		
卒業論文・ 卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	○		

備考

一 前期課程において含むべき学科専門科目

- 1 総論の授業科目は、4単位以上修得する。
- 2 研究入門の授業科目は、2単位修得する。
- 3 実習の授業科目は、2単位修得する。

二 後期課程において含むべき学科専門科目

- 1 各論の授業科目から、24単位以上修得する。
- 2 特殊演習及び実習の授業科目から、特殊演習科目ならびに実習科目「健康心理アセスメント実習」「心理実習A」の中から1単位以上、及び実習科目「心理実習B」または「心理実習C」のどちらか1単位を含み、2単位以上修得する。

改正 平成14年4月1日一部改正
平成27年4月1日一部改正

平成19年4月1日一部改正
平成30年5月16日一部改正

第1章 総則

第1条 この規程は、跡見学園女子大学学則（以下「学則」と言う。）第6条に基づき、教授会の組織に関し必要な事項を定める。

第2章 教授会

第2条 教授会は、学部にも所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

第2条の2 教授会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち学部にも所属しない者は、議決権をもたない。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 附属教育研究組織の長
- (4) 評議員
- (5) 全学委員会の長
- (6) 事務部局の長
- (7) その他教授会の定める者

第2条の3 教授会は、必要に応じ参考人を招致することができる。

第2条の4 教授会は、学則第6条第3項及び第5項に定める次の事項を審議する。

- (1) 学生の入学及び卒業
- (2) 学位の授与
- (3) 学部の教育課程の編成
- (4) 学部の教員の教育研究業績の審査
- (5) 学部の教育研究上の目的を達成するための方針に関する事項
- (6) 学生の転部・転科に関する事項
- (7) 学部にも固有な規則の制定又は改廃に関する事項
- (8) 学部の予算の執行に関する事項
- (9) 学部の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項
- (10) 学部の教育研究活動等の状況について行う自己点検・評価に関する事項

第3条 教授会に議長を置き、学部長をもって充てる。

2 教授会に副議長を置き、学則第5条の3第2項第6号の評議員をもって充てる。なお文学部においては2名の学部選出評議員のうち先任の者を充てる。

第3条の2 議長は、教授会を主宰する。

2 副議長は、議長を助ける。

3 議長に事故があるとき又は議長が欠けたときは、副議長が、議長の職務を行う。

4 議長及び副議長に共に事故があるときは、仮議長を互選し議長の職務を行わせる。なお文学部においては2名の学部選出評議員のうち先任の者でない者を充てる。

第3条の3 前条第4項により教授会が議事を開き議決した場合、仮議長は、学長にそのことを報告し承認を求めなければならない。

第4条 議長は、次の各号の一に該当する場合、教授会を招集する。

- (1) 月1回（定例）
- (2) 議長が必要と認めたとき
- (3) 構成員の3分の1以上の要求があったとき

第5条 削除

第6条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

2 前項において、留学者及び休職者は構成員の数から省く。

第7条 削除

第8条 教授会の議事は、構成員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

第3章 学科主任、学科会議、各種委員会及び教授会運営委員会

第8条の2 学科に学科主任を置き、学科に所属する専任の教授のうちから学部長がこれを任命する。

2 学科主任の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き4年を超えることができない。

3 学科主任は、学科の教育課程及び教員組織を統轄する。

第9条 教授会のもとに、学科に所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって学科会議を組織する。

2 学科会議は、必要に応じ前項に定める構成員以外の者を出席させ、発言させることができる。ただし、このうち学科に所属しない者は、議決権をもたない。

3 学科会議は、第2条の4に定める事項のうち、学科の教育課程と教員組織の運営に必要な事項を審議する。

4 学科会議に議長を置き、学科主任をもって充てる。

5 学科会議に副議長を置き、学科主任がこれを指名する。

6 学科会議の運営にあたっては、第3条の2乃至第8条を準用する。ただし第3条の3の「学長」を「学部長」と読み替える。このほか、各学科を通じて必要な事項は、教授会の定めるところによる。

第9条の2 教授会のもとに、教員の採用及び昇任を選考するために必要な資格を審査する資格審査委員会を置く。

2 資格審査委員会に委員長を置き、教授会で互選する。

3 資格審査委員会の組織に関し必要な事項は、別に教授会が定める。

第9条の3 前条に定めるほかに教授会のもとに、校務分掌に応じて必要な各種の委員会（以下「各種委員会」という。）を置く。

2 前項に定める委員会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第9条の4 学部長のもとに、教授会運営委員会を置き、学部長、学部選出の大学評議員、学長が指名する大学評議員のうち学部所属者及び学科主任をもってこれを組織し、必要に応じて各種委員会委員長をこれに加えることができる。

2 教授会運営委員会は、教授会の議事を整理し、学科会議及び各種委員会の連絡・調整を行うとともに、教授会の定めた事項の実施を推進する。

第4章 教授会事務

第10条 教授会に関する事務は、議長の監督の下に、事務局長が統括する。

第11条 教授会の議事録は、議長の監督の下に、事務局長が作成し、教授会において確認する。

第5章 雑則

第12条 この規程に定める他に学部を通じて必要な事項は、大学評議会の定めるところによる。

2 この規程を運用するに当たり、教授会は、大学評議会の定めるところにしたがって、必要な事項を定めることができる。

第13条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日より改正実施する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日改正実施する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日改正実施する。

附 則（平成30年5月16日改正附則）

1 この規程は、平成30年5月16日から改正施行する。

第1章 総則

第1条 この規程は、跡見学園女子大学教授会規程（以下「教授会規程」という。）第9条の2及び第9条の3に基づき、教授会のもとに置く各種委員会の目的及び組織に関し必要な事項を定める。

第2条 教授会に、次に掲げる常設の委員会を置く。

- (1) 教育・研究支援委員会
- (2) 予算委員会
- (3) 学務委員会
- (4) 入試委員会
- (5) 資格審査委員会
- (6) 自己点検・評価委員会

第3条 教授会は、必要に応じ、期間と所管事項を定めて、臨時の委員会を置くことができる。

第2章 委員会通則

第4条 委員会は、教授会の諮問する事項の審議及びその答申を行う。

第5条 委員会は、次に掲げる委員によって組織する。

- (1) 教授会の指名する委員長
- (2) 学科選出委員 各学科若干名 ただし、前号の委員長は除く。学科を置かない組織においては学部が選出する若干名。

2 委員長の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 委員長以外の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

5 第3条に定める臨時の委員会にあっては、前4項によらず、教授会の定めるところに従って組織する。

第6条 委員会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち委員でない者は、議決権をもたない。

- (1) 当該委員会の属する学部の長
- (2) 学部選出の大学評議員
- (3) 附属教育研究組織の長
- (4) 他の委員会の長
- (5) 事務部局の長

第7条 委員長は、委員会を主宰する。

2 委員会に副委員長を置き、委員のうちから委員長が指名する。

3 副委員長は、委員長を助ける。

4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が、委員長の職務を行う。

第8条 委員長は、次の各号の一に該当する場合、委員会を招集する。

- (1) 学期の始まる月（定例）
- (2) 委員長が必要と認めたとき
- (3) 委員の3分の1以上の要求があったとき

第9条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

第10条 委員会の議事は、委員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

第11条 委員会に関する事務は、委員長の監督の下に、事務局長が統括する。

第12条 委員会の議事録は、委員長の監督の下に、事務局長が作成し、委員会において確認する。

第3章 委員会所管事項

第13条 第2条に定める常設の委員会にあっては、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 教育・研究支援委員会は、教授会規程第2条の4第1項第5号のうち教員の教育研究活動に対する助成に関する事項および教授会規程第2条の4第1項第9号に関する事項
- (2) 予算委員会は、教授会規程第2条の4第1項第8号に関する事項

- (3) 学務委員会は、教授会規程第2条の4第1項第1号乃至第3号及び第6号に関する事項 ただし、学生の入学及び国際交流に関する事項は除く。
 - (4) 入試委員会は、教授会規程第2条の4第1項第1号のうち学生の入学に関する事項
 - (5) 資格審査委員会は、教授会規程第2条の4第1項第4号に関する事項
 - (6) 自己点検・評価委員会は、教授会規程第2条の4第1項第10号に関する事項
- 2 教授会は、教授会規程第2条の4第1項第5号及び第7号の事項を前項に定める例に準じていずれかの常設の委員会に所管させることができる。
- 第14条 第3条に定める臨時の委員会にあっては、教授会の定める事項を所管する。

第4章 雑則

第15条 この規程を運用するために必要な事項は、別に定める。

第16条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 跡見学園女子大学文学部教授会各種委員会規程（平成14年4月1日施行）及び跡見学園女子大学マネジメント学部教授会各種委員会規程（平成18年4月1日施行）を廃止する。

附 則（平成30年5月16日改正附則）

- 1 この規程は、平成30年5月16日から改正施行する。

附 則（平成31年2月22日改正附則）

- 1 この規程は、平成32年4月1日から改正施行する。

（目的）

第1条 この規程（以下「本規程」という。）は、跡見学園女子大学学則第1条の2第5項及び跡見学園女子大学大学院学則第3条第5項に基づき、跡見学園女子大学（以下「本学」という。）の自己点検・評価を行うために必要な事項を定める。

（自己点検・評価の目的）

第2条 自己点検・評価は、本学の設置の理念及び目的に照らし、教育研究水準の維持・向上及び社会貢献に資するため、本学の教育研究等の不断の改善及び改革を図ることを目的とする。

（自己点検・評価の組織）

第3条 本学は、前条に規定する自己点検・評価を、次の組織により円滑に実施する。

（1） 跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程第2条第5号に定める自己点検・評価委員会

（2） 本規程第6条に定める自己点検・評価推進委員会（以下「推進委員会」という。）

（自己点検・評価の統括）

第4条 学長は、前条各号に規定する組織を統括し、本学の自己点検・評価を行う。

2 学長は、前項を達成するために、大学執行部を指揮する。なお、ここでいう執行部は、学長が定めるところによる。

3 学長は、自己点検・評価委員会の提出した自己点検・評価報告についてみずからの意見を付して法人監事が監査するよう求め、その結果をふまえて自己点検・評価報告を確定し、大学評議会の議に基づき公表するものとする。

（自己点検・評価委員会所管事項）

第5条 自己点検・評価委員会は、全学委員会規程第13条第5号に基づき、次の各号の事項を審議し大学評議会に答申する。

（1） 自己点検・評価の基本事項の設定

（2） 認証評価及びその他の第三者評価に係る事項

（3） 推進委員会報告書の検証及び活用

（4） 前号に基づく自己点検・評価報告

（5） その他自己点検・評価のために必要な事項

（推進委員会）

第6条 推進委員会は、執行部成員及びその各部課等において実務を担う若干名の専任教職員（以下「実務委員」という。）をもって構成する。

2 学長は、年度の初めに、推進委員会の実務委員を任命する。但し、実務委員の任期は、連続して4年を超えることができない。

3 学長は、推進委員長となり、副学長が推進委員会を運営する。

4 推進委員会は、必要に応じて、委員以外の者を出席させ、発言させることができる。

第7条 推進委員会は、第5条第1号にいう基本事項に基づき、自己点検・評価を推進するために、次の各号の事項を行う。

（1） 自己点検・評価の実施要項の策定

（2） 本学の現状調査及び自己点検・評価報告書原案の作成

（3） 自己点検・評価報告の進捗状況を第一号の実施要項に従って掌握し、必要に応じて関係者を督励すること

（4） その他自己点検・評価のために必要な事項

2 推進委員会は、翌年度の前項第1号の事項を例年3月末日までに、前項第2号の事項を例年10月末日までに取りまとめ、直近の大学評議会に提出しなければならない。

3 推進委員会は、第1項第2号の事項を行うために、部課等におく自己点検評価推進委員又は委員会と協働しなければならない。

（評価の活用）

第8条 学長は、自己点検・評価の結果を踏まえ、積極的にその結果を活用して教育研究活動の向上を図り、教育研究環境の整備充実を期し、大学の管理運営の改善に資するよう努めるものとする。

2 学長は、自己点検・評価の結果を、理事長に報告しなければならない。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則 (平成30年7月4日制定附則)

1 この規程は、平成30年7月4日から施行する。

2 平成9年6月11日施行の跡見学園女子大学自己点検・評価規程を廃止する。

附 則 (令和元年5月29日改正附則)

この規程は、令和元年5月29日から改正施行する。